



発送と郵便業務
インサーター

Relay™

5000/6000/7000/8000

ドキュメントインサーションシステム

操作ガイド

日本語版

SV63136-JA Rev. C

2025 年 5 月 20 日

FCC 法令準拠

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。デジタルデバイスの制限事項は、機器を業務用環境で操作した場合に電波干渉から保護することを目的に定められています。この機器は無線周波の電磁エネルギーを生成、使用、および放出します。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信で電波干渉が発生する場合があります。この機器を一般家庭で使用すると、電波干渉が発生する可能性があります。そのような場合、電波干渉の修復はお客様ご自身の負担となります。

注意：法令準拠の義務を負う当事者からの明示的な承諾なしに本装置を変更または改造すると、（ピツニーボウズ）は装置を操作する権限を無効にする場合があります。

カナダ EMC 法令準拠

このクラス A デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.



このシステムは、該当する EU のすべての指令に準拠していることを証明します。

SV63136-JA Rev. C ©2025 Pitney Bowes Inc.

All rights reserved. ピツニーボウズの書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。ピツニーボウズでは、この文書の正確性および有用性を確保するため、あらゆる合理的な努力を行っていますが、誤りや脱落、あるいは弊社製品の誤用または不正使用による障害に関して責任を負うことはできません。

製品の改良を引き続き行っているため、機器やマテリアルの仕様および性能については、予告なしに変更される場合があります。Connect+、SwiftStart、IntelliLink、および E-Z Seal は、ピツニーボウズの商標または登録商標です。Tyvek は Dupont の登録商標です。

目次

連絡先情報リスト	vii
米国の連絡先	vii
カナダの連絡先	vii
その他の国の連絡先	vii
1・はじめに	1-1
操作上の注意	1-2
システムについて	1-2
システムの機能	1-2
システムコンポーネント	1-2
標準システム	1-3
システムオプション	1-4
安全情報	1-5
警告ラベル	1-6
2・インサートシステムの概要	2-1
システムコンポーネント	2-2
フィーダータワー	2-4
フィーダートレイ	2-5
シートトレイ	2-5
インサートトレイ	2-6
手動フィーダー	2-7
搬送デッキ	2-8
郵便物経路	2-8
折り加工前アキュムレーター	2-8
紙折り機	2-9
折り加工後アキュムレーター	2-9
封入エリア	2-9
紙折り機バイパス経路	2-9
モイストナー、クローザー、シーラー	2-9
コントロールパネルについて	2-10
画面オプションキー	2-10
固定ファンクションキー	2-11
マシンアクションキー	2-13
画面ナビゲーションキー	2-13
ディスプレイ画面	2-14
ヘッダー領域	2-14
ステータス領域	2-15
アクセス権	2-20
ログインする	2-21
ログアウトする	2-21

システムのカバーについて.....	2-22
カバーを開ける.....	2-23
カバーを閉じる.....	2-23
用紙解除つまみおよびレバーについて.....	2-24
アドオンモジュールについて.....	2-24
3・基本的な操作.....	3-1
電源の接続.....	3-2
電源の投入.....	3-2
ホーム画面.....	3-3
ジョブの概要.....	3-4
ジョブの選択.....	3-5
フィーダー設定およびマテリアルの積載.....	3-6
フィーダータワーへのトレイの取り付け.....	3-6
フィーダータワーからのトレイの取り外し.....	3-7
トレイへのマテリアルのセット.....	3-8
HCEF（大容量封筒フィーダー）へ封筒をセットする.....	3-13
実行前の調整.....	3-18
封筒オープナーの調整.....	3-18
トライアルの実行.....	3-22
ジョブ設定の確認.....	3-24
ジョブの開始.....	3-25
SwiftStart™ ジョブ.....	3-25
SwiftStart™ の使用.....	3-26
ジョブの作成.....	3-26
ジョブのオプション.....	3-30
封筒オプション.....	3-30
紙折りオプション.....	3-32
シートオプション.....	3-33
シインサートオプション.....	3-36
ジョブの編集.....	3-40
ジョブの設定の変更.....	3-41
アイテムの編集.....	3-41
アイテムの追加.....	3-42
アイテムの移動.....	3-44
アイテムの削除.....	3-45
4・高度な操作.....	4-1
概要.....	4-2
英数字マトリックスの使用.....	4-2
ジョブの保存.....	4-3
ジョブの削除.....	4-4
ユーザー ID とパスワードの割り当て.....	4-5
大容量シートフィーダー（HCSF）の有効化と無効化.....	4-5

5・トラブルシューティングとメンテナンス	5-1
画面の輝度およびコントラストの調整.....	5-2
時刻や日付の設定.....	5-3
言語の変更.....	5-4
封かん液の補充.....	5-5
マテリアルが停止した場合の対処.....	5-5
障害物の除去.....	5-5
ジョブの再開.....	5-6
アウトソートしたマテリアルの処理.....	5-6
トラブルシューティング一覧表.....	5-7
定期的なメンテナンス.....	5-17
毎日の作業.....	5-17
モイストナーウィックの交換.....	5-17
モイスターのブラシの交換.....	5-19
6・仕様	6-1
概要.....	6-2
システムの仕様.....	6-2
コンポーネントの仕様.....	6-4
フィーダータワーおよびベースのマテリアル仕様.....	6-6
一般情報.....	6-6
外封筒.....	6-6
インサート.....	6-9
シート.....	6-10
大容量シートフィーダー（HCSF）の素材の仕様.....	6-11
一般情報.....	6-11
シート.....	6-11
使用できないマテリアル.....	6-12
7・アドオンモジュール.....	7-1
アドオンモジュールについて.....	7-2
大容量シートフィーダー（HCSF）.....	7-2
HCSF へ用紙をセットする.....	7-3
HCSF ガイドの調整.....	7-5
フラットシーラー.....	7-7
封筒端マーカローラーの交換.....	7-8
ファイルベースの処理.....	7-9
排出オプション.....	7-9
Connect+ MMI.....	7-10
縦型パワースタッカー.....	7-13
水平ベルトスタッカー.....	7-13
出口搬送.....	7-13

8・スキャン	8-1
スキャンの概要.....	8-2
OMR	8-2
BCR	8-2
2D データマトリックスバーコードの物理的な仕様.....	8-5
サポートされる正方形と長方形の形式.....	8-5
サスキャン機能.....	8-8
サポートされる ECC (エラー修正コード) レベル	8-10
新規スキャン設定	8-11
OMR スキャン設定のセットアップ.....	8-11
BCR スキャン設定のセットアップ	8-14
スキャン設定の編集	8-18
OMR スキャン設定の編集	8-18
BCR スキャン設定の編集.....	8-19
スキャン設定のコピー.....	8-20
スキャン設定の削除	8-20
スキャン設定の確認	8-21
ジョブリストの表示	8-21
既存のジョブへのスキャン設定の割り当て	8-22
スキャンヘッドの調整.....	8-24
ラダーまたは 2D 方向マーク用のスキャンヘッドの調整 ...	8-24
ピケット方向マーク用のスキャンヘッドの調整	8-27
OMR の仕様.....	8-29
OMR の印刷と配置の仕様	8-30
フィーダータワー 向け OMR の配置の仕様 (ラダー方向) ...	8-30
OMR の印刷と配置の仕様	8-31
HCSF 向け OMR の配置の仕様 (新しいスキャンキット F790250 - ラダー方向)	8-31
バーコードの仕様	8-32
バーコードの印刷と配置の仕様	8-33
フィーダータワー向け 1D バーコードの配置の仕様	8-33
バーコードの印刷と配置の仕様	8-34
HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様.....	8-34
バーコードの印刷と配置の仕様	8-35
HCSF 向け 1D バーコードの印刷と配置の仕様.....	8-35
バーコードの印刷と配置の仕様	8-36
HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様.....	8-36
バーコードの印刷と配置の仕様	8-37
HCSF 向け 2D バーコードの配置の仕様.....	8-37

OMR スキャン領域の設定	8-38
最初のマーク位置およびコードの長さの定義	8-38
クリアゾーンの定義	8-39
詳細情報	8-40
BCR および OMR マークのレベル	8-40
基本レベル	8-41
拡張整合性レベル	8-43
選択的オペレーションレベル	8-45
付録 A・用語集	A-1
基本的な用語	A-2
マテリアルリファレンス	A-2
機器の機能	A-3
アイコンの用語	A-4
封筒アイコン	A-4
紙折りアイコン	A-5
シートアイコン	A-5
インサートアイコン	A-6
フィーダー割り当てアイコン	A-7
その他のアイコン	A-7

このページは意図的に空白になっています。

連絡先情報リスト

米国の連絡先

製品名 - Relay™ 5000/6000/7000/8000

- よくある質問について：www.pb.com で [Select Support (サポートの選択)] をクリックします。
- サービスまたはトレーニングのご要望について：www.pb.com で [My Account (マイアカウント)] をクリックします。
- 消耗品とアクセサリを注文するには、Supply Line™ (1.800.243.7824) まで電話でご連絡いただくか、www.pb.com で [Online Store (オンラインストア)] をクリックします。
- 請求情報の確認およびオンラインでのお支払いについて：www.pb.com で [My Account (マイアカウント)] をクリックします。
- 在庫の確認：www.pb.com で [My Account (マイアカウント)] をクリックします。
- 直接のご質問は、1.800.522.0020 にお電話でご連絡ください。カスタマーサービスは月曜～金曜の午前 8 時～午後 8 時（東部標準時）に営業しています。
- マテリアル安全データシートを入手するには、Supply Line™ まで電話でご連絡いただくか、www.pb.com で [Select Support (サポートの選択)] をクリックします。

カナダの連絡先

製品名 - Relay™ 5000/6000 または Relay™ 7000/8000

- よくある質問や消耗品のご注文には、次のアドレスにアクセスしてください。
www.pitneybowes.ca
- 直接のご質問は、1.800.672.6937 にお電話でご連絡ください。カスタマーサービスは月曜～金曜の午前 8 時 30 分～午後 4 時（東部標準時）に営業しています。

その他の国の連絡先

連絡先情報は、システムに貼付のステッカーまたはシステムに付属の別資料に記載されています。

連絡先情報リスト

このページは意図的に空白になっています。

1・はじめに

操作上の注意	1-2
システムについて	1-2
システムの機能	1-2
システムコンポーネント	1-2
標準システム	1-3
システムオプション	1-4
安全情報	1-5
警告ラベル	1-6

操作上の注意

システムを完璧に使いこなし、トラブルを最小限に抑えられるようにするために、本書をよくお読みください。

注：アドオンやオプションをインサートシステムで使用できるかどうかは、地域によって異なります。入荷状況の詳細については、販売元にご確認ください。

システムについて

Relay™ 5000/6000/7000/8000 は処理能力の高いテーブルトップ型封入封かんシステムで、オペレーターによるセットアップ調整を最小限に抑えて広範なアプリケーションを処理できるように設計されています。これらのシステムには、郵便物のフィード、紙折り、および外封筒への封入機能があります。システムで作成される最終的な郵便物は、定形封筒または定形外封筒になります。また、システムにはさまざまな機能や処理速度に対応できる各種オプションもあります。

システムの機能

- テストの場合、インサーターは 80 gsm (20 ポンド)、1 つ折りの条件で 10 シートまで折ることができます。
- 定形外封筒にシートを複数枚インサートできます。
- システムがフラットシーラーを装備している場合、n 番目ごとにマーキングできます。
- このシステムは 4 種類のフィーダートレイで構成され、これには 2 種類あります。
 - シートトレイ - シートをフィードできます
 - インサートトレイ - 伝票などのスリップやその他の紙折り不要の封入物、折り済みインサート、薄手のブックレット、および封筒をフィードできます。
- Relay 7000/8000 システムには高速で処理能力の高い専用の大容量封筒フィーダー (HCEF) が装備されています。またこのシステムは、オプションのアップストリーム入力装置からの材料も受け入れます。

システムコンポーネント

システムは次の 2 種類の主要コンポーネントで構成されます。

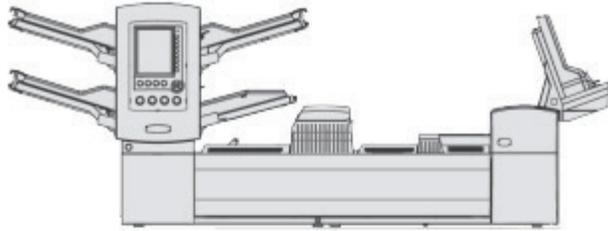
- フィーダータワー
- 搬送デッキ

フィーダータワーは、フィーダートレイから搬送デッキに材料を送り込みます。材料が搬送デッキの紙折り機を通過する必要があるかどうかは、ジョブの条件によって異なります。紙折り機の通過が必要な場合は、各種の紙折りタイプを指定でき、郵便物丁合に折られた材料をインサートすることができます。

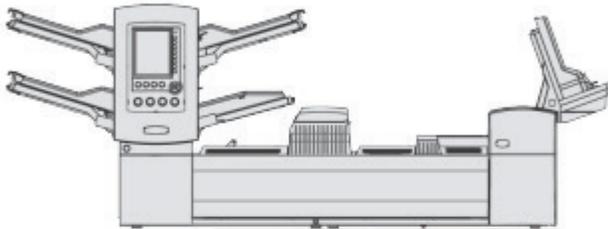
また、最終の郵便物をスタッキングエリアに送り込む前に封筒（定形封筒のみ）を封かんすることもできます。

標準システム

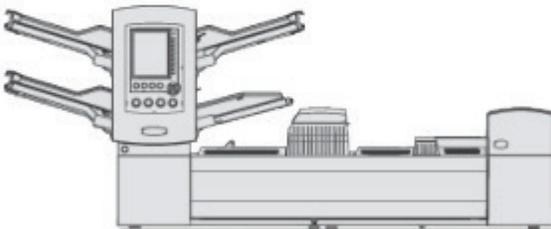
Relay 8000



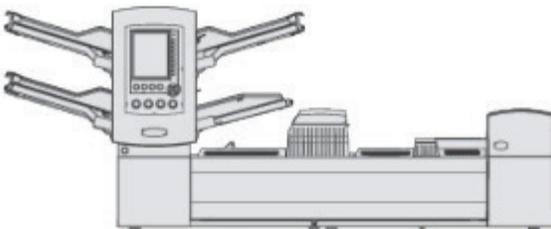
Relay 7000



Relay 6000



Relay 5000 (HCSFは非対応です)



定形および定形外封筒ドロップスタッカー（すべてのシステムに標準装備）



重要 モデルと機能は国によって異なります。詳細については機械の供給元にお問い合わせください。本書では、すべてのモデルおよび機能について解説しています。本書に記載された情報は、お客様の国で特定のモデルまたは機能が提供されていることを保証するものではありません。

1・はじめに

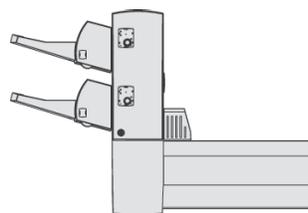
システムオプション

(またシステム用に特別にデザインされた専用台も使用できます。)

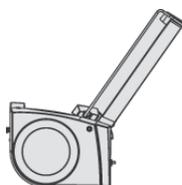
紙折り拡張キット
(ドキュメントインバーター)



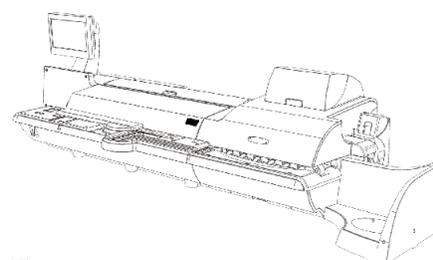
大容量シートフィーダー
(HCSF)



縦型パワースタッカー



Connect+



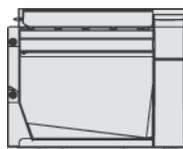
タンデムベルトスタッカー



ベルトスタッカー



出口搬送



フラットシーラー



重要 モデルと機能は国によって異なります。詳細については機械の供給元にお問い合わせください。本書では、すべてのモデルおよび機能について解説しています。本書に記載された情報は、お客様の国で特定のモデルまたは機能が提供されていることを保証するものではありません。

安全情報

インサートシステムを使用する場合は、次の使用上の注意を守ってください。

- システムを運転する前に、すべての指示をよく読んでください。取扱説明書は、すぐに参照できるように常に手元に置いてください。
- 本装置は本来の目的以外に使用しないでください。
- システムは、利用しやすい壁コンセントの近くに設置してください。
- システムは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- 機械に付属の電源コードを使用し、機械の近くにある利用しやすい、適切に接地された壁コンセントに接続してください。機械を適切に接地しないと、重大な人身傷害や火事の原因となることがあります。
- AC 電源から機器を遮断する場合は、必ず電源コードのプラグを抜いてください。
- 壁面スイッチで操作する壁コンセントや他の機器と共有する壁コンセントは使用しないでください。
- 電源コードまたは壁コンセントにアダプタープラグを使用しないでください。
- 電源コードの接地ピンを外さないでください。
- 機械を接続する壁コンセントの前に障害物を置かないでください。
- 電源コードを鋭い縁の上や家具の間に配線しないでください。電源コードが張り過ぎないようにしてください。
- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。危険な部分はキャビネット内に収納されています。ユニットが損傷した場合は、販売元に連絡してください。詳細については、本書の冒頭にある「連絡先情報リスト」を参照してください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いて、販売元に連絡してください。詳細については、本書の冒頭にある「連絡先情報リスト」を参照してください。
- 指、髪の毛、アクセサリ、衣服などは、常に可動部分から離すようにしてください。
- 機械の使用中は、可動部分または可動材料に触れないでください。紙詰まりを除く前に、機械の構造が完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりした材料は、ゆっくりと慎重に取り除いてください。
- 火を点けたキャンドルや煙草などをシステムの上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 許可された備品のみを使用してください。特にエアダスターについては注意が必要です。不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、爆発しやすい状態の原因となり、けがや物的損害が発生する場合があります。可燃の表示があるスプレー式ダスターは使用しないでください。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項を必ずお読みください。

安全性に関する 情報 (続き)

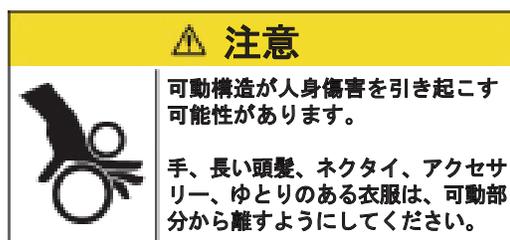
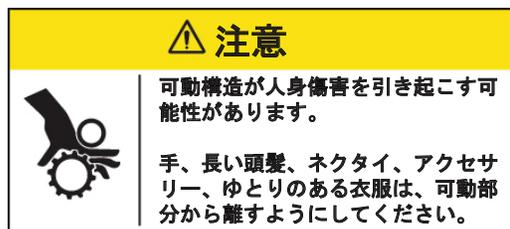
- ・ 消耗品やマテリアル安全データシートを入手する場合は、販売元に連絡してください。詳細については、本書の冒頭にある「連絡先情報リスト」を参照してください。
- ・ 定期的な点検をせずに本装置を運転すると、最適な運転性能が得られず、装置の機能不良の原因となることがあります。必要なサービススケジュールについては、販売元に連絡してください。
- ・ 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。
- ・ 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。危険な部分はキャビネット内に収納されています。ユニットが損傷した場合は、販売元に連絡してください。詳細については、本書の冒頭にある「連絡先情報リスト」を参照してください。
- ・ この機器は、ディスプレイの直接視野で使用することを目的としていません。ディスプレイの不適切な反射を防止するには、この機器が直接視野に入らないようにしてください。

スタッカーに電源用の AC アダプターが付いている場合

- ・ スタッカー専用の AC アダプターのみを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、スタッカーが損傷する場合があります。
- ・ 感電を防ぐために、AC アダプターは適切にアースされた壁側のプラグに差し込んでください。
- ・ AC アダプターケーブルを先の尖った物の上に這わせたり、家具の間に挟まらないようにしてください。

警告ラベル

次の警告ラベルは、システムのマジュールに貼られているもので、不注意な操作によって引き起こされる怪我の可能性について警告しています。これらと同じラベルは、適用対象の各種マジュールについて説明している本書の該当箇所にも記載されています。



2・インサート システムの概要

システムコンポーネント.....	2-2
フィーダータワー.....	2-4
フィーダートレイ.....	2-5
シートトレイ.....	2-5
インサートトレイ.....	2-6
手動フィーダー.....	2-7
搬送デッキ.....	2-8
郵便物経路.....	2-8
折り加工前アキュムレーター.....	2-8
紙折り機.....	2-9
折り加工後アキュムレーター.....	2-9
封入エリア.....	2-9
紙折り機バイパス経路.....	2-9
モイストナー、クローザー、シーラー.....	2-9
コントロールパネルについて.....	2-10
画面オプションキー.....	2-10
固定ファンクションキー.....	2-11
マシンアクションキー.....	2-13
画面ナビゲーションキー.....	2-13
ディスプレイ画面.....	2-14
ヘッダー領域.....	2-14
ステータス領域.....	2-15
アクセス権.....	2-20
ログインする.....	2-21
ログアウトする.....	2-21
システムのカバーについて.....	2-22
カバーを開ける.....	2-23
カバーを閉じる.....	2-23
用紙解除つまみおよびレバーについて.....	2-24
アドオンモジュールについて.....	2-24

2・インサートシステムの概要

システムコンポーネント

基本システム構成には、フィーダータワー、搬送デッキ、およびシーラーが含まれ、Relay 7000/8000 にはさらに大容量封筒フィーダーが装備されています。システムの機能を最大限に活用するための追加モジュールもあります。

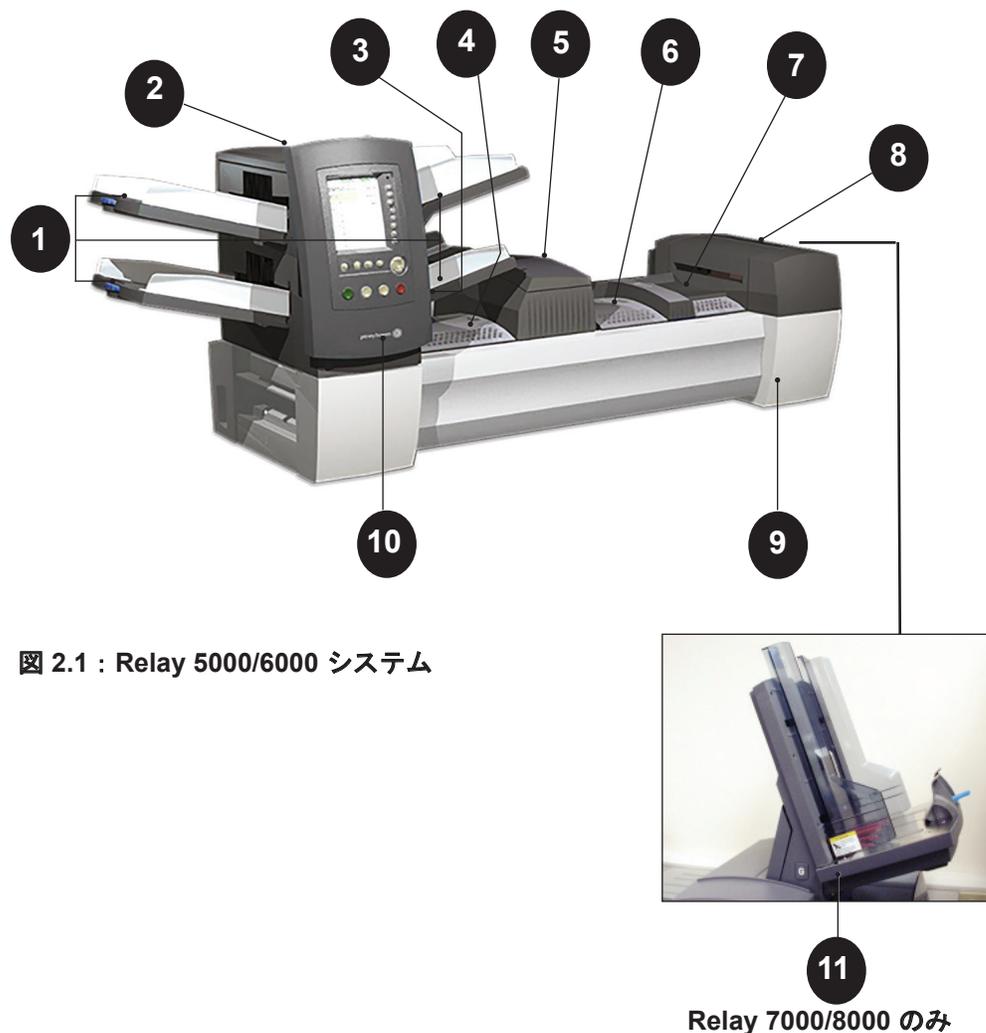


図 2.1 : Relay 5000/6000 システム

Relay 7000/8000 のみ

- 1 フィーダータワートレイ：シートまたはインサートをフィーダータワーにフィードします。

注：左下のトレイが有効な場合は、郵便物アイコンツリーで「A」の文字が割り当てられます。大容量封筒フィーダーがシステム構成に組み込まれていない場合、このトレイは特定ジョブで封筒のフィードに使用するプライマリトレイとして設定されます。

- 2 フィーダータワー：左右トレイホルダーおよびマテリアルフィーダー。

システムコンポーネント (続き)

- 3 手動フィーダー：最大 5 枚の 80 gsm (20 ポンド) のシートセット (ホチキス留めまたはホチキス留めなし) を手動でフィードできます。機器は各セットが手動でフィードされるまで待ってから、紙折りをを行い、封筒に自動封入します。[Manual (手差し)] フィードオプションは、ジョブの作成中に指定できません。別のトレイのインサートやシートをジョブに追加することもできます。
- 4 折り加工前アキュムレーター：丁合後、紙折り機ユニットに送り込む必要のあるマテリアルの中継場所。
- 5 紙折り機：シートに折りタイプを適用します。
- 6 折り加工後アキュムレーター：折られたシートとインサートを合わせるための中継場所。
- 7 封入エリア：搬送エリアの一部で、宛先ごとに丁合した封入物を外封筒にインサートします。
- 8 モイストナー、クローザー、シーラー：ブラシが封筒フラップの上を移動して、糊しろを濡らします。レターサイズ封筒がユニットのクローザーとシーラーを通過し、郵便物が完成します。
- 9 封かん液容器：機器の右前面にあるカバーを開けた内側にあります。封かんシステムに供給する封かん液が入っています。
- 10 コントロールパネル：機器を稼動し、ジョブ設定を指定できます。また、機器のステータスや用紙の積載手順およびジョブの詳細を表示します。コントロールおよび画面の詳細は、後続のページを参照してください。
- 11 大容量封筒フィーダー (Relay 7000/8000 のみ)：500 枚以上のレターサイズ封筒を積載できます。封筒を封入エリアに直接フィードします。

ドロップスタッカー (すべてのユニットで使用可能。図はありません) またはパワースタッカー (オプション。図にはありません)：システムから排出される郵便物の完成品を集積してきちんと積み重ねます。ドロップスタッカーは、必要のないときはシステムから取りはずすことができます。パワースタッカーは、システムに固定されています。

2・インサートシステムの概要

フィーダータワー フィーダータワーは、ユニットの片側に据え付けられた左右トレイホルダーおよびマテリアルフィーダーです。タワーの側面にあるラッチをはずすと、タワーが開いて出口搬送とタワー搬送ローラーがあります。これにより、タワーから排出されるときに詰まったマテリアルに簡単に手が届くようになります。システムの構成によっては、タワーは2つまたは4つのフィーダートレイを装着することができます。

⚠ 注意	
	可動構造が人身傷害を引き起こす可能性があります。
	手、長い頭髮、ネクタイ、アクセサリー、ゆとりのある衣服は、可動部分から離すようにしてください。



図 2.2.1：ラッチでフィーダータワーを開きます

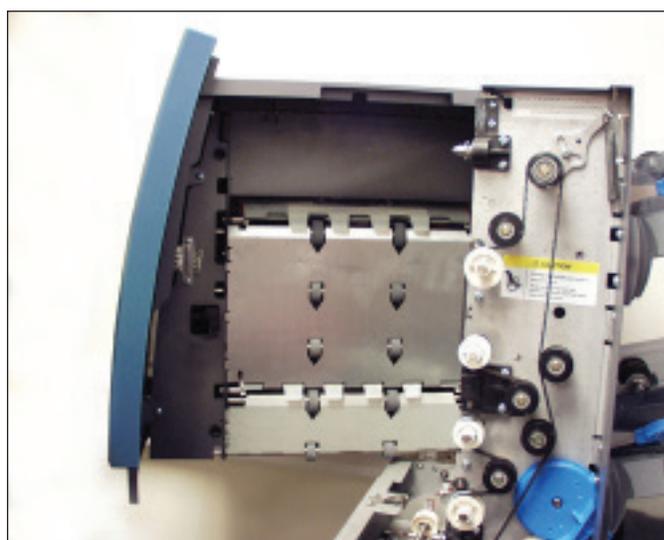


図 2.2.2：左右フィーダータワー：開くと、フィードローラーに簡単に手が届きます

フィーダートレイ フィーダートレイには、次の2種類があります。

- シートトレイ
- インサートトレイ

必要なトレイのタイプは、指定のジョブで選択された材料のタイプに基づきます。

シートトレイ

シートトレイは平らで紙折りされていない材料をフィードします。推奨される材料のみ使用してください。この説明書の仕様を参照してください。

注：シートトレイの側面には最大積載マークが付いています。フィードエラーを防止するために、材料がこのマークを超えないようにします。



図 2.3.1 : シートトレイ

2・インサートシステムの概要

インサートトレイ インサートトレイは、紙折りの必要がないアイテム（封筒、カード、ブックレット、スリップ、および折られたマテリアル）をフィードします。インサートトレイには、封入物が適切にフィードされるようマテリアルに圧力を与えるスレッドと呼ばれる加重スレッドメカニズムがあります。インサートトレイには、スリップ用と封筒用の2種類の最大積載ラインがあります。



図 2.3.2 : インサートトレイ

手動フィーダー 手動フィーダーを使用して、最大 5 枚までのシートセット（ホチキス留めまたはホチキス留めなし）を手でフィードします。機器は各セットが手動でフィードされるまで待ってから、紙折りをを行い、封筒に封入します。

注：

- 現在のジョブ内にあるアイテムのフィーダータイプ（手動フィーダー）を機能させるには [Manual（手差し）] に設定する必要があります。
- 手動でフィードする郵便物があるジョブには、シートやインサートなどの別のフィーダーのアイテムを含めることもできます。

手動フィーダーを使用するには、次の手順に従います。

1. 手動フィーダーを使用するジョブを選択します。
2. **手動フィーダー**のレバーを押し上げます。
3. **[Trial Piece（トライアル）]** を押してインサーターを起動します。
4. シートの端を 1 枚ずつローラーに押し込んで各セットをフィードします。
5. フィードが終わったらレバーを押し下げます。



図 2.4 : 手動フィーダーレバー。

2・インサートシステムの概要

搬送デッキ

搬送デッキがフィーダータワーからの材料を受け入れ、各種モジュールに送り、郵便物が完成します。標準の搬送デッキは、次で構成されます。

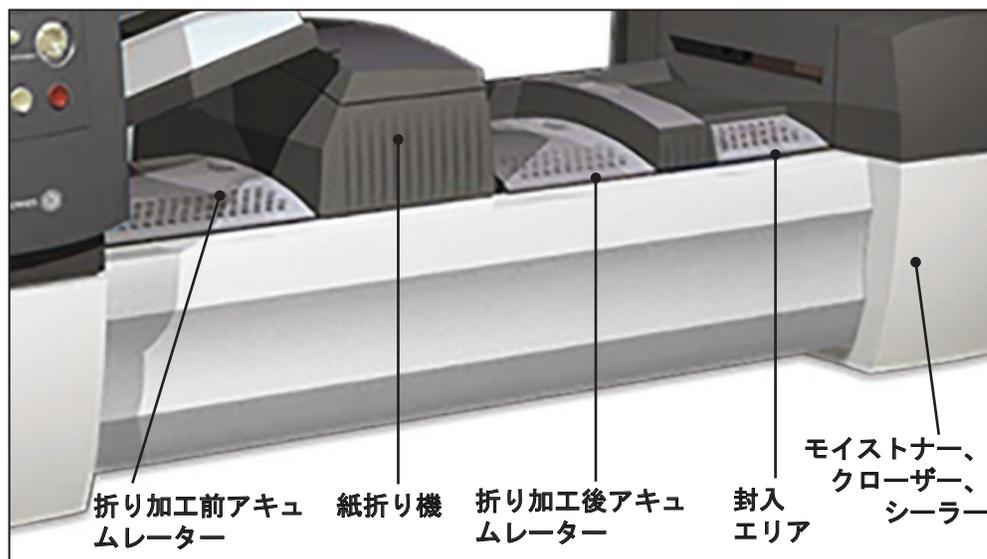


図 2.5 : 搬送デッキ

郵便物経路

フィーダートレイからの材料は指定された順にフィーダータワーに送り込まれます。搬送デッキ内の材料は1つのステーションから次のステーションへすばやく移動し、郵便物が完成します。この完成品はスタッキングビンまたはオプションの HC 出力スタッカーに排出されます。用紙経路内の各モジュールの機能について、次に説明します。

折り加工前アキュムレーター

折り加工前アキュムレーターは、用紙経路で用紙が最初に止まる場所です。折り加工前アキュムレーターは、丁合および紙折りが必要な材料をためるスタック領域です。郵便物の構成用紙の丁合が折り加工前アキュムレーターで終了すると、紙折りエリアに移動します。

紙折り機

丁合シートのスタックが折り加工前アキュムレーターから紙折り機に排出されます。次に紙折り機はスタックの紙折りを行い、折り加工後アキュムレーターに搬送します。紙折りには次のオプションがあります。

- C 折り
- Z 折り
- 1つ折り
- 2つ折り
- 折りなし

(一部のアドレス配置および紙折りタイプの組み合わせには、オプションのインバーターを使用できる場合があります。)

折り加工後アキュムレーター

折られたシートのスタックは、紙折り機から折り加工後アキュムレーターエリアに排出されます。返信用封筒や折り済みインサートなどの郵便物のその他の構成セットは、紙折り後アキュムレーターエリアで追加されます。すべての構成セットが揃うと、スタックは封入エリアに移動します。

封入エリア

郵便物の中身は封入エリアの外封筒に入れられます。封筒は表を下にしてフラップが開いた状態で封入エリアに送られます。封入エリアの封筒オープナーは、内容物が中に滑り込むのに十分な幅に封筒を広げます。

紙折り機バイパス経路

丁合済みセットを入れる外封筒は、フィーダーからフィードされて、搬送デッキの一番下の部分を通過します。封筒の通過経路は、紙折りエリアバイパス経路と呼ばれます。

モイストナー、クローザー、シーラー

封筒がモイストナーを通過するときに、ブラシが封筒のフラップ上を移動して、糊しろを濡らします。次に、封筒は逆さになり、クローザーとシーラーを通過して郵便物が完成します。完成した郵便物はスタッカーに排出されず。

2・インサートシステムの概要

コントロール パネルについて

コントロールパネルは、次のコンポーネントで構成されます。

- **画面オプションキー**：最大 24 個のジョブを定義でき、システムメモリに格納できます。このキーは保存されたジョブの編集にも使用します。
- **固定ファンクションキー**：画面に表示されるシステム内蔵ツール（ヘルプファイルなど）にアクセスできます。
- **画面ナビゲーションキー**：ディスプレイ内を上下および左右に移動し、選択した項目を適用できます。
- **マシンアクションキー**：ハードウェアコンポーネントおよび機械の動作を制御します。
- **LED ステータスインジケータ**



コントロールパネル

画面オプション キー

画面オプションキーは、画面の右側にある 8 個のキーです。これらのキーは画面上のオプションに対応しているため、専用のラベルはありません。これらのキーを使用して、表示された一覧からアイテムを選択して強調表示したり、関連付けられたメニュー、アイテム、アクション、またはオプションを選択します。

固定ファンクションキー

固定ファンクションキーは、画面の1行目のキーです。使用できる各キーの機能は、表示される画面によって異なります。次に各キーの使用について説明します。

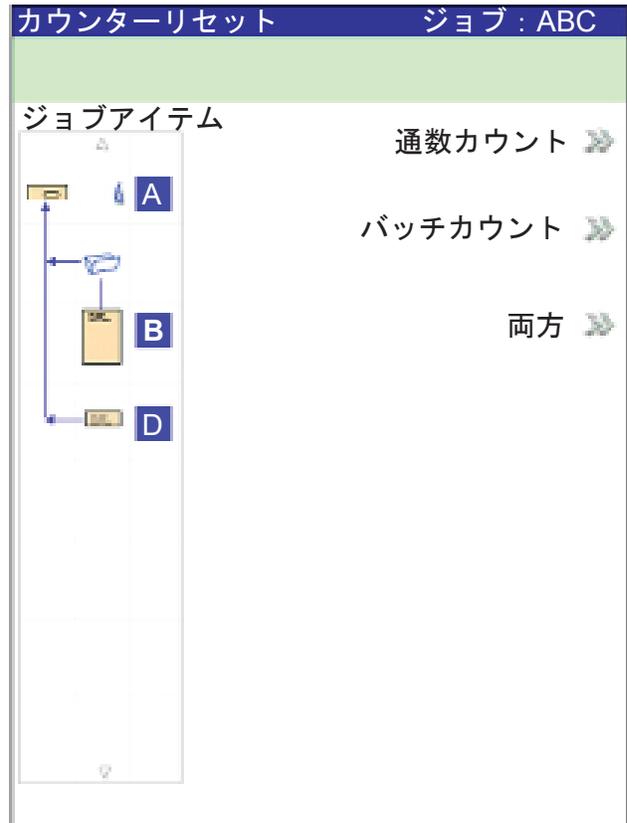
カウンターリセット

システムには次の2種類のカウンターがあります。

- 通数カウンター
- バッチカウンター

注：フラットシーラーがシステムに搭載されている場合、この画面で [Mark Piece Count (通数カウンターのマーク)] オプションが使用可能になります。

[Mark Piece Count (通数カウンターのマーク)] オプションが表示されている場合は、[Both (両方)] リセットオプションが [すべて] に変わります。フラットシーラーの詳細は、『system Operator Guide (システム取扱説明書)』の第7章を参照してください。



[Reset Counters (カウンターリセット)] 画面

通数カウンターのリセット

通数カウンターはディスプレイ画面の下方に表示されます。通数カウンターは累積型カウンターです（郵便物の完成品ごとに数値が増えます）。

同じジョブを異なる顧客向けに実行したり、異なる材料を使用する場合は、カウンターをゼロにリセットして、新しいジョブで作成される郵便物の完成品をカウントしてください。

通数カウンターをリセットするには、次の手順に従います。

1. **[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** を押して、**[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** 画面を表示します。
2. **[Piece Count (通数カウント)]** を選択します。
3. ホーム画面に戻ります。画面の一番下にある通数カウンターの数字がゼロになります。

2・インサートシステムの概要

固定ファンクションキー (続き)

バッチカウンターのリセット

バッチカウンターは合計数を設定した数字までカウントします。システムが郵便物の完成品を検知するたびにカウンターの数字が1ずつ増えます。数字がバッチカウントに達すると、システムは停止します。

このジョブの必要な数字をリセットするには、次の手順に従います。

1. **[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** を押して、**[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** 画面を表示します。
2. **[Batch Count (バッチカウント)]** を選択します。
3. ホーム画面に戻ります。画面の一番下にあるバッチカウンターの数字が元の設定に戻ります。

注：バッチカウンターは最大4桁で、値は5~9999の範囲です。

通数カウンターのマークのリセット

[Mark Piece Count (通数カウンターのマーク)] を選択すると、封筒の端に付けるマークのカウンターがゼロにリセットされます。

1. **[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** を押して、**[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** 画面を表示します。
2. **[Mark Piece Count (通数カウンターのマーク)]** を選択します。
3. ホーム画面に戻ります。カウンターがリセットされてゼロになります。

2つのカウンターをリセットする

両方のカウンターをリセットする場合は、通数カウンターとバッチカウンターの2つともがゼロにリセットされます。

1. **[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** を押して、**[RESET COUNTERS (カウンターリセット)]** 画面を表示します。
2. **[Both (両方)]** を選択します。
3. ホーム画面に戻ります。画面の一番下にある通数カウンターの数字がゼロになり、バッチカウンターの数字は元の設定に戻ります。

ヘルプ

[HELP (ヘルプ)] を選択すると、現在表示されている画面に関する情報が表示され、ヘルプファイルにアクセスできます。

キャンセル

[Cancel (キャンセル)] を選択すると、前の画面に戻ります。

注：[Cancel (キャンセル)] を押す前にジョブを変更した場合、変更を保存するように指示されます。[Yes (はい)] を押すと変更が保存され、[No (いいえ)] を押すと変更が削除され、変更を保存した最後の画面に戻ります。変更を削除すると、完全に消去されるので注意してください。

ホーム

[HOME (ホーム)] を選択すると、現在のジョブのホーム画面に戻ります。現在のジョブには編集集中に変更された内容が自動的に含められます。

[Save Job (ジョブの保存)] を選択するまで、変更は保存されません。変更後、まだ保存していないジョブには、ジョブ名の横にアスタリスク (*) が付けられます (ホーム画面の上部)。

マシンアクションキー

コントロールパネルの一番下に並んでいる4つのキーは、**[machine action keys (マシンアクションキー)]**と呼ばれます。これらのキーを使用してシステムを稼働します。



マシンアクションキー

開始

緑色の**[Start (開始)]**キーを押すと、選択されたジョブの実行を開始します。

トライアル

ジョブのテストランを実行するには、**[Trial Piece (トライアル)]**を押します。1個の完成した郵便物を作成します。これにより、ジョブ設定が正しいかどうか、郵便物の中身が合っているか、システムが適切に機能しているかどうかを確認できます。

注：

- 郵便物の封かんが必要なジョブの場合でも、トライアルでは検査が簡単に行えるよう封かんはしません。
- 二重検知は、トライアルの作成時に設定されます。郵便物の内容を調べて、正しい数のアイテムが封筒にインサートされていることを確認します。

デッキクリア

[CLEAR DECK (デッキクリア)]を押すと、現在用紙経路で処理中のマテリアルがシステムから排出されます。

注：手動による郵便物の作成作業を減らすために、システムからの要求メッセージが表示された場合のみ**[CLEAR DECK (デッキクリア)]**を押してください。

停止

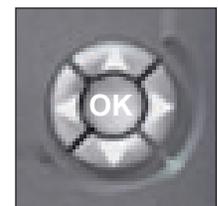
[Stop (停止)]を押すと、郵便物の作成処理が停止します。

画面ナビゲーションキー

[screen navigation keys (画面ナビゲーションキー)]は、画面上でカーソルを移動します。郵便物アイコンツリー内のアイテムを選択する場合も使用します。

画面ナビゲーションキーは、二重になった丸いボタンによって構成されます。外側のボタンは**[UP/DOWN (上下)]**および**[LEFT/RIGHT (左右)]**の矢印キーで、画面上でカーソルを上下および左右に移動します。内側のボタンは**[OK]**ボタンです。

矢印キーを使用して選択した内容を適用する場合は、必ず**[OK]**を押します。



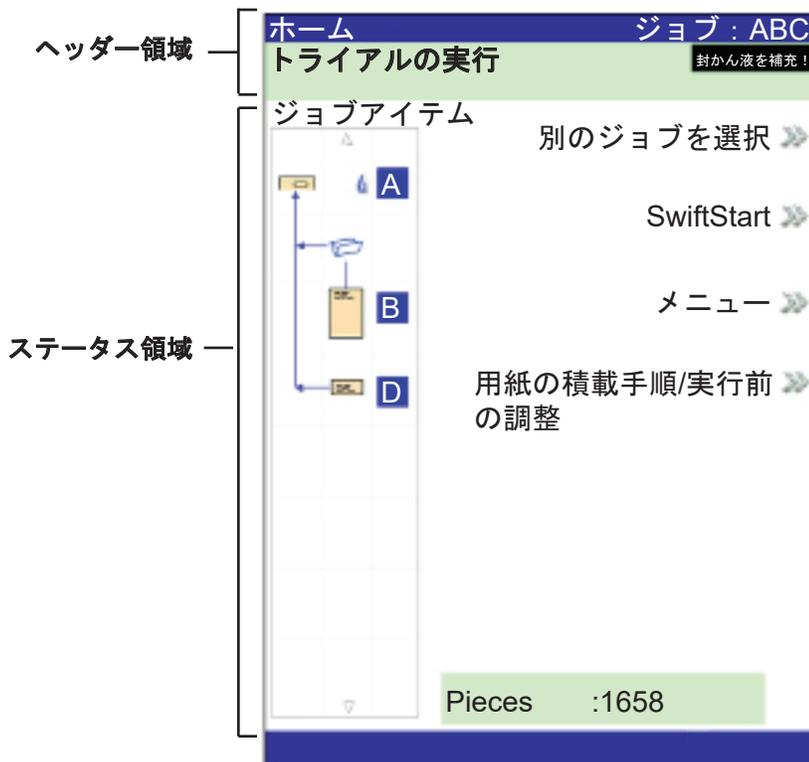
画面ナビゲーションキー

2・インサートシステムの概要

ディスプレイ画面

ディスプレイ画面は、次の2つの領域に分かれています。

- ・ ヘッダー領域
- ・ ステータス領域



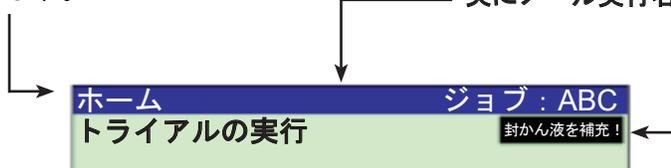
ディスプレイ画面

ヘッダー領域

【header area（ヘッダー領域）】には画面の一番上を横切る2つの色付きのバーがあります。上のバーは青色で下のバーは緑色です。上のバーの左側には、作業中の画面の名前が表示されます。選択する画面によっては、ジョブ名がヘッダー領域の右側に表示される場合もあります。緑色のバーには操作説明と画面の移動手順が表示されます。

上部（青色）バーには画面名とジョブ名が表示されます。

接続されたプリンターをジョブで使用している場合、上部（青色）バーの中央にメール実行名が表示されます。



一番下にある緑色のバーには説明と画面のナビゲーション手順が表示されます。

ステータス領域

画面の【status area（ステータス領域）】には、実行中の作業に関する情報のみが表示されます。この領域には、次の項目のいずれかまたは全部が表示されます。

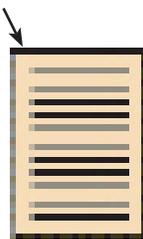
- 郵便物アイコンツリー
- アイテムのセット方向
- オプション
- ホーム画面の一番下に表示されるデータには、バッチカウント、通数カウント、およびユーザー ID のみが含まれます。

郵便物アイコンツリー

郵便物アイコンツリーは、画面の左側にあります。ツリーには郵便物の各構成用紙のアイコンと、マテリアルが紙折りされる場合は紙折りアイコンが表示されます。アイコンは郵便物の構成用紙の丁合順に並んでおり、外封筒アイコンはツリーの一番上に表示されます。アイコンと並んで表示されるアルファベットは、フィーダートレイの割り当てを表しており、小さな青色の水滴アイコンは封かん機能がオンになっていることを示します。

- 各アイコンの上部または下部のどちらかの端は太い線で表され、マテリアルの前端を示しています。封入物の前端は、機器に最初にフィーダされる端を表します。例えば、表を上向きにして一番上を最初にセットするシートは、一番上が「前端」を表す太線になっている「上向き」シートアイコンで表されます。

前端



シート、表面上

- フィーダー割り当て文字はアイコンと並んで表示され、封入物をセットするフィーダートレイを示します。1つのアイコンと並んで表示される2つ以上のフィーダー割り当て文字は、フィーダートレイがリンクされていることを示します。アイテムは示されているすべてのフィーダートレイにセットしてください。1つのフィーダートレイが空になった場合、リンクされている次のフィーダートレイに連続して自動的に切り替わります。
- 二重検知機能を使用中の場合は、関連アイコンのすぐ左側に二重検知アイコンが表示されます。

二重検知アイコン



リンクフィーダー

フィーダー割り当て文字

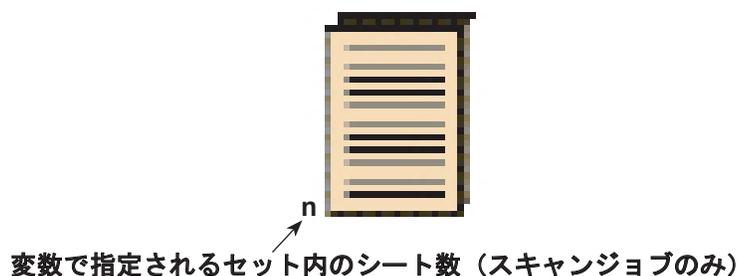
2・インサートシステムの概要

ステータス域 (続き)

- 複数のシートをフィードするようにシートフィーダーがプログラムされている場合、セット内のシート数を示す数字とともに、複数シートを示すアイコンが表示されます。



- スキャンジョブ（OMR またはバーコード）で、OMR またはバーコードマークの制御により、シートが変数で指定された枚数フィードされる場合、数値の場所に小文字の n が表示されます。



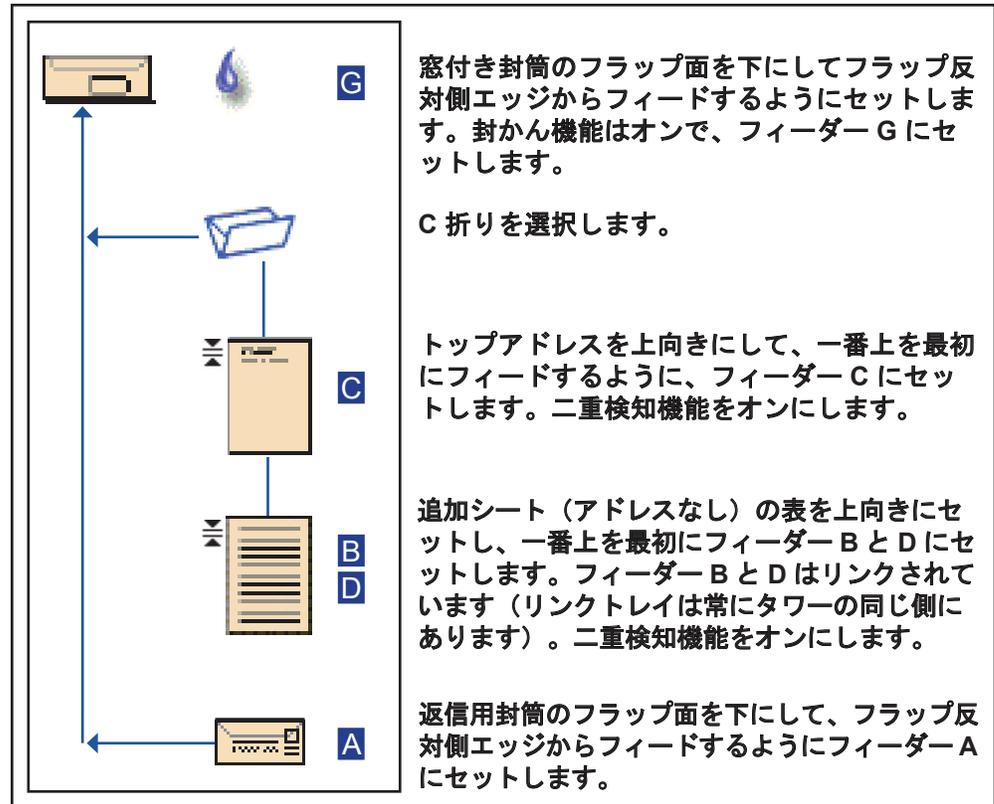
- アイコン間の線は郵便物のアキュムレートの順番を示します。外封筒はアイコンツリーの一番上にあります。
- ジョブ設定を変更すると、郵便物アイコンツリー内のフィーダートレイの割り当てが変更される場合があります。

注：ジョブ設定を変更する場合は、郵便物アイコンツリー内のフィーダートレイの割り当てを確認してください。

ステータス域 (続き)

郵便物アイコンツリーの例

各アイコンには、アイコンで表される郵便物の構成用紙に関する情報が表示されます。次はアイコンからわかる情報、マテリアルセット時およびジョブの実行時におけるアイコンの有用性についての説明です。



例：郵便物アイコンツリー

注：

- 上記の例では、「トップアドレス」、「追加シート」および「C 折り」の各アイコンはセットを表しています。つまり、「トップアドレス」と「追加シート」が一緒に名寄せされ、「C 折り」が適用されます。
- インサート（返信用封筒アイコンを参照）は常に 1 つのセットとして郵便物アイコンツリーに表示されます。

2・インサートシステムの概要

ステータス域 (続き)

アイテムのセット方向

画面ナビゲーションキーを使用して郵便物アイコンツリー内のアイコンを選択し、アイコンによって表されるアイテムに関する情報を表示します。ほとんどの場合、画像は画面のステータス領域に表示され、アイテムをトレイにセットするときに必要な方向を表します。

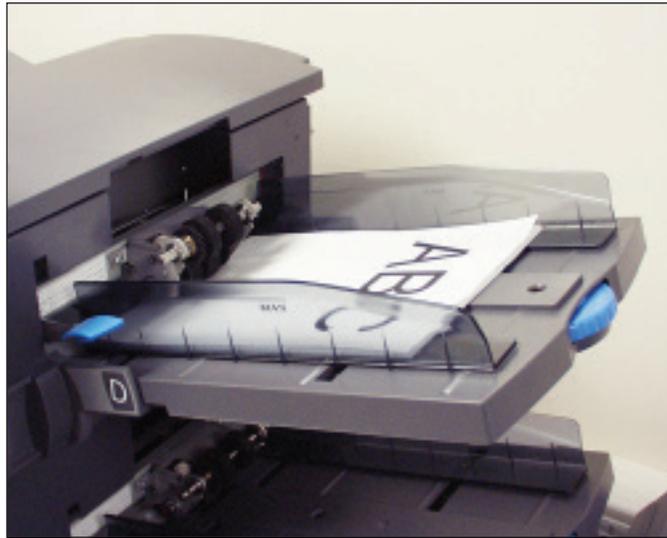
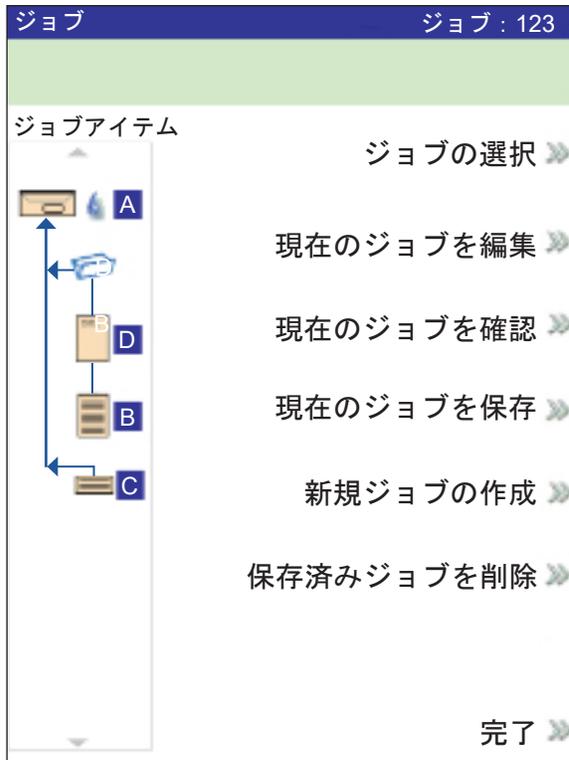


図 2.6 : サンプル - マテリアルの方向画像

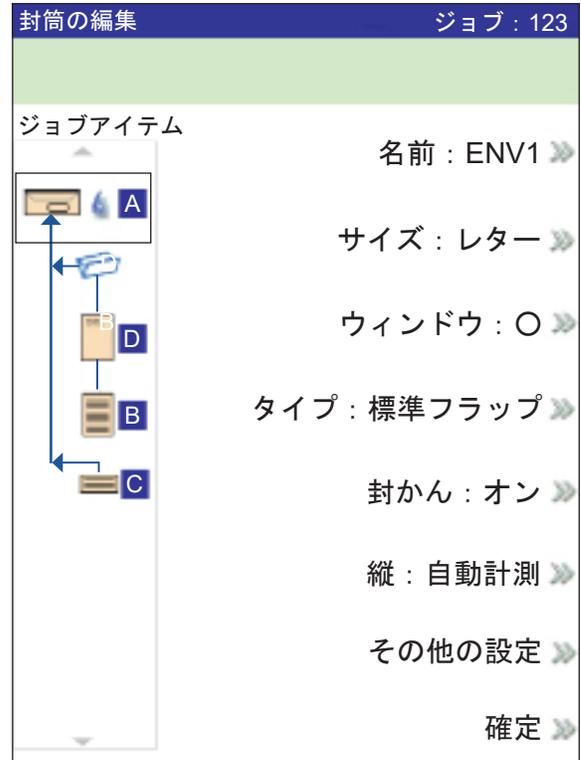
ステータス域 (続き)

オプション

ディスプレイ画面の右側には、現在表示されている画面で利用できるオプションの一覧が表示されます。画面によって表示される機能のオプション構成は違います。また、画面上で選択した条件によっても、オプション構成は異なります。使用可能なオプションの選択は、この章の前半で説明した画面オプションキーを使用して行います。下の画面例を参照してください。



例：機能表示



例：オプション表示

注：2つの山形記号 (>>) はオプションにサブメニューがあることを示します。1つの山形記号 (>) は、はい/いいえまたはオン/オフなどの2つの選択を切り替えることを示します。

フッター

ホーム画面の一番下に表示されるデータは、ユーザーとアカウントを識別するためのものです。

2・インサートシステムの概要

アクセス権

システムでは、次の2種類のセキュリティーモードを使用できます。

- **【Login Not Required Mode (ログイン不要モード)】**：スーパーバイザーおよびマネージャー機能を実行するには4桁のアクセスコードが必要です。
- **【Login Required Mode (ログイン必須モード)】**：アクセスレベルを設定します。システムオペレーター、スーパーバイザー、およびマネージャーのすべての機能にユーザー ID およびパスワードが必要です。

システムには3種類のユーザーアクセスレベルがあり、1つのレベルはサービス担当者用です。3種類のユーザーアクセスレベルは次のとおりです。

- オペレーター
- スーパーバイザー
- マネージャー

セキュリティーモードによっては、スーパーバイザーおよびマネージャーアクセスレベルでアクセスコードまたはユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。アクセスレベルはシステム管理者によって割り当てられます。

オペレーター：スーパーバイザーまたはマネージャー機能以外のすべての機能にアクセスできます。セキュリティーモードがオンになっている場合、システムオペレーターはシステムへのログインおよびログアウトが必要になることがあります。

第3章では、アクセス制限のない機能の実行手順について説明します。

スーパーバイザー：すべてのオペレーター機能にアクセスでき、アクセスコードまたはユーザー ID とパスワードによってログイン後は次の機能にもアクセスできます。

- ジョブの保存
- ジョブの削除
- アカウントの作成
- アカウントの削除

第4章では、これらのスーパーバイザーレベルの機能の実行手順について説明します。

マネージャー：上記のすべての機能に加え、他のユーザーの管理（機能の割り当ておよび制限、アカウントモードの選択など）を独占的に行う権限があります。

第4章では、ユーザー ID とパスワードの割り当ておよびアカウントモードの選択について説明します。

アクセス権 (続き)

【Login Required Mode (ログイン必須モード)】が有効な場合、システムにアクセスするにはユーザー ID とパスワードの入力が必要です。【Login Not Required Mode (ログイン不要モード)】が有効な場合、限定機能にアクセスするにはアクセスコードの入力が必要です。

注：ユーザー ID とパスワードまたはアクセスコードは、マネージャーが割り当てます。ユーザー ID には英数字を使用できますが、アクセスコードとパスワードに使用できるのは数字のみです。

ログインする

2 のセキュリティーモードのいずれかがオンになっている場合、オペレーター機能を実行するにはログインの必要があります。

1. 【Select User (ユーザーの選択)】画面が表示されます。適切なユーザー ID を選択します。

注：必要に応じて、【Next (次へ)】を押してその他のユーザー ID を表示します。

2. パスワードを入力します。

注：パスワードは 4 桁の数字からなるコードです。1、2、3、4、および 5 の数字が最初の画面に表示されます。【Next (次へ)】を押すと、6、7、8、9、および 0 の数字が表示されます。

3. パスワードを入力したら、【Accept (確定)】を押します。ホーム画面が表示されます。

ログイン不要モードがオンで、ユーザー ID とパスワードがマネージャーによって設定されている場合、【log in (ログイン)】オプションがホーム画面に表示されます。

ログアウトする

システムからログアウトするには、ホーム画面で【Log Out (ログアウト)】を選択します。

注：次のオペレーターがログインできるように、必ずシステムからログアウトしてください。

2・インサートシステムの概要

システムのカバーについて

下の図に示されているシステムの前面にある3つのカバーを開けると、用紙解除つまみに手が届きます。

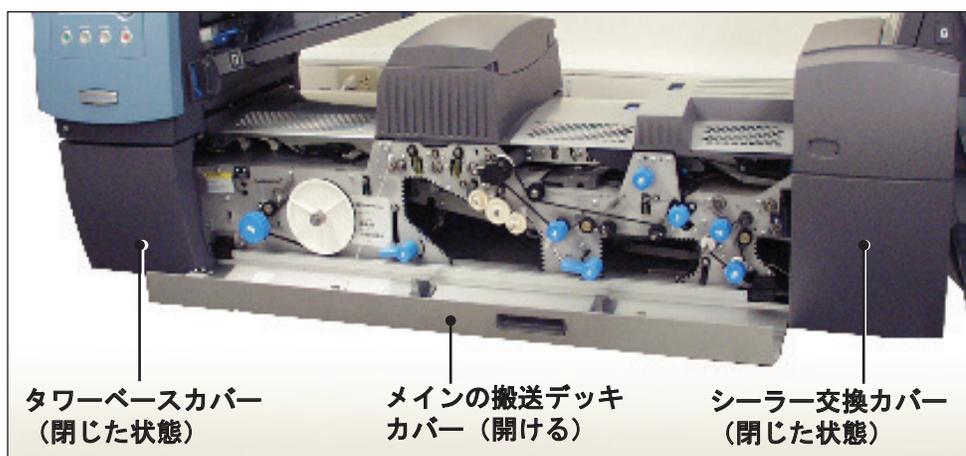


図 2.7.1 : 前面カバー

搬送デッキの上にあるカバーを開けると、メインの用紙経路にあるローラーに手が届くようになります。

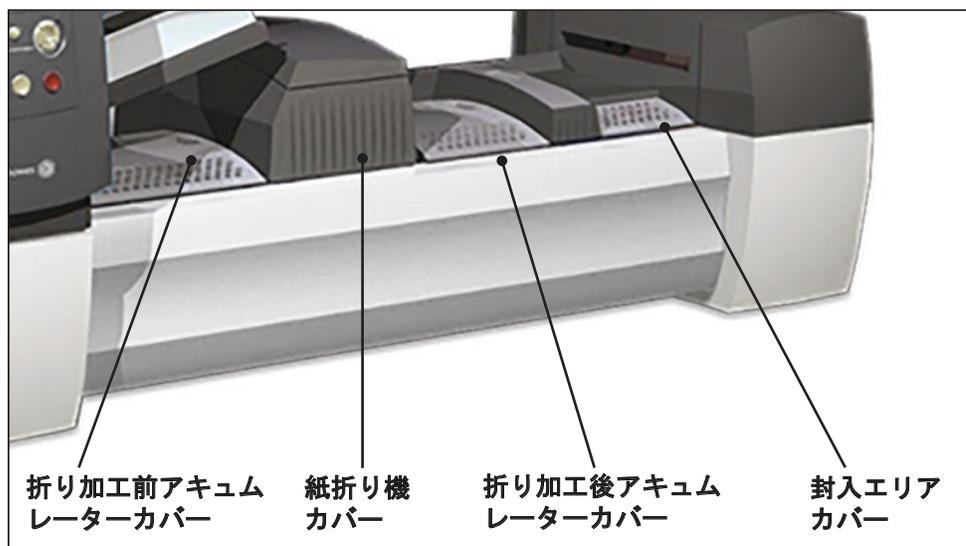
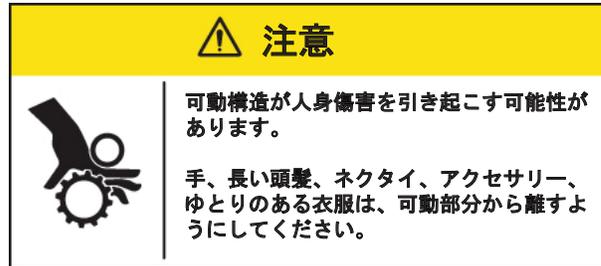


図 2.7.2 : 上部カバー

カバーを開ける

タワーベースカバーは、メイン搬送デッキカバーと連結しています。つまり、メイン搬送デッキカバーを先に開けないと、タワーベースカバーは開きません。



メイン搬送デッキカバーを開けるには、次の手順に従います。

1. カバーの上にあるスロットに指を入れます。
2. 慎重に引き下げます。カバーがはずれないよう、安全ひもによって固定されています。

重要：開いた状態のカバーに寄りかからないでください。

タワーベースカバーを開けるには、次の手順に従います。

1. メイン搬送デッキカバーを開けます。
2. タワーベースカバーのハンドルを引き下ろします。

カバーを閉じる

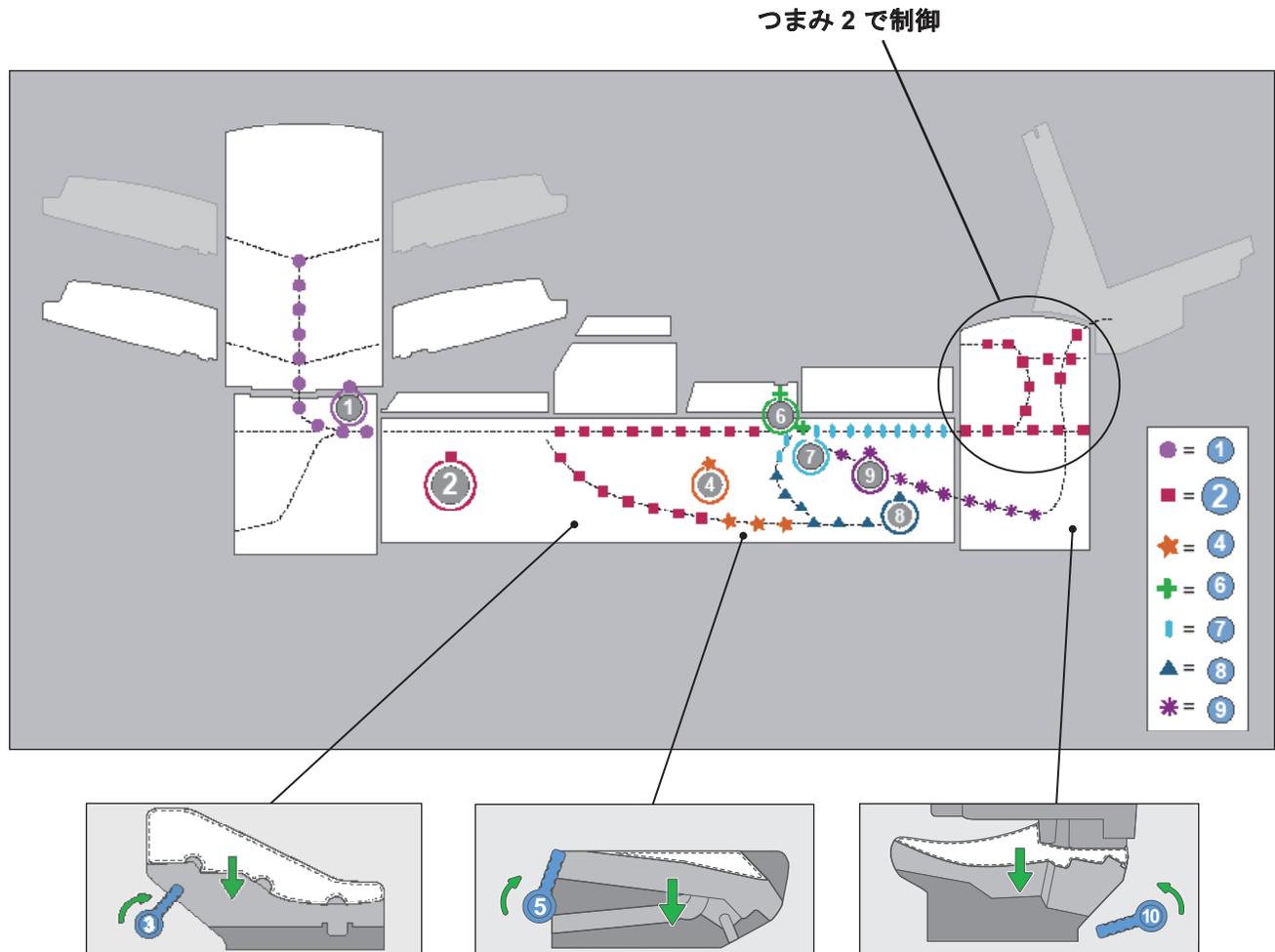
下部タワーやメイン搬送デッキカバーを閉じるには、システムデッキに固定されるまでカバーを押し上げます。

2・インサートシステムの概要

用紙解除つまみ およびレバーに ついて

システムの前面には 10 個の用紙解除つまみとレバーがあります。各つまみはローラーを回すためのもので、停滞したマテリアルをエリアから取り除く場合に使用します。各用紙解除レバーでシステムのエリアを開けると、停滞したマテリアルを取り除くことができます。

この図は、各つまみおよびレバーの場所と、つまみによってマテリアルが移動する場所およびレバーによって開く部分を示しています。



用紙解除つまみおよびレバーの場所と関連エリア

アドオンモジュールについて

システムには多数の追加モジュールを組み込むことができます。詳細は、第 7 章を参照してください。

3・基本的な操作

電源の接続.....	3-2
電源の投入.....	3-2
ホーム画面.....	3-3
ジョブの概要.....	3-4
ジョブの選択.....	3-5
フィーダー設定およびマテリアルの積載.....	3-6
フィーダータワーへのトレイの取り付け.....	3-6
フィーダータワーからのトレイの取り外し.....	3-7
トレイへのマテリアルのセット.....	3-8
HCEF（大容量封筒フィーダー）へ封筒をセットする.....	3-13
実行前の調整.....	3-18
封筒オープナーの調整.....	3-18
トライアルの実行.....	3-22
ジョブ設定の確認.....	3-24
ジョブの開始.....	3-25
SwiftStart™ ジョブ.....	3-25
SwiftStart™ の使用.....	3-26
ジョブの作成.....	3-26
ジョブのオプション.....	3-30
封筒オプション.....	3-30
紙折りオプション.....	3-32
シートオプション.....	3-33
インサートオプション.....	3-36
ジョブの編集.....	3-40
ジョブの設定の変更.....	3-41
アイテムの編集.....	3-41
アイテムの追加.....	3-42
アイテムの移動.....	3-44
アイテムの削除.....	3-45

3・基本的な操作

電源の接続

次の操作方法について説明します。

- インサートシステムの正しい電源投入方法
- ジョブの選択



警告！システムを電源に接続する前に第 1 章の安全性に関する情報を読んでください。

システムを電源に接続するには、次の手順に従います。

1. 電源コードをインサーターの裏側にあるソケットに接続します。
2. 電源コードを適切なコンセントに差し込みます。コンセントがインサーターの近くにあり、簡単に手が届くことを確認してください。

電源の投入

コントロールパネルの下にあるオン／オフのスイッチを押して、電源を入れます。

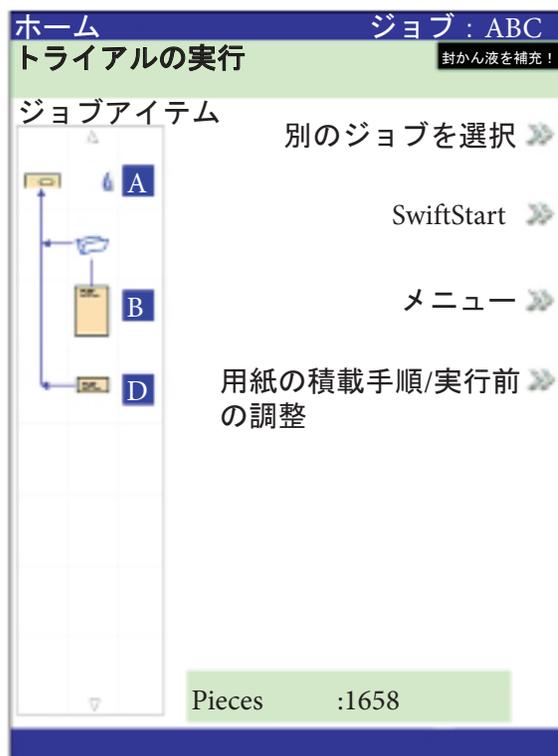
注：HCSF（大容量シートフィーダー）がある場合は、ベースの電源を投入する前に HCSF の電源を投入してください。

システムの操作上の整合性を確認するための多数の検査が自動的に行われます。問題が検知されると、問題を解決するための解決策が表示されません。

注：システムに電源を投入するときに、オプションの追加機器にも電源が入っていることを確認してください。

ホーム画面

システムのスタートアッププロセスが終了すると、ホーム画面が表示されます。実行した最後のジョブはホーム画面に表示されます。ジョブに関する情報は、別のジョブの選択、表示されたジョブの編集、SwiftStart™ 機能の使用、および選択されたジョブの用紙の積載手順と一緒に表示されます。



ホーム画面

画面の輝度またはコントラストを調整する手順の詳細は、第 5 章を参照してください。

3・基本的な操作

ジョブの概要

この章では、ジョブの実行、作成、または編集に必要な手順について説明します。

ジョブの実行：ジョブの実行には、5つの主要な手順があります。これらの手順は、次に示す順に実行してください。

- ジョブの選択
- フィーダー設定およびマテリアルの積載
- 実行前の調整（必要な場合）
- トライアルの実行
- ジョブの開始

この章では、これらの各手順の詳細について説明します。この章では、実行するジョブがシステムの **[Saved Jobs (保存済みジョブ)]** リストに存在することを想定しています。

注：

- ジョブアイテムリストには、郵便物内のアイテムの順序が表示されます。ジョブアイテムリストの外封筒の下にある最初のアイテムは、封筒から中身を取り出すときに一番上にくるドキュメントです。
- ジョブアイテムリストのシートアイコンおよびインサートアイコンは、1枚のシートまたはインサートを表すものではなく、フィーダーにセットするマテリアルのスタックまたは束を表します。
- ジョブを実行する前は毎回、用紙の積載手順を確認してください。フィーダー割り当ておよびジョブ設定によっては、セットする方向が変わる場合があります。たとえば、1つのフィーダーでは用紙の一番下を最初にセットし、別のフィーダーでは一番上を最初にセットすることがあります。
- フィーダー割り当てはジョブを最適化するために機器によって判断されます。このため、フィーダーはジョブを選択後にのみ割り当てられます。また、ジョブを編集すると、フィーダー割り当てが変わる場合があります。
- ほとんどのマテリアルはシステムによって自動的に調整されます。ただし、外封筒の開口部が著しく異なる場合は、手動による調整が必要になることがあります。また、幅または長さが異なるシートをHCSF（大容量シートフィーダー）からフィードする場合も調整が必要です。

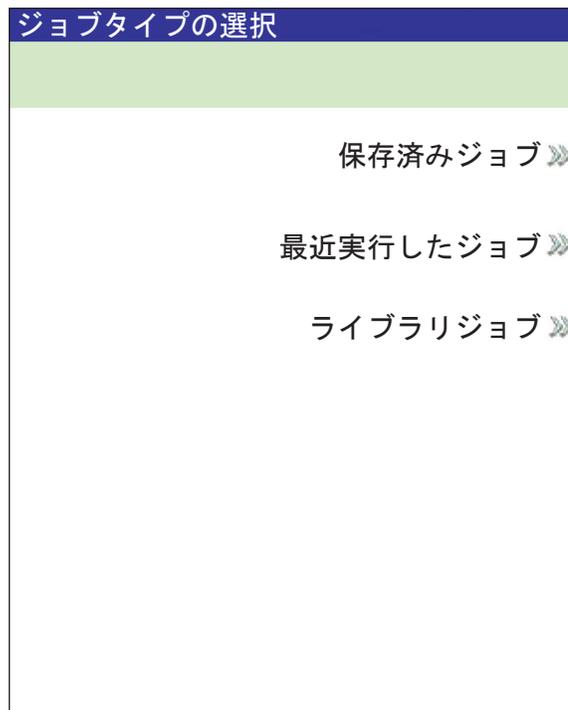
ジョブの作成：ジョブが存在しない場合、スーパーバイザーまたはマネージャーが作成して保存する必要があります。詳細は、この章の「ジョブの作成」を参照してください。

ジョブの編集：ジョブの変更が必要な場合、ジョブを編集して実行できますが、変更の保存はスーパーバイザーまたはマネージャーが実行する必要があります。詳細は、この章の「ジョブの編集」を参照してください。

ジョブの選択

実行するジョブが現在ホーム画面に表示されている場合は、この章の「トライアルの実行」セクションに進んでください。それ以外の場合は、次の手順に従ってジョブを選択します。

1. ホーム画面から次のように操作します。
 - **【Select Another Job (別のジョブを選択)】** を選択すると、保存済みジョブリストが表示されます。次の手順 \$3 に進みます。
- または
- **【Menu (メニュー)】**、**【Jobs (ジョブ)】**、**【Select Job (ジョブの選択)】** の順に選択します。**【Select Job Type (ジョブタイプの選択)】** 画面が表示されます。



【Select Job Type (ジョブタイプの選択)】画面

2. [Job Type (ジョブタイプ)] 画面では、システム内のすべてのジョブにアクセスできます。この画面には、実行するジョブを検索するための3つのカテゴリが表示されます。
 - **【Saved Jobs (保存済みジョブ)】** には作成および保存したジョブのリストが表示されます。
 - **【Recently Run Jobs (最近実行したジョブ)】** には、システムで実行した最後の8個のジョブのリストが表示されます。このリストには、各ジョブの名前と実行日時が表示されます。
 - **【Library Jobs (ライブラリジョブ)】** には、システムに組み込まれている定義済みジョブの名前が表示されます。
3. 該当するカテゴリを選択して、使用可能なジョブのリストを表示します。
4. リストから該当するジョブを選択します。
 - 最初のページにジョブが表示されない場合は、上下の矢印キーを使用してリストをスクロールします。
 - リスト内のジョブを選択すると、ジョブの郵便物アイコンツリーが表示され、ジョブを識別できます。

3・基本的な操作

フィーダー設定 およびマテリア ルの積載

実行するジョブを選択したら、ジョブを実行するためにシステムを設定してください。システムを設定するには、次の手順に従います。

- 要求メッセージが表示されたら、フィーダータワーへのトレイの取り付けを行います。
- 郵便物アイコンツリーに表示される積載手順および選択されたジョブの手順の指示に従ってトレイにマテリアルをセットします。
- 必要な場合は、HCEF（大容量封筒フィーダー）へセットします。

後続のセクションでは、これらの作業の詳細について説明します。

注：HCSF（大容量シートフィーダー）がある場合は、マテリアルをこのフィーダーにセットする必要があります。詳細は、第7章の「HCSFガイドの調整」を参照してください。

フィーダータワー へのトレイの取り 付け

どちらのタイプのトレイについても、郵便物アイコンツリーに示された場所にあるフィーダータワーへの設置手順および用紙の積載手順は基本的に同じです。

注：トレイの取り付けや取りはずしは、両手で行ってください。

1. トレイの後端をフィーダータワーのトレイマウントの位置に合わせます。
2. （フィーダータワーの側面にある）セパレーターリフトレバーを押し上げて、セパレーターを持ち上げます。



レバーを押し上げてセパレーターを持ち上げる



図 3.1.1：セパレーターを持ち上げてトレイをトレイ台に入れる

3. トレイ座部に固定されるまでトレイマウントにトレイをスライドします。

注：トレイ両側の下部にある切れ込みが各トレイマウントの溝にはまれば、トレイが適切に固定されたこととなります。

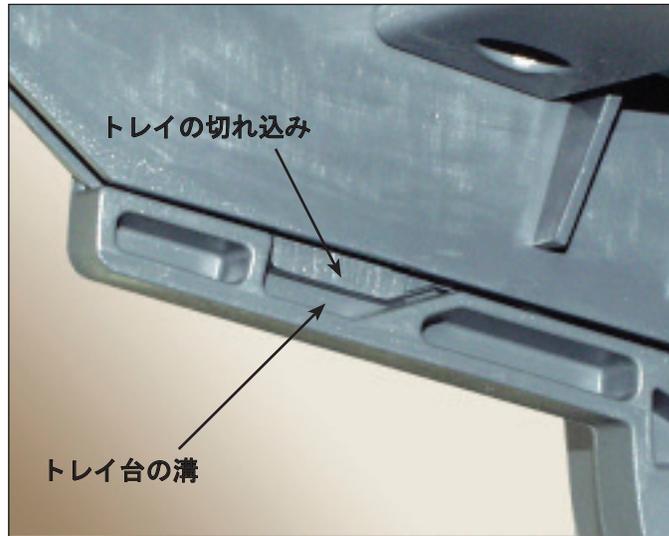


図 3.1.2：トレイマウントに適切に固定されたトレイ
(下から見たところ)

4. トレイをまっすぐに引き戻して、トレイが固定される角度でしっかりと取り付けます。トレイが適切にしっかりと固定されるまで、この手順を繰り返します。

フィーダタワー からのトレイの 取り外し

シートトレイまたはインサートトレイを取りはずすには、次の手順に従います。

1. トレイの端をつかんで持ち上げます。
2. トレイマウントの溝から外れるまでトレイをスライドします。

3・基本的な操作

トレイへのマテリアルのセット

マテリアルをトレイに入れる前に、束になっているアイテムをパラパラとめくって（風を入れる）さばいてください。以下の手順に従います。

1. スタックの一方の端を片手で持ちます。
2. スタックの反対側の端をもう一方の手でパラパラとめくります。
3. 反対側の端についても同じように繰り返します。



図 3.2 : マテリアルをめくる（風を入れる）

トレイ情報

ホーム画面の郵便物アイコンツリーには、郵便物の各アイテムに関する情報が表示されます。各アイコンは、現在のジョブのドキュメントを表します。矢印キーを使用して、ドキュメントアイコンを選択します。アイコンを選択すると、次の情報が表示されます。

- ドキュメントおよびマテリアルタイプの画像
- ドキュメントおよびマテリアルをセットするトレイのタイプ
- トレイ内のドキュメントの方向

トレイへマテリアルをセットする
(続き)

トレイのサイドガイドの調整

青色の溝付きサイドガイドアジャスターは、各トレイの端にあります。このアジャスターはトレイのサイドガイドの開閉をコントロールします。

フィーダータワーのシートトレイおよびインサートトレイにあるサイドガイドを開閉するには、次の手順に従います。

1. トレイの端にあるサイドガイドアジャスターに手のひらを置きます。
2. 手のひらでサイドガイドアジャスターを回します。
 - アジャスターを時計と反対方向に回転すると、サイドガイドはマテリアルの方に移動します。
 - アジャスターを時計回りに回転すると、サイドガイドはマテリアルから離れます。
3. サイドガイドがトレイ内のマテリアルに接触したら、アジャスターから手を離します。ガイドはマテリアルから自動的にはね返り、封筒の厚み 1.4 mm (1/16 インチ) ほどのすき間ができます。このすき間によって、マテリアルを適切にフィードできます。



図 3.3 : サイドガイドアジャスター

注 : サイドガイドを引っぱったり押したりして動かさないでください。サイドガイドを動かす場合は、必ずサイドガイドアジャスターを使用します。

3・基本的な操作

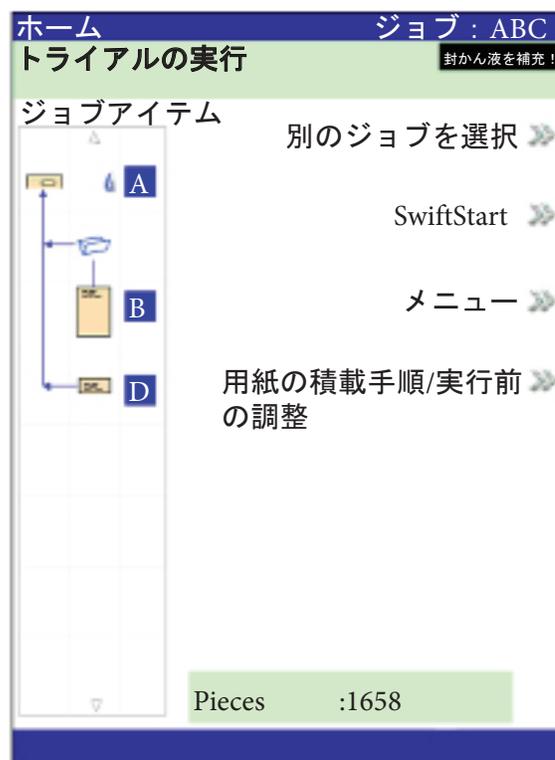
トレイへマテリアルをセットする (続き)

シートトレイへマテリアルをセットする

注：シートトレイの積載、サイドガイドの調整に関して手順のデモを再生するには、ホーム画面にアクセスして [Loading Instructions and Pre-Run Adjustments (用紙の積載手順／実行前の調整)] を選択します。上下の矢印キーを使用して、郵便物アイコンツリーからシート（フィーダータワーからフィードされます）を選択し、次に [Feeders Setup Demo (フィーダー設定デモ)] を選択します。

シートトレイに媒体をセットするには、次の手順に従います。

1. サイドガイドアジャスターを使用して、マテリアルの幅に充分なだけトレイの側面を広げます。
2. マテリアルの小さなスタックをパラパラとめくってさばき、ホーム画面に表示される積載手順で指定された方向に封入物をトレイに入れます。



ホーム画面

3. サイドガイドアジャスターを使用して、サイドガイドがマテリアルの両端に軽く触れるまでサイドガイドを動かします。
調節から手を離すと、ガイドは自動的にはね返り、トレイ内のマテリアルをフィードするときに適当なすき間ができるよう配置されます。

注：サイドガイドは内側に動かした場合のみはね返ります。

4. セパレーターを持ち上げて、マテリアルをトレイに補充します。

注：トレイのフィルラインより上にマテリアルを積まないでください。

サイドガイドアジャスターの詳細は、この章の「トレイのサイドガイドの調整」を参照してください。

トレイへマテリアルをセットする
(続き)

インサートトレイへマテリアルをセットする

注：インサートトレイの積載、サイドガイドの調整に関して手順のデモを再生するには、ホーム画面にアクセスして [Loading Instructions and Pre-Run Adjustments (用紙の積載手順／実行前の調整)] を選択します。上下の矢印キーを使用して、郵便物アイコンツリーでインサートを選択し、次に [Feeders Setup Demo (フィーダー設定デモ)] を選択します。

インサートトレイにマテリアルをセットするには、次の手順に従います。

1. スレッドロックingleレバーを使用して、スレッドをトレイの端までスライドします。スレッドは自動的に所定の位置に固定されます。
2. サイドガイドアジャスターを使用して、マテリアルの幅よりも広めにトレイを広げます。
3. 郵便物アイコンツリーおよびホーム画面の積載手順に指定されている方向にマテリアルのスタックをトレイの前面に対してまっすぐ立てます。

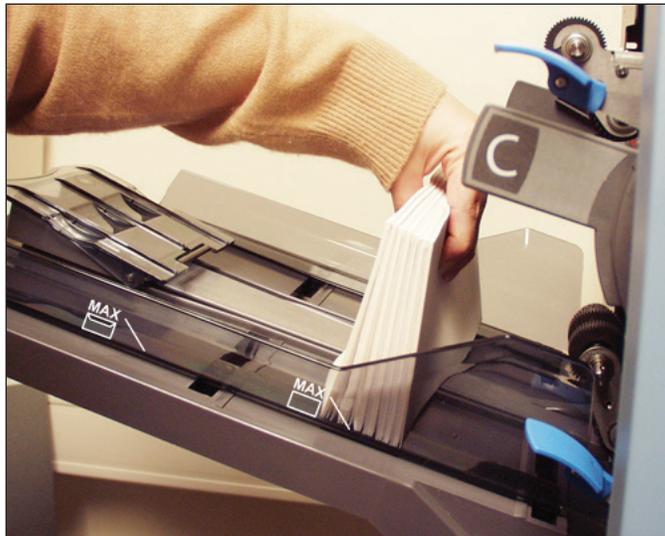


図 3.4.1 : 封入物を立てる

4. サイドガイドアジャスターを使用して、トレイの側面をマテリアルに軽く触れさせ、アジャスターから手を離します。ガイドは自動的にね返り、トレイ内のマテリアルをフィードするときに適当なすき間ができるよう配置されます。

注：サイドガイドは内側に動かした場合のみはね返ります。

サイドガイドアジャスターの詳細は、この章の「トレイのサイドガイドの調整」を参照してください。

3・基本的な操作

トレイへマテリアルをセットする (続き)

インサートトレイへマテリアルをセットする (続き)

5. セットするインサートタイプに該当するトレイのフィルラインまでインサートをセットします。
6. マテリアルをトレイの裏側に向かって若干傾けます。
7. マテリアルを傾けたままスレッドロックリリースを軽く引き上げてロックをはずします。スレッドが前方に移動します。
8. 一番下のマテリアルにスレッドが接触するまでスレッドをスライドし、マテリアルから手を離します。

注：ディスプレイに表示される郵便物アイコンツリー内のアイテムは、選択したジョブ内のマテリアルを表します。矢印キーを使用してアイコンを選択し、トレイ内のマテリアルの方向の画像およびフィーダータワーのトレイの指定場所を表示します。

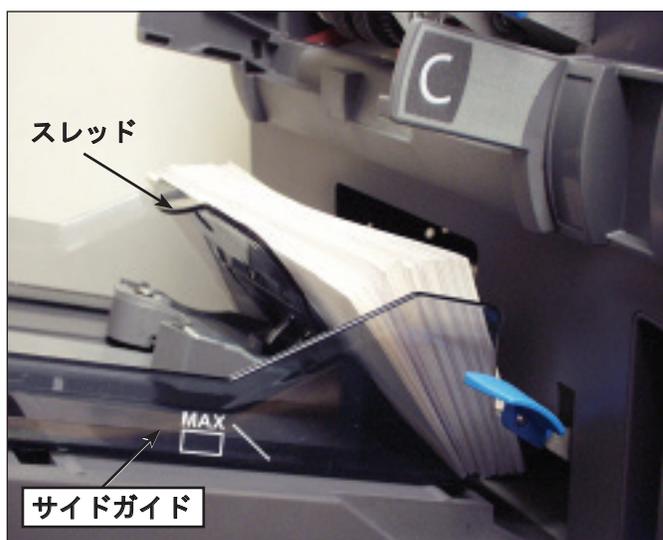


図 3.4.2 : 封入物の最終位置

HCEF（大容量封筒フィーダー）へ封筒をセットする

HCEF は最大 500 枚の封筒を積載します。封筒サイズの範囲は、第 6 章「リファレンス」を参照してください。

HCEF に封筒をセットするには、サイドガイド、ウェッジ、およびセパレーターギャップを調整してください。調整を行う前に、封筒のスタックをパラパラとめくってさばき、入れ子になったり、丸まったり、破損したりしている封筒を取り除きます。

注： ウェッジおよびセパレーターギャップの調整に関して手順のデモを再生するには、ホーム画面にアクセスしてください。[Loading Instructions and Pre-Run Adjustments（用紙の積載手順／実行前の調整）] を選択し、上下の矢印キーを使用して、HCEF からフィードされる封筒を選択し、次に [Feeder Setup Demo/（フィーダー設定デモ）] を選択します。

HCEF サイドガイドの調整

1. サイドガイドの間に封筒を置きます。
2. アジャスターノブを使用して、サイドガイドが封筒に軽く触れるようにします。
3. ノブを放します。サイドガイドは正しい位置にはね返り、封筒がサイドガイドの間を自由にスライドできるようになります。

注： サイドガイドは内側に動かした場合のみはね返ります。

4. 封筒を赤色のフィードベルトに平らに置いたときにサイドガイドの間を自由にスライドすることを確認します。

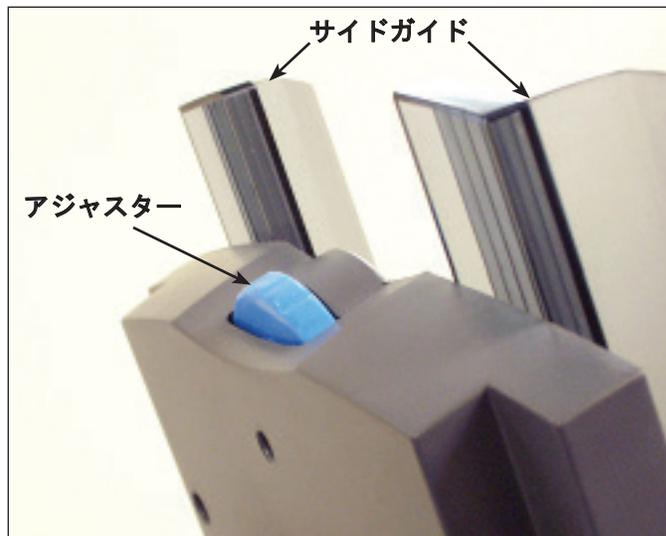


図 3.6 : HCEF サイドガイドの調整

3・基本的な操作

HCEF へ封筒を セットする (続き)

HCEF ウェッジの調整

1. 封筒の下端がセンターガイドの2つのネジと並ぶよう HCEF に封筒をインサートします。封筒の上端（フラップの付いた端）がウェッジの方を向くようにします。

注：封筒が斜めにならずまっすぐに積載されており、正しい位置に収まるようにセンターガイドに接していることを確認します。封筒の位置が間違っていると、セパレーターギャップの調整も正しく行われません。

2. 青色のウェッジロックingleバーを押し上げて手を離します。
3. 封筒の上端がウェッジの中央スロットに収まるまで、ウェッジを封筒の方にスライドします。

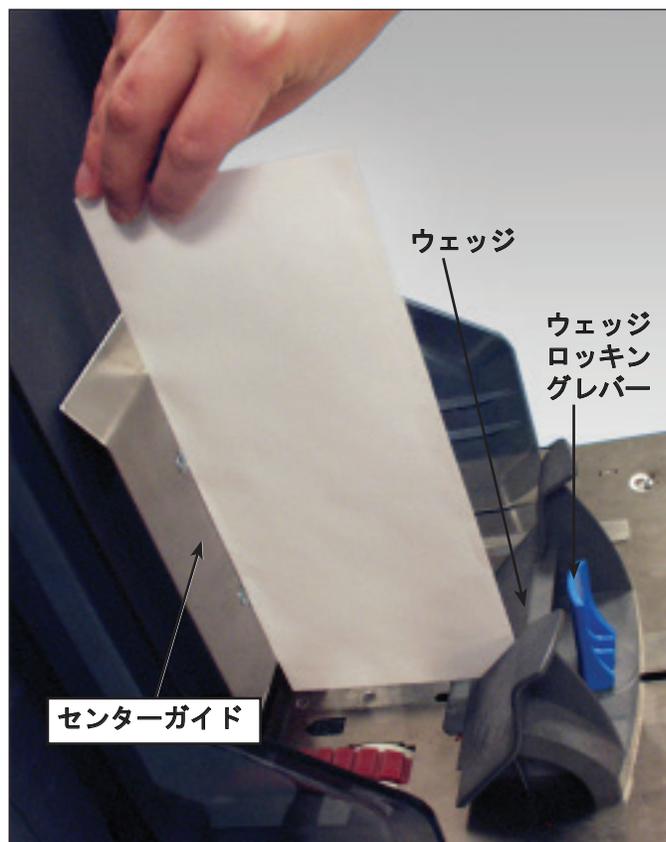


図 3.7.1 : ウェッジの位置の調整

**HCEF へ封筒を
セットする
(続き)**

4. ウェッジロックingleバーを押し下げて、ウェッジを所定の位置に固定し、封筒を取り除きます。

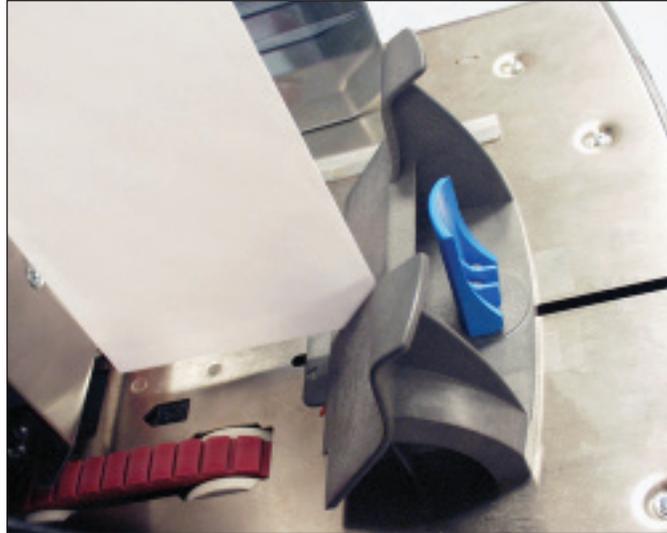


図 3.7.2 : 中央スロット内の封筒の角

3・基本的な操作

HCEF へ封筒を セットする (続き)

HCEF セパレーターギャップの調整

注：セパレーターギャップを調整する前に、HCEF ウェッジを調整する必要があります。詳細は、この章の「HCEF ウェッジの調整」を参照してください。

1. セパレーターギャップを調整する封筒を準備します。
 - a. 封筒の内部に収まるように 80 gsm (20 ポンド) の紙片をカットします。
 - b. 紙片を封筒に入れます。
2. セパレーターギャップレバーを押し上げて、セパレーターを持ち上げます。

注：表面の硬い場所で封筒を軽くトントンとたたき、紙片が封筒の底に届くようにします。



図 3.8.1 : セパレーターギャップレバーを押し上げる



図 3.8.2 : 上げられたセパレーター

**HCEF へ封筒を
セットする
(続き)**

3. 封筒の上端（フラップの折り目）がウェッジのタブの端と並ぶよう、封筒の下端を最初にセパレーターに入れます。

注：タブの端は2つの矢印で示されます。

4. セパレーターを完全に下げ、セパレーターギャップレバーを押し下げて、セパレーターを所定の位置に固定します。
5. HCEF から封筒を引き出します。

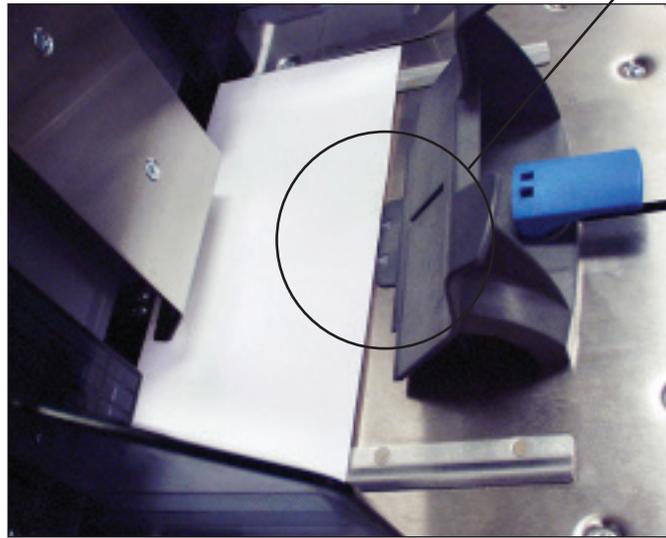
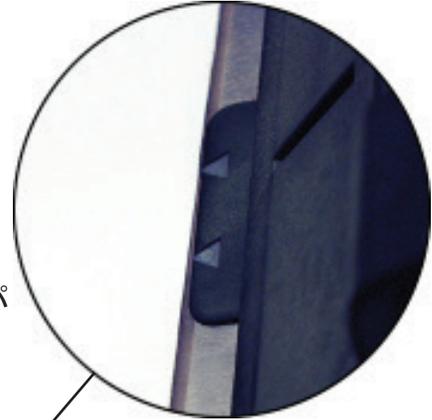


図 3.8.3 : ウェッジのタブと並んだ封筒

6. 20~50 mm (0.7~2 インチ) の封筒スタックを重ね置きします。フラップ面を下にして、封筒を HCEF に入れ、フラップ反対側エッジからフィードします。
7. すべての封筒のスタック（最大 500 枚）をセットし、封筒がサイドガイドの裏側に触れていることを確認します。残りの封筒を重ね置きする必要はありません。

注：

- HCSF または接続されたプリンターがある場合、シートを正しくフィードできるように、状況によりガイドを調整する必要があります。詳細は、本書の第 7 章「HCSF ガイドの調整」または「プリンターインターフェイスガイドの調整」を参照してください。
- スキャンを使用している場合、バーコードまたは OMR マークを読み取るためにスキャンヘッドの調整が必要になることがあります。詳細は、本書の第 8 章「スキャンヘッドの調整」を参照してください。

3・基本的な操作

実行前の調整

選択されたジョブのアイテムをセットしたら、ジョブを正確に実行するために封筒オープナーの調整が必要になる場合があります。

封筒オープナーの調整

封入エリアの封筒オープナーは、封筒を開いて中身が入るようにします。前のジョブと異なるサイズの封筒を使用する場合は、新しいジョブを実行する前に封筒が封筒オープナーの適切な位置に置かれていることを確認してください。位置が間違っている場合は、封筒オープナーの位置を調整してください。このセクションの下記の手順に従って、封筒位置の確認と調整を行います。

テスト封筒のフィード

1. 外封筒を封筒フィーダーにセットします。
2. ホーム画面の [Loading Instructions (用紙の積載手順)] を選択し、次に [Pre-Run Adjustments (実行前の調整)] を選択し、最後に [Envelope Opener Settings (封筒オープナーの設定)] を選択します。

注：1種類の外封筒のみを使用している場合、システムは自動的にフィーダーを選択します。複数の外封筒を使用する場合は、封筒フィーダーの選択が必要です。

3. [Trial Piece (トライアル)] を押して、1枚の封筒を封入エリアにフィードします。
4. 封入エリアのカバーを開けて、封筒を確認します。調整が必要な場合は、次に説明する手順に従って幅や長さを設定します。



図 3.9.1 : 封入エリアカバー

封筒オープナー
の調整（続き）

幅の調整（外封筒オープナー）

1. 外封筒オープナーの上にある蝶ネジをゆるめます。

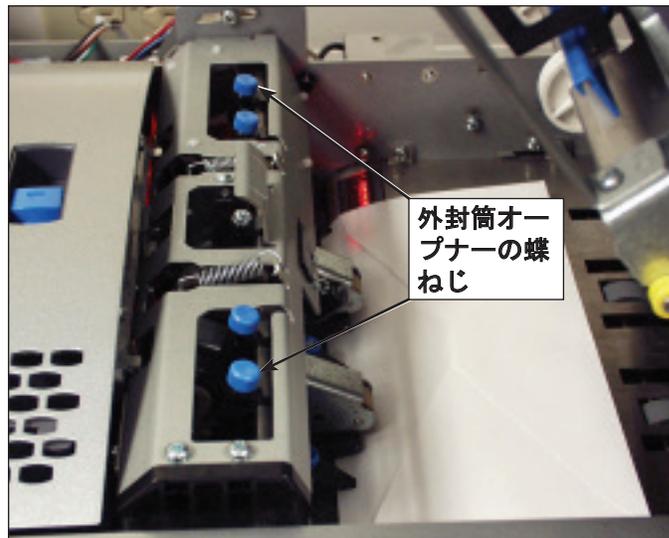


図 3.9.2 : 外封筒オープナーの位置

2. 必要に応じて封筒オープナーをスライドし、封筒オープナーのポインター部分を封筒の外端に合わせます。
 - 蝶ネジを押し下げ、外封筒オープナーが封筒の位置に合うようにします。
 - サイズの小さい封筒（幅が 194 mm（7.5 インチ）未満）を使用する場合は、外封筒オープナーを外して、封筒の外端から離します。
 - 窓付きの封筒を使用する場合は、外封筒オープナーが封筒窓の端に触れないようにします。



図 3.9.3 : 外封筒オープナーを合わせる

3. 外封筒オープナーの上にある蝶ネジを締めます。

3・基本的な操作

封筒オープナーの調整（続き）

長さの調整（内封筒オープナー）

1. 窓付きの封筒を使用する場合は、内封筒オープナーを固定している蝶ネジを緩めます。

注：内封筒オープナーは3つあり、通常は長さの調整のみ必要です。ただし、必要な場合は（中央オープナーを除く）封筒オープナーを外側に移動することもできます。

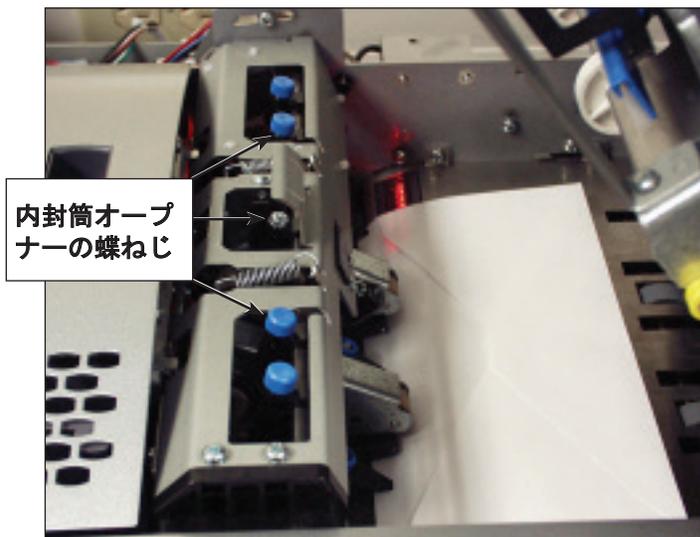


図 3.9.4 : 内封筒オープナーの位置

- a. 内封筒オープナーが封筒窓の端に触れないように位置を調整します。縦型の窓が付いた封筒などの特別な場合は、封筒オープナーが封筒窓の端に引っかからないように封筒オープナーを封筒窓の上に置きます。
 - b. 調整した封筒オープナーの蝶ねじを締めます。
2. フレームの上にあるノブを下に押し引張り、内封筒オープナーの封入端と封筒との間隔を調整します。
 3. 必要に応じて、内封筒オープナーの封入端のノブをゆるめ、先端が封筒の上部に5 mm 以上入るようにします。

封筒オープナーの調整（続き）

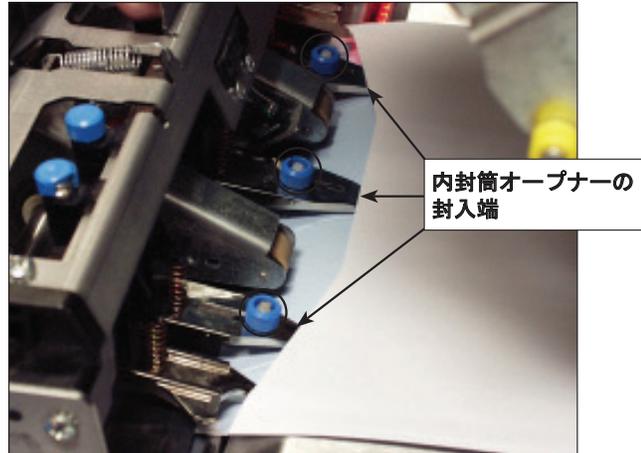


図 3.9.5 : 封筒に挿入された内封筒オープナー

4. 調整した封入端の固定つまみを締めます。
5. 他の2つの封入端についても、手順2~4を繰り返します。

設定の確認

封筒オープナーの必要な調整が完了したら、封入エリアカバーを閉じ、以下を実行して設定を確認します。

1. **[CLEAR DECK (デッキクリア)]** を押します。
2. **[Trial Piece (トライアル)]** を押します。
 - 封筒オープナーが正しい位置に設定されている（封筒を開けるために正しく位置調整されている）場合は、**[OK]** を選択します。
 - さらに調整が必要な場合は、位置調整が適切に行われるまで上記の手順を繰り返します。

注： **[Trial Piece (トライアル)]** を押すたびに、トライアルが作成されます。

硬い媒体モード用の手差しレバーの調整（Relay 8000 のみ）

硬いインサートが入っている郵便物は、フラット出口から排出されます。硬い媒体機能には、フラット出口を開いておくため、センサー付き手差しレバーが必要です。このハードウェアは Relay 8000 インサーターに含まれています。

1つまたは複数のインサートを「硬い」に指定した場合、そのジョブには長さ 152 mm（6 インチ）～178 mm（7 インチ）の封筒が必要であり、手差しレバーを定形外封筒の位置にする必要があります。

- 封筒はフィーダータワーからフィードします。HCEF は使用できません。
- 郵便物の各マテリアルが封筒に入っていない場合、フラット出口から排出するには長さが足りない場合があるため、硬い媒体モードでは **[CLEAR DECK (デッキクリア)]** が機能しません。そのため、手動でインサーターをクリアする必要があります。

硬い媒体モード用の手差しレバーを調整するには、次の手順に従います。

1. シーラーのカバーを開きます。
2. レバーを硬い媒体モード用の位置に調整します。
3. シーラーのカバーを閉じます。

3・基本的な操作

トライアルの 実行

ジョブの設定が完了したら、トライアルをランして、システムが機能することを確認し、郵便物の完成品が正確であることを確認してください。トライアルをランするには、次の手順に従います。

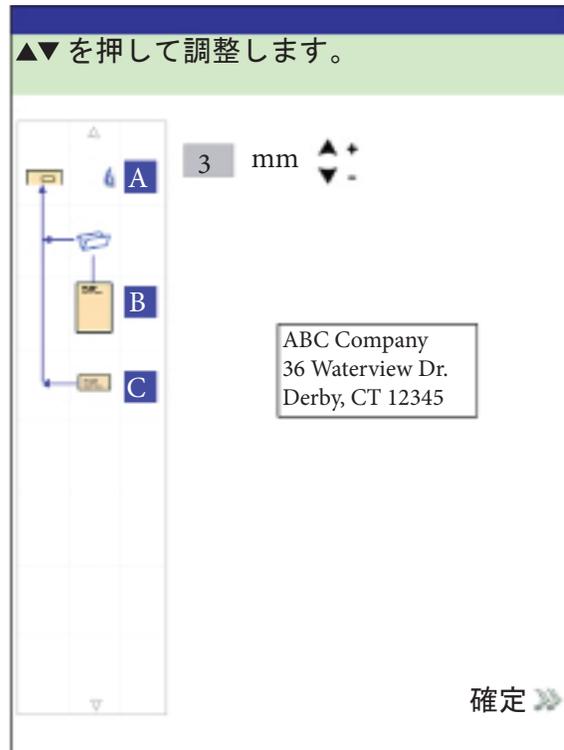
1. フィーダートレイをフィーダータワーに取り付けます。手順の詳細は、この章の前のセクションを参照してください。

注：ホーム画面の郵便物アイコンツリーを選択して、使用するトレイタイプ、トレイ内のマテリアルの方向、およびフィーダータワーのトレイの位置を表示します。

2. 郵便物の各マテリアルをフィーダートレイにセットします。
3. **【Trial Piece (トライアル)】** を押します。郵便物のすべての中身がジョブの条件に従って丁合されます。完成した郵便物は検査用に上部排除エリアにフィードされます。この郵便物はシーラーには送られません。**【Trial Piece Complete (トライアル完了)】** 画面が表示されます。
4. 郵便物を検査します。
 - a. 外封筒から中身を取り出します。
 - b. アイテムが指定の順番に丁合されていることを確認し、窓付き封筒を使用する場合は送り先アドレスが正しく表示されることを確認します。
 - c. アイテムが重複していないかチェックします。

トライアルの
実行（続き）

5. トライアルの結果に従って、[Trial Piece（トライアル）] 画面で次のオプションのうち1つを選択します。
 - a. トライアルの郵便物が検査に合格した場合は、[Trial Piece OK（トライアルは問題ありません）] を選択します。ホーム画面に戻るか、または[START（スタート）] を押してジョブを開始します。
 - b. （窓付き封筒を使用する場合に）アドレスを上下に移動する必要がある場合は、[Adjust Address（アドレスの調整）] を選択します。次の画面が表示されます。



[Adjust Address（アドレスの調整）] 画面

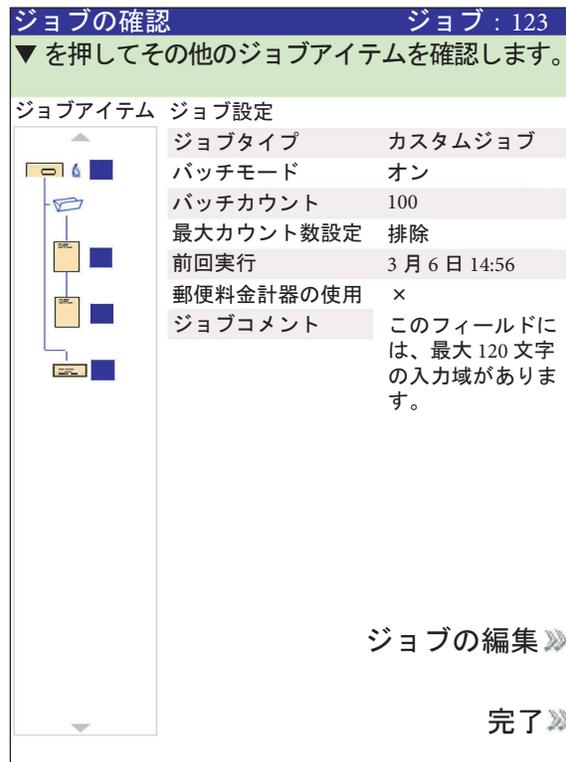
- 上下の矢印キーを使用してアドレスの位置を変え、[Finished（完了）] を選択します。ホーム画面に戻ります。
- c. 別の調整を行う場合は、[Edit Job（ジョブの編集）] を選択します。郵便物の構成要素の追加、削除、または移動、および郵便物内のドキュメントの条件を変更できるようになります。

注：

- 追加、削除、移動、および編集機能の詳細手順については、この章の後続のセクションで説明します。
 - 郵便物の順序、アドレスの位置、または郵便物内のドキュメントを変更した場合は、トライアルを再度実行して機器の動作および郵便物の内容を確認します。
 - 編集内容は、スーパーバイザーまたはマネージャーが保存しないと保存されません。
- d. ジョブ設定の確認が必要な場合は、[Review Job（ジョブの確認）] 画面を表示します（[HOME（ホーム）]、[Menu（メニュー）]、[Job（ジョブ）] の順に選択して、最後に[Review Job（ジョブの確認）] を選択します）。

3・基本的な操作

ジョブ設定の確認 ジョブの実行を開始する前にジョブ設定を確認できます。[Review Job (ジョブの確認)] 画面には、郵便物の各構成要素の条件設定と一般のジョブ設定の一覧が表示されます。この画面を使用すると、ジョブの選択内容を短時間で効率的に確認できます。



[Review Job (ジョブの確認)] 画面

[Review Job (ジョブの確認)] 画面にアクセスするには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の [Menu (メニュー)] を選択します。
2. [Menu (メニュー)] 画面から、[Job (ジョブ)]、[Review Current Job (現在のジョブを確認)] の順に選択します。
3. 矢印キーを使用して、ジョブの設定、各選択項目をスクロールで移動します。
 - [Edit Job (ジョブの編集)] を選択して、変更作業を行う画面を表示します。
 - [Finished (完了)] を選択すると、[Menu (メニュー)] 画面に戻ります。
 - [HOME (ホーム)] を押してホーム画面に戻ります。

注：郵便物のマテリアルがマテリアルの仕様に適合していることを確認します。仕様については、第 6 章を参照してください。

ジョブの開始

トライアル結果を確認したら、ジョブの実行を開始できます。以下の手順に従います。

1. ホーム画面が表示されていることを確認します。
2. **[START (スタート)]** を押します。ジョブの実行が開始します。

SwiftStart™ ジョブ

SwiftStart™ モードでは、設定情報を入力せずに簡単なジョブを実行できます。SwiftStart™ モードの場合、システムはマテリアルを自動的に検知して、ジョブの実行に必要な条件を設定します。SwiftStart™ ジョブは設定を保存せずに実行できますが、後で再使用できるようにスーパーバイザーまたはマネージャーがジョブに名前を付けて保存することもできます。

SwiftStart™ は、郵便物を構成するシートがすべて同じサイズで数量が少なく、紙折りできる場合に使用します。

- 1枚のシートおよび1枚のインサートがセットされた各フィーダーから取り出されます。郵便物の内容の最大数量は、シート4枚、インサート3枚 (Relay 50000/6000)、シート4枚、インサート4枚 (Relay 7000/8000) です。紙折りはシートの長さで決まります。

注：最大数量をセットできるのは、2つの HCSF (大容量シートフィーダー) がある場合にのみです。

- 最大シート長は 297 mm (11.69 インチ) です。
- 封筒の深さは、109 mm、111 mm、114 mm、121 mm、および 162 mm (4.25~6.38 インチ) のみを選択できます。
- 紙折りのみまたはインサートのみの実行には使用できません。
- このモードでは、リンクフィーダーは使用できません。
- 封かん機能は常にオンです (ただし、トライアルの場合を除く)。
- バッチカウントは常にオフです。
- このモードはスキャンでは使用できません。
- アドレスはシートの上端に印刷してください。

3・基本的な操作

SwiftStart™ の 使用

SwiftStart™ を使用するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で、**[SwiftStart]** を選択します。
2. フィーダートレイを取り付けてマテリアルをセットします。
 - a. 封筒をインサートトレイ (A) または HCEF (システムに設置されている場合は、トレイ G) にセットします。
 - b. 左下の奥にあるフィーダーから始めて、シートのセットとインサートを行います。
 - c. 残りのシートまたはインサートを最初のアイテムの右側に時計回りにセットします。
3. **[Trial Piece (トライアル)]** を押します。インサートトレイまたは HCEF (設置されている場合) から 1 枚の封筒をフィードし、長さを測ります。次に、シートトレイから 1 枚のシートをフィードし、長さを測ります。これらの計測値を使って内部計算が行われ、その結果に基づいてコントロールドキュメントの折りタイプが決定されます。
各シートおよびインサートについても計測と紙折りタイプの決定処理を繰り返し、ジョブを表す郵便物アイコンツリーを作成します。
マテリアルがセットされたトレイおよびフィーダーからすべてのアイテムがフィードされると、サンプルの郵便物が作成されます。
4. トライアル結果をチェックして、必要な調整を行います。郵便物が仕様に合ったものになるまで、トライアルの実行を繰り返します。
5. **[START (スタート)]** を押して、ジョブを実行します。
6. ジョブを保存する場合は、**[Save Job (ジョブの保存)]** 画面で名前を入力するためのスーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。

ジョブの作成

新規ジョブを作成する場合は、新しい郵便物の内容を定義します。また、今後の使用のためにジョブを保存することも可能です。このプロセスでは、郵便物の各アイテムの確認およびジョブ設定の選択を行います。アイテムを追加すると、郵便物アイコンツリーが画面上に自動的に作成されます。

[Create New Job (新規ジョブの作成)] 画面にアクセスするには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で、**[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Create New Job (新規ジョブの作成)]** の順に選択します。**[Create Job (ジョブの作成)]** 画面が表示されます。
2. 英数字マトリックスを使用して、ジョブ名を入力します。
 - a. 上下および左右の矢印キーを使用して、文字を選択します。
 - b. **[OK]** を押して、ジョブ名に文字を追加します。
 - c. 矢印を選択して **[OK]** を押し、ジョブ名にカーソルを移動します。
 - d. 終了したら、**[Accept Name (ジョブ名の確定)]** を選択します。
3. スキャン機能がある場合は、**[Create - Job Type (作成 - ジョブタイプ)]** 画面が表示されます。

ジョブの作成
(続き)

- 新しいジョブにスキャン機能が必要ない場合は、**【Normal Type (標準)】**を選択します。
 - スキャンが必要なジョブの場合は、**【Scanning Job (スキャンジョブ)】**を選択します。
4. **【Create Outer Envelope (外封筒の作成)】**画面が表示されます。
- 外封筒を使用しないジョブの場合は、**【No (いいえ)】**を選択します。
 - 外封筒を使用するジョブの場合は、**【Yes (はい)】**を選択します。
 - ジョブに適切な外封筒オプションを選択します。関連する各メニューオプションの詳細は、この章の「封筒オプション」の一覧表を参照してください。
 - 終了したら、**【Accept (確定)】**を押します。
 - ジョブがスキャンジョブの場合は、**【Create - Only One Envelope (作成 - 単一封筒)】**画面が表示されます。1枚の封筒のみ使用するジョブの場合は、**【Yes (はい)】**を選択して手順5に進みます。
- 複数の封筒を使用するジョブの場合は、**【No, Two Outer Envelopes (いいえ (2つの外封筒を使用))】**を選択します。使用可能なオプションを有効化し、終了したら**【Accept (確定)】**を押します。

注: スキャンジョブでダイナミック封筒選択を行う場合は、**【No, Two Outer Envelopes (いいえ (2つの外封筒を使用))】**を選択する必要があります。

5. **【Create - Select Next Item (作成 - 次のアイテムの選択)】**画面が表示されます。該当するオプションを選択します。

メニューオプション	関連するオプション/アクション
返信カード 返信用封筒 折り済みインサート 小さいブックレット スリップ 一般インサート 大きいブックレット 硬い*	<p>a. スキャンジョブの場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、手順bに進みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【Scan Type (スキャンタイプ)】画面が表示されます。該当するスキャンタイプ (OMR コード、Code 3 of 9、または Interleaved 2 of 5) を選択します。 • 【Scan Configuration (スキャン設定)】画面が表示されず。該当するスキャン設定を選択します。 • 【Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)】画面が表示されます。スキャンマークに沿ってコンテンツがある場合は【Yes (はい)】を選択します。スキャンマークに沿ってコンテンツがない場合は【No (いいえ)】を選択します。 <p>b. インサートに適切なオプションを選択します。終了したら【Accept (確定)】を押します。</p> <p>関連する各メニューオプションの詳細は、この章の「インサートオプション」の一覧表を参照してください。</p>

*この選択項目には Relay 8000 が必要です。

3・基本的な操作

ジョブの作成 (続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
シート	<p>a. 該当する次の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • これがジョブに追加する最初のシートであり、接続されたプリンターが存在していない場合、適切な固有情報オプションを選択します。 [Create - Verify Sheet (作成 - シートの確認)] 画面が表示されます。 • これがジョブに追加する 2 番目のシートの場合、 [Same Set (Fold with previous sheet) (同一セット (前のシートと共に折りたたむ))] または [New Set (Fold separately) (新規セット (別に折りたたむ))] を選択します。このシートが新規セットの一部である場合、適切な固有情報オプションを選択します。 • これがジョブに追加する最初のシートであり、接続されたプリンターが存在している場合、適切なプリンターオプションを選択します。 [Sheet - Personalized Create (シート - 固有情報の作成)] 画面が表示されます。該当する固有情報オプションを選択します。 [Create - Verify Sheet (作成 - シートの確認)] 画面が表示されます。 <p>b. スキャンジョブの場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、手順 c に進みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Scan Type (スキャンタイプ)] 画面が表示されます。該当するスキャンタイプ (OMR コード、Code 3 of 9、または Interleaved 2 of 5) を選択します。 • [Scan Configuration (スキャン設定)] 画面が表示されます。該当するスキャン設定を選択します。 • [Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] 画面が表示されます。スキャンマークに沿ってコンテンツがある場合は [Yes (はい)] を選択します。スキャンマークに沿ってコンテンツがない場合は [No (いいえ)] を選択します。 • [Yes (はい)] を選択すると、 [Mark Locations Settings (マーク位置設定)] 画面が表示されます。マークに関連するさまざまな寸法を入力するには、以下の手順に従います。 <ul style="list-style-type: none"> - オプションを選択し、上下の矢印キーを使用して該当の計測値をミリメートルで入力します。 - 計測値の入力が終了したら、 [Accept (確定)] を押します。 - すべての計測値を入力したら、 [Accept (確定)] を選択します。 <p>c. ジョブに適切なシートオプションを選択します。 [Accept (確定)] を押します。 注：スキャンジョブの場合は、 [Select Feed (フィード選択)] 設定を指定します。 関連する各メニューオプションの詳細は、この章の「シートオプション」の一覧表を参照してください。</p> <p>d. ジョブに適切な紙折りオプションを選択します。 [Accept (確定)] を押します。 関連する各メニューオプションの詳細は、この章の「紙折りオプション」の一覧表を参照してください。</p>

6. シートまたはインサートの追加が完了すると、 [Add New Item (新規アイテムの追加)] 画面が表示されます。
- [Yes (はい)] を選択して、追加アイテムをジョブに追加します。必要に応じて手順 4 を繰り返します。
 - アイテムがすでにジョブに追加されている場合は、 [No (いいえ)] を選択します。
7. [Create - Edit Job Settings (作成 - ジョブの設定の編集)] 画面が表示されます。次のオプションから該当するものを選択します。

ジョブの作成
(続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
ジョブコメント	英数字マトリックスを使用して、ジョブに関連する詳細情報を入力します。スーパーバイザーまたはマネージャーがジョブを保存する場合、ジョブコメントフィールドにジョブの説明を入力しておく、オペレーターはジョブを簡単に識別または選択できるようになります。 注：ジョブコメントには最大 120 文字までを入力できます。
バッチモード	以下を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Off (オフ)] にすると、ジョブに対するバッチ機能は無効になります。 • [On (オン)] にすると、この機能が有効になります。 注：バッチモードは、スキャンジョブでは使用できません。
バッチカウント	数字表を使用して、バッチカウント値を入力します。 注：バッチカウントには最大 4 桁までの数字を入力できます。最小値は 5 で最大値は 9999 です。
オーバーカウントの設定	超過セット数を越えたセットに対して実行する処理です。選択オプションには、[Divert (ダイバート)] および [Stop (停止)] があります。
郵便料金計器の使用	メールマシンインターフェイス (MMI) を使用する場合は、このオプションを選択します。このインターフェイスを使用すると、USB 接続を経由して、インサートシステムと Connect+ メーリングシステムの間で通信できます。 システムは開始および停止信号をメーリングシステムに送信し、メーリングシステムはエラーメッセージをインサーターに送り返してフィードを停止します。 以下を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Off (オフ)] にすると、ジョブに対するバッチ機能は無効になります。 • [On (オン)] にすると、この機能が有効になります。 注：MMI は別売りの排出オプションです。このインターフェイスでは、レターサイズ封筒のみ使用できます。 MMI の詳細は、第 7 章「Connect+ MMI」を参照してください。
詳細設定	ジョブの詳細設定にアクセスできます。 重要：指示があるまでジョブの詳細設定は変更しないでください。設定の変更は機器の移動に影響する場合があります。
通数カウントのマーク	フラットシーラーを装備し、封筒端マーカを使用して n 枚目ごとに封筒にマークを付ける場合は、このオプションを選択します。数値は、数字表を使用して入力します。 注：フラットシーラーは別売りの排出オプションです。封筒端マーカは、レターサイズ封筒にのみ使用できます。フラットシーラーの詳細は、第 7 章を参照してください。

8. 終了したら [Accept (適用)] を選択します。
9. [Create - Saved Created Job (作成 - 作成済みジョブの保存)] 画面が表示されます。
 - [Yes, Save (はい、今すぐ保存)] を選択して、ジョブを保存します (オプション)。ジョブを保存するには、スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。
 - スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権がない場合は、[No, Save Later (いいえ、後で保存)] を選択します。

3・基本的な操作

ジョブの オプション

このセクションでは、ジョブの作成または編集時に追加または変更できる各種オプションについて説明します。

封筒オプション

メニュー項目	関連するオプション/アクション
名前	英数字マトリックスを使用して、封筒名を入力します。
サイズ ：郵便物の完成品を入れる外封筒の大きさを指します。	<p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [Letter (定形)] は一般に深さが小さく、折られたシートを入れます。 ・ [Flat (定形外)] は標準封筒よりサイズが大きく、通常は紙折りされていないシートを入れます。ジョブに大きいブックレットが含まれる場合は、この封筒サイズを選択する必要があります。 <p>封筒の仕様については、第 6 章の「封筒」を参照してください。</p>
封筒窓 ：窓付き封筒または窓なし封筒を使用できます。	<p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓付き封筒を使用する場合は、[Yes (はい)] を指定します。 ・ 窓なし封筒を使用する場合は、[No (いいえ)] を指定します。
タイプ ：窓付き封筒のタイプを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の封筒の場合は、[Standard Flap (スタンダード)] を指定します。 ・ 封筒窓とフラップが同じ側にある場合は、[Forward Flap (フォワード)] を指定します。 ・ フラップが封筒の下にある場合は、[Bottom Flap (ボトム)] を指定します。
封かん ：モイストナーで封筒を閉じます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 封筒を閉じない場合は、[Off (オフ)] を指定します。 ・ 封筒を閉じて封かんする場合は、[On (オン)] を指定します。 ・ 封筒を閉じて封かんする場合は、[Safe Seal (安全な封かん)] を指定します。ただし、しっかりと封かんするために、封筒がシステムを通過する速度が遅くなります。このオプションは、システムにフラットシーラーを装備している場合に、フラット封筒でのみ使用できます。 <p>注：封入システムでメーリングマシンを使用する場合は、システムで封かん設定を行う必要があります。</p>
深さ ：封筒フラップの端から反対側の端までの距離で表す封筒の寸法です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動計測：封筒をフィードするときに深さを自動的に計測します。 ・ カスタム長：封筒の深さを入力します。 ・ 定形封筒オプション：105mm、165mm、162mm、114mm。定形外封筒オプション：317mm、229mm。

封筒オプション
(続き)

メニュー項目	関連するオプション/アクション
その他の設定	<p>二重検知：誤って複数枚の封筒がフィードされた場合、システムがそれを検知します。</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Double Detect Feature (二重検知機能)] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Off (オフ)] にすると、この項目に対してこの機能が働かなくなります。 - [On (オン)] にすると、この機能が有効になります。 • [Location (場所)] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Default (デフォルト)] - [Custom (カスタム)] • [Custom Location for Top Edge (先端からのカスタム距離)] を選択すると、二重検知の対象となる場所に特定の計測値 (フィーダーに最初にフィードする端からの距離) を入力できます。このオプションは、[Location (場所)] を [Custom (カスタム)] に設定した場合に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - 上下矢印キーを使って、値を調整します (mm 単位)。 - 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 <p>注：二重検知の領域には、封筒の前端または後端から 25 mm (1 インチ) 以内を設定することはできません。</p> <p>封筒を HCEF からフィードしている場合は、封筒の下端からの計測値を入力します。</p> <p>封筒をフィーダータワーからフィードしている場合は、封筒の上端からの計測値を入力してください。カスタム設定の位置は、封筒窓 (ある場合) の端およびフラップの端から少なくとも 5mm (2 インチ) 離れた位置で、シームの部分と重ならないように設定してください。</p> <p>最高の結果を得るには、封筒窓、フラップ、シームと重なる領域を指定しないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Action On Double (二重検知時のアクション)] では、二重を検知したときにその項目をどこに送るかを選択できます。
	<p>フィーダータイプ：特殊なマテリアルの場合、フィーダー設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Normal (標準)] はほとんどの項目に使用されます。 • [SP] は特殊なマテリアルを適切に処理できます。 <p>注：特殊フィーダーは別売りのオプションです。可能であれば、特殊フィーダーをフィーダータワーの左上または右上に設置します。1 つまたは複数のフィーダータワーに特殊フィーダーを使用すると、すでに折られたアイテムや薄手のカバー付きブックレットがフィードしやすくなります。このようなアイテムをフィードするときに、折り目が開いたり、カバーが外れたりすることを防ぐことができます。フィーダータイプに特殊フィーダーを設定した場合、ジョブを実行するには [SP] レバーを押す必要があります。</p>
	<p>フィーダーリンク：複数フィーダーから同じ封筒をフィードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [None (なし)] を選択すると、フィーダートレイはリンクされません。 • [Two Feeders (2つのフィーダー)] を選択すると、2つのフィーダートレイがリンクされ、同じマテリアルがフィードされます。 <p>注：リンクするフィーダーはタワーの同じ側にある同じモジュールに設置してください。スキャンしたアイテムでは、丁合の区切りに、リンクしたフィーダーを必ずセットします。</p>

3・基本的な操作

封筒オプション (続き)

メニュー項目	関連するオプション/アクション
その他の設定 (続き)	<p>封筒選択フィード：封筒を使用するタイミングを指定します。 以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メイン • 代替 <p>注：このオプションは、スキャン機能が有効で、ジョブに2つの外封筒が定義されており、さらに次のいずれかが該当する場合のみ有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ジョブのコントロールドキュメントで [Item Over Count Action (アイテム数超過時のアクション)] が [Use Alternate Envelope (代替封筒の使用)] に設定されている。 • 封筒選択マークが、ジョブのコントロールドキュメントに関連付けられているスキャン設定ファイルに含まれている。

紙折りオプション

メニュー項目	関連するオプション/アクション
折りタイプ：タイプに応じて、封筒の窓あき部分からの見せ方、シートを開いたときの見せ方を設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> • C折り  • Z折り  • 1つ折り  • 2つ折り  • 折りなし 
自動折りの長さ：折りタイプをシステムが自動的に選択します。	<p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Yes (はい)] を選択すると、システムが折りの長さを計算します。 • [No (いいえ)] を選択すると、折りの長さを指定できます。
折り1の長さ 折り2の長さ	<p>折りの長さ：折りタイプとアドレスの組み合わせごとにディスプレイ画面に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上下の矢印キーを使用して、長さを選択します。 • 終了したら、[Accept (確定)] を押します。

シートオプション

メニュー項目	関連するオプション/アクション
名前	英数字マトリックスを使用して、ジョブ名を入力します。
コントロールドキュメント ：郵便物アイコンツリーの一番上のシートです。このフィールドは読み取り専用です。	読み取り専用フィールド <ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) • No (いいえ)
タイプ ：ジョブの印刷ソースを特定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 別々に印刷：シートが、取り付けられたプリンターで印刷されません。 • 取り付けプリンターで印刷：シートが、取り付けられたプリンターで印刷されます。 注 ：構成に接続されたプリンターが含まれている場合に限り、このメニューオプションを使用できます。プリンターが取り付けられていない場合は、[Printed Separately (別々に印刷)] がデフォルト設定となり、このオプションは読み取り専用フィールドとして表示されます。
パーソナライズ ：封筒窓に表示するアドレスが記載された一番上にあるシート、または特定の受領者向けにカスタマイズされた固有の情報が記載されたシートを表します。	<ul style="list-style-type: none"> • トップアドレス • センターアドレス • ボトムアドレス • パーソナライズなし • パーソナライズ：アドレス表示なし
数量 ：各郵便物に含めるシートの数量。	<ul style="list-style-type: none"> • 1、2、3、4、5、6 • Custom Quantity (カスタムの数量) <ul style="list-style-type: none"> - 上下の矢印キーを使用して数字を選択します。 - 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 注 ：スキャンジョブでは、数量は常に [変数 (n)] に設定されます。
ページ順 ：複数枚の異なったシートのフィード順を指定します。	順方向：ページ 1 が先頭ページになり、その後ページ 2、3、4 が続きます。 逆方向：最後のページ (例えば、ページ 4) が先頭ページになり、その後ページ 3、2、1 が続きます。 注 ：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは読み取り専用フィールドとして表示されます。フィード順は、カスタムフィーダーにより設定されます。
長さ ：フィード方向に応じたシートの寸法です。	<ul style="list-style-type: none"> • [Auto measure (自動計測)]：推奨される長さが自動的に計測されます。 注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは読み取り専用フィールドとして表示されます。 • [Custom Length (カスタム長)]：シートの長さを調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> - 上下の矢印キーを使用して数字を選択します。 - 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 注 ：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合は、[Custom Length (カスタム長)] オプションを使用して、シートの長さを入力する必要があります。シートの長さを入力しない場合、ジョブは有効になりません。 <ul style="list-style-type: none"> • その他のオプションには、[Letter (レターサイズ) - 279 mm]、[Legal (リーガルサイズ) - 356 mm]、および [A4 (A4サイズ) - 297 mm] があります。 注 ：取り付けたプリンターでシートを印刷する場合、[Legal (リーガル)] オプションは使用できません。リーガルサイズのドキュメントは、大容量シートフィーダーからフィードできません。このようなドキュメントは、大容量シートフィーダーが使用できる場合でもタワーフィーダーに割り当てられます。

3・基本的な操作

シートオプション (続き)

メニュー項目	関連するオプション/アクション
その他の設定	<p>二重検知：複数のシートが誤ってフィードされた場合に、システムがそれを検知します。</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Double Detect Feature (二重検知機能)] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Off (オフ)] にすると、この項目に対してこの機能が働かなくなります。 - [On (オン)] にすると、この機能が有効になります。 • [Location (場所)] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Default (デフォルト)] - [Custom (カスタム)] • [Custom Location for Top Edge (先端からのカスタム距離)] を選択すると、二重検知の対象となる場所に特定の計測値 (フィーダーに最初にフィードする端からの距離) を入力できます。 <p>注：このオプションは、[Location (場所)] を [Custom (カスタム)] に設定した場合に設定します。二重検知の領域には、シートの前端または後端から 25 mm (1 インチ) 以内を設定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 上下矢印キーを使って、値を調整します (mm 単位)。 - 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 • [Action On Double (二重検知時のアクション)] では、二重を検知したときにその項目をどこに送るかを選択できます。
	<p>フィーダータイプ：特殊なマテリアルの場合にフィーダー設定を変更するか、ジョブにカスタムフィーダーが必要であることを指定できます。</p> <p>注：ジョブに取り付けプリンターが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Normal (標準)] はほとんどの項目に使用されます。 • [Manual Feed (手動フィード)] は、アイテムをシステムに手で挿入する場合に使用します。詳細は、第 2 章「手動フィーダー」を参照してください。 • [Custom Feeder (カスタムフィーダー)] は、アイテムをシステムにカスタムフィーダーでフィードする場合に使用します。
	<p>フィーダーリンク：複数のフィーダーから同じマテリアルをフィードできます。</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーまたは取り付けプリンターが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [None (なし)] を選択すると、フィーダートレイはリンクされません。 • [Two Feeders (2つのフィーダー)] を選択すると、2つのフィーダートレイがリンクされ、同じマテリアルがフィードされます。 <p>注：スキャンしたシートは大容量シートフィーダーおよびフィーダータワーの両方で縦方向にリンクできます。</p>
	<p>スキャンアイテム：アイテムをスキャンするかどうかを指定します。以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Yes (はい)] を選択すると、スキャン機能が有効になります。 • [No (いいえ)] にすると、アイテムに対するスキャン機能は無効になります。

シートオプション
(続き)

メニュー項目	関連するオプション/アクション
<p>その他の設定 (続き)</p>	<p>スキャン設定</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、[Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)]、[Marks On (マークあり)]、[Marks on First Page Only (最初のページのみマークあり)]、および[Mark Locations Settings (マーク位置設定)]の各オプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Scan Configuration (スキャン設定)] では、スキャンマークを読み取るための保存済みスキャン設定を選択できます。 • [Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] は、フィード方向を制御するスキャンマークに沿ったコンテンツがあることを示します。 • [Marks On (マークあり)] は、マークがページの表または裏にあることを示します。 • [Marks on First Page Only (最初のページのみマークあり)] は、複数シートの最初のページにのみマークがあることを示します。 • [Mark Locations Settings (マーク位置設定)] では、マークに関連した各種の計測値を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Top of Page to First Mark (ページの前端から最初のマークまで)] は、ページの一番上から最初のマークまでの距離を表します。 - [Total Length of Marks (マーク全体の長さ)] は、最初のマークの一番上から最後のマークの一番下までの長さを表します。 - [Top of Page to Clear Zone (ページの前端からクリアゾーンまで)] は、ページの一番上からクリアゾーンの先頭までの距離を表します。 - [Length of Clear Zone (クリアゾーンの長さ)] は、スキャンマークの合計の長さにスキャンマーク前後のクリアゾーンを加えたものです。 <p>クリアゾーンおよびマーク位置設定の詳細は、第 8 章「OMR の仕様」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Item Over Count Quantity (超過アイテム数)] は、システムが代替アクションを開始するまで許容できる累積のシート数です。 • [Item Over Count Action (アイテム数超過時のアクション)] は、超過アイテム数を越えたアイテムに対して実行する処理を示します。選択肢は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - [Divert (ダイバート)] : スキャン設定にシート排除 (DVS) スキャンマークの指定がない場合、超過アイテム数を越えたときにアイテムを排除するには、このオプションを選択します。 - [Stop (停止)] : 超過アイテム数を越えたときにアイテムの処理を停止する場合は、このオプションを選択します。 - [Use Alternate Envelope (代替封筒の使用)] : スキャン設定に封筒選択 (ES) スキャンマークの指定がない場合、超過アイテム数を越えたアイテムに代替封筒を使用するには、このオプションを選択します。 <p>ダイナミック封筒選択およびシート排除機能の詳細は、第 8 章「スキャン機能」を参照してください。</p> <p>フィード選択 (SF) 設定：フィーダーを 9 つのフィード選択スキャンマークのいずれかに割り当てることができます。</p> <p>注：接続されたプリンターまたはカスタムフィーダーがアイテムに必要な場合 (大容量シートフィーダーが構成に組み込まれている場合)、このメニューオプションは使用できません。</p>

3・基本的な操作

インサートオプション

メニュー項目	関連するオプション/アクション
名前	英数字マトリックスを使用して、ジョブ名を入力します。
<p>インサートタイプ：折り不要または、すでに折られたすべてのアイテムを含みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 返信用封筒：郵便物のその他の内容物と一緒に封筒に封入する1枚の封筒です。 返信カード：1枚の厚いスリップです。 折り済みインサート：すでに折られているシートまたはシートセットです。 <i>Small Booklet</i>（小さいブックレット）：通常は端が綴じられていたり、ホチキスで留められているタイプのインサートです。 スリップ：折らずに外封筒に収まる一重の紙片です。 一般：SwiftStart[®] ジョブで使用される定義されていないタイプのインサートです。 <i>Large Booklet</i>（大きいブックレット）：通常は端が綴じられていたり、ホチキスで留められているタイプのインサートです。 <p>注：このアイテムをフィードするには、カスタムフィーダーが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬い媒体：曲がらないタイプのインサートです。 <p>注：このアイテムをフィードするには、Relay 8000が必要です。1枚（または複数枚）の硬い媒体のインサートを選択した場合、ジョブでは外封筒の長さが152~178 mm（6~7インチ）必要になります。また、このジョブを実行するには、硬い媒体用の手差しレバーを定形外封筒の位置にする必要があります。詳細は「実行前の調整」を参照してください。</p>
<p>パーソナライズ：特定の受領者に対してカスタマイズされた情報が含まれたインサートです。</p> <p>注：このオプションは、インサートに [Large Booklet（大きいブックレット）] を選択している場合は、使用できません。</p>	<p>[Yes（はい）] を選択すると、インサートに固有情報が含まれます。</p> <p>[No（いいえ）] を選択すると、インサートに固有情報が含まれません。</p>
<p>数量：各郵便物に含める特定のインサートの数量です。</p> <p>注：このオプションは、インサートに [Large Booklet（大きいブックレット）] を選択している場合は、使用できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1、2、3、4、5、6 <i>Custom Quantity</i>（カスタムの数量） <ul style="list-style-type: none"> 上下の矢印キーを使用して数字を選択します。 終了したら [Accept（適用）] を選択します。 変数：スキャン制御のジョブで使用します。 <p>注：この時点では、インサートを1つだけ各郵便物に追加できません。定形外封筒を使用する場合、インサートを返信用封筒にする必要があります。</p>
<p>ページ順：複数枚の異なったインサートのフィード順を指定します。</p> <p>注：このオプションは、インサートに [Large Booklet（大きいブックレット）] を選択している場合は、使用できません。</p>	<p>[Forward（順方向）]：ページ1が先頭ページになり、その後ページ2、3、4が続きます。</p> <p>[Reverse（逆方向）]：最後のページ（例えば、ページ4）が先頭ページになり、その後ページ3、2、1が続きます。</p>

インサートオプション (続き)

<p>長さ：フィード方向に応じたインサートの寸法です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • [Auto measure (自動計測)] : 推奨される長さが自動的に計測されます。 注：自動計測は、インサートに [Large Booklet (大きいブックレット)] を選択している場合、またはジョブにカスタムフィーダーが必要な場合は、使用できません。 • [Custom Length (カスタム長)] : インサートの長さを調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> - 上下の矢印キーを使用して数字を選択します。 - 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 注：ジョブに大きいブックレットが必要な場合は、[Custom Length (カスタム長)] オプションを使用して、シートの長さを<input type="text"/>する<u>必要があります</u>。ブックレットの長さを<input type="text"/>しないと、ジョブは有効になりません。 • [Custom Length (Large Booklet Only) (カスタム長 (大きいブックレットのみ))] : 大きいブックレットのサイズを選択できます。216 mm x 279 mm (8.5 インチ x 11 インチ)、または 140 mm x 216 mm (5.5 インチ x 8.5 インチ)。 注：ジョブに大きいブックレットが必要な場合は、[Custom Length (カスタム長)] オプションを使用して、シートの長さを<input type="text"/>する<u>必要があります</u>。ブックレットの長さを<input type="text"/>しないと、ジョブは有効になりません。
---------------------------------	--

3・基本的な操作

インサートオプション（続き）

メニュー項目	関連するオプション/アクション
その他の設定	<p>二重検知：誤って複数枚のインサートがフィードされた場合、システムがそれを検知します。</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Double Detect Feature（二重検知機能）] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Off（オフ）] にすると、この項目に対してこの機能が働かなくなります。 - [On（オン）] にすると、この機能が有効になります。 • [Location（場所）] では、以下の切り替えを行えます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Default（デフォルト）] - [Custom（カスタム）] • [Custom Location for Top Edge（先端からのカスタム距離）] を選択すると、二重検知の対象となる場所に特定の計測値（フィーダーに最初にフィードする端からの距離）を入力できます。 <p>注：このオプションは、[Location（場所）] を [Custom（カスタム）] に設定した場合に設定します。二重検知の領域には、インサートの前端または後端から 25mm（1 インチ）以内を設定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 上下矢印キーを使って、値を調整します（mm 単位）。 - 終了したら [Accept（適用）] を選択します。 • [Action On Double（二重検知時のアクション）] では、二重を検知したときにその項目をどこに送るかを選択できます。
	<p>フィーダータイプ：特殊なマテリアルの場合にフィーダー設定を変更するか、ジョブにカスタムフィーダーが必要であることを指定できます。</p> <p>注：ジョブに取り付けプリンターが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。インサートに [Large Booklet（大きいブックレット）] を選択している場合、カスタムフィーダーが自動的に選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Normal（標準）] はほとんどの項目に使用されます。 • [Manual Feed（手動フィード）] は、アイテムをシステムに手で挿入する場合に使用します。詳細は、第 2 章「手動フィーダー」を参照してください。 • [Custom Feeder（カスタムフィーダー）] は、アイテムをシステムにカスタムフィーダーでフィードする場合に使用します。
	<p>フィーダーリンク：複数のフィーダーから同じマテリアルをフィードできます。</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、このメニューオプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [None（なし）] を選択すると、フィーダートレイはリンクされません。 • [Two Feeders（2つのフィーダー）] を選択すると、2つのフィーダートレイがリンクされ、同じマテリアルがフィードされます。 <p>注：リンクするフィーダーはタワーの同じ側にある同じモジュールに設置してください。スキャンしたアイテムでは、丁合の区切りに、リンクしたフィーダーを必ずセットします。</p>
	<p>スキャンアイテム：アイテムをスキャンするかどうかを指定します。以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Yes（はい）] を選択すると、スキャン機能が有効になります。 • [No（いいえ）] にすると、アイテムに対するスキャン機能は無効になります。

インサートオプション (続き)

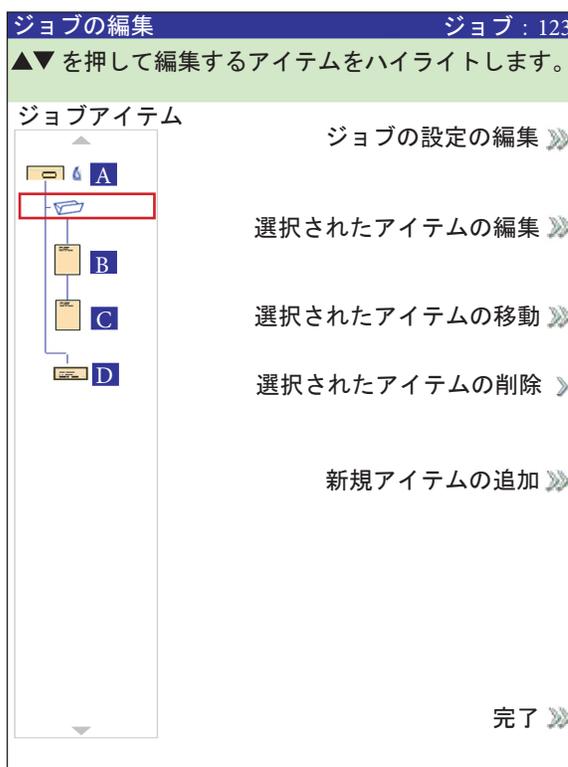
メニュー項目	関連するオプション/アクション
<p>その他の設定 (続き)</p>	<p>スキャン設定</p> <p>注：ジョブにカスタムフィーダーが必要な場合、[Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)]、[Marks On (マークあり)]、[Marks on First Page Only (最初のページのみマークあり)]、および [Mark Locations Settings (マーク位置設定)] の各オプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Scan Configuration (スキャン設定)] では、スキャンマークを読み取るための保存済みスキャン設定を選択できます。 • [Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] は、フィード方向を制御するスキャンマークに沿ったコンテンツがあることを示します。 • [Marks On (マークあり)] は、マークがページの表または裏にあることを示します。 • [Marks on First Page Only (最初のページのみマークあり)] は、複数シートの最初のページにのみマークがあることを示します。 • [Mark Locations Settings (マーク位置設定)] では、マークに関連した各種の計測値を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - [Top of Page to First Mark (ページの前端から最初のマークまで)] は、ページの一番上から最初のマークまでの距離を表します。 - [Total Length of Marks (マーク全体の長さ)] は、最初のマークの一番上から最後のマークの一番下までの長さを表します。 - [Top of Page to Clear Zone (ページの前端からクリアゾーンまで)] は、ページの一番上からクリアゾーンの先頭までの距離を表します。 - [Length of Clear Zone (クリアゾーンの長さ)] は、クリアゾーンが一番上から最初のマークまでの距離を表します。 <p>クリアゾーンおよびマーク位置設定の詳細は、第 8 章「OMR の仕様」を参照してください。</p> • [Item Over Count Quantity (超過アイテム数)] は、正常に処理できないインサートの数量です。 <p>注：この時点では、インサートを 1 つだけ各郵便物に追加できます。定形外封筒を使用する場合、インサートを返信用封筒にする必要があります。</p> • [Item Over Count Action (アイテム数超過時のアクション)] は、超過アイテム数を越えたアイテムに対して実行する処理を示します。選択肢は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - [Divert (ダイバート)]：スキャン設定にシート排除 (DVS) スキャンマークの指定がない場合、超過アイテム数を越えたときにアイテムを排除するには、このオプションを選択します。 - [Stop (停止)]：超過アイテム数を越えたときにアイテムの処理を停止する場合は、このオプションを選択します。 <p>シート排除機能の詳細は、第 8 章「スキャン機能」を参照してください。</p> <p>フィード選択 (SF) 設定：フィーダーを 9 つのフィード選択スキャンマークのいずれかに割り当てることができます。</p> <p>注：アイテムにカスタムフィーダーが必要で、大容量シートフィーダーが構成に組み込まれている場合、このオプションは使用できません。</p>

3・基本的な操作

ジョブの編集

ジョブの編集には、次の処理が含まれます。

- 選択されたアイテムの特性を変更する
- アイテムを郵便物に追加する
- アイテムを郵便物から削除する
- アイテムを郵便物丁合内の別の位置に移動する
- ジョブの設定を編集する



【Edit Job (ジョブの編集)】画面

注： [Edit Job (ジョブの編集)] 画面で使用可能なオプションは、選択されたアイテムおよびフィーダタワーで使用可能なトレイ数によって異なります。

ジョブの設定の変更

以下で説明する手順を使用して、ジョブの設定を変更できます。

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]** を順に選択します。
2. **[Edit Job Settings (ジョブ設定の編集)]** を選択します。
3. **[Job Comments (ジョブコメント)]** 画面が表示されます。ジョブコメントの追加、バッチモードのオン/オフの切り替え、バッチカウントの調整、オーバーカウント設定の調整、郵便料金計器の使用機能の有効化などを行うことができます。

注：これらのオプションの詳細は、この章の「ジョブ設定」の一覧表を参照してください。

4. これらのオプションを変更したら **[Accept (確定)]** を選択します。
5. ジョブの変更内容を保持するには、**[Edit Job (ジョブの編集)]** 画面で **[Finished (完了)]** を選択します。ジョブの変更を完全に保存するには、**[Job (ジョブ)]** 画面で **[Save Current Job (現在のジョブを保存)]** を選択します。ジョブを保存するには、スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。

アイテムの編集

下で説明する手順に従って、郵便物に対してアイテムを1つずつ編集できます。

郵便物のアイテムを編集するには：

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]** を順に選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面が表示されます。
2. 上下の矢印キーを使用して、アイテムを選択します。選択した項目がハイライトされます。
3. **[Edit Highlighted Item (選択されたアイテムの編集)]** を選択します。
4. 表示される次の画面は、郵便物アイコンツリーで選択したアイテム（外封筒、シート、インサート、紙折り、またはブックレット）によって異なります。各メニューで該当する画面オプションを押し、使用可能な条件を選択します。

注：郵便物アイコンツリー内の各アイテムに使用可能なメニューアイテムおよび関連オプションや操作については、この章の「ジョブオプション」セクションの一覧を参照してください。

5. これらのオプションを変更したら **[Accept (確定)]** を選択します。
6. ジョブの変更内容を保持するには、**[Edit Job (ジョブの編集)]** 画面で **[Finished (完了)]** を選択します。ジョブの変更を完全に保存するには、**[Job (ジョブ)]** 画面で **[Save Current Job (現在のジョブを保存)]** を選択します。ジョブを保存するには、スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。

3・基本的な操作

アイテムの追加

下で説明する手順に従って、アイテムを1つずつ郵便物に追加できます。
アイテムを郵便物に追加するには：

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]** を順に選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面が表示されます。
2. **[Add Item (アイテムの追加)]** を選択します。
3. 該当するオプションを選択します。**[Add Outer Envelope (外封筒の追加)]**、**[Add Sheet (シートの追加)]**、**[Add Insert (インサートの追加)]**、または **[Add Large Booklet (大きいブックレットの追加)]**。

注：HCEFを使用したジョブのみ、2枚の外封筒をフィードできます。

4. **[Add Outer Envelope (外封筒の追加)]**、**[Add Sheet (シートの追加)]**、**[Add Insert (インサートの追加)]**、または **[Add Large Booklet (大きいブックレットの追加)]** を選択した場合、**[Add Item Location (アイテムの場所の追加)]** 画面が表示されます。



【Add Item Location (アイテムの場所の追加)】画面

- a. 上下の矢印キーを使用して、新規アイテムを挿入する郵便物アイコンツリー（郵便物丁合）の位置を指定します。インサートマーカーによって選択された領域が強調表示されます。
- b. 処理が終了したら、**[Accept Highlighted Location (選択された場所の確定)]** を押します。

アイテムの追加
(続き)

- c. 選択したアイテムによっては、[Add Sheet (シートの追加)]、[Add Insert (インサートの追加)]、[Add Booklet (ブックレットの追加)] 画面が表示されます。画面オプションキーを使用して、新しいアイテムの条件を定義します。
 - d. 該当するアイテム特性を選択します。
 - e. 終了したら [Accept (確定)] を押します。
5. [Add Outer Envelope (外封筒の追加)] を選択すると、[Add Envelope (封筒の追加)] 画面が表示されます。
 - a. 画面オプションキーを使用して、新規封筒の条件を定義します。
 - b. 該当するアイテム特性を選択します。
 - c. 終了したら [Accept (確定)] を押します。
 6. さらにアイテムを追加する場合は、必要に応じて各新規アイテムに対して手順 1~5 を繰り返します。

注：変更を取り消す場合は、[Cancel (キャンセル)] を押します。キャンセルの確認メッセージが表示されます。[Don't Keep Changes (変更を保存しない)] を押して、新規エントリーを廃棄します。[Edit Job (ジョブの編集)] 画面に戻ります。

7. ジョブの変更内容を保持するには、[Edit Job (ジョブの編集)] 画面で [Accept (確定)] を選択します。
8. ジョブの変更を完全に保存するには、[Menu (メニュー)] 画面で [Save Job (ジョブの保存)] を選択します。(ジョブを保存するには、スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。)

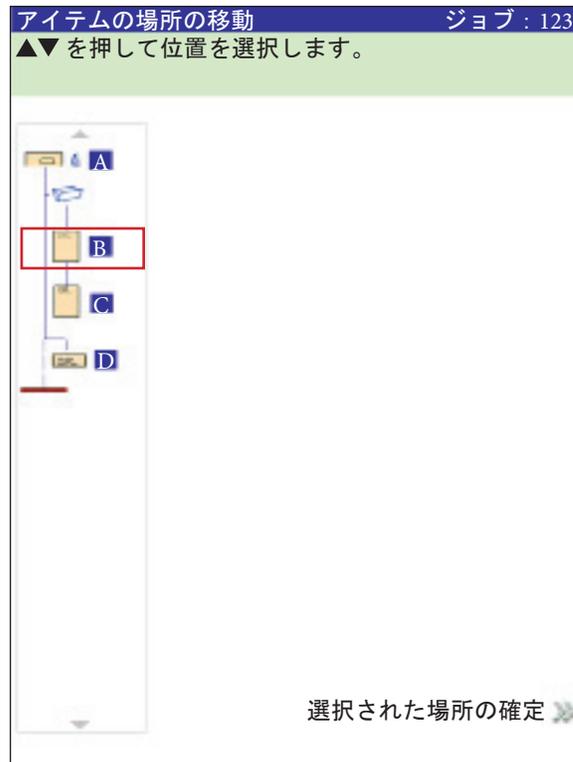
注：郵便物アイコンツリーを再確認してください。アイテムを移動すると、フィーダー割り当てが変わります。その場合は、指定の項目を正しいフィーダーに入れます。

3・基本的な操作

アイテムの移動

郵便物丁合順の中でアイテムを移動するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]** を順に選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面が表示されます。
2. 上下の矢印キーを使用して、アイテムを選択します。選択した項目がハイライトされます。
3. **[Move Highlighted Item (選択されたアイテムの移動)]** を選択します。
[Move Item Location (アイテムの場所の移動)] 画面が表示されます。



【Move Item Location (アイテムの場所の移動)】画面

4. 上下の矢印キーを使用して、赤色のインサートマーカーをアイテムを再配置する丁合内の場所に移動します。
5. **[Accept Highlighted Location (選択された場所の確定)]** を選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面に戻ります。

注：郵便物アイコンツリーを再確認してください。アイテムを移動すると、フィーダー割り当てが変わります。その場合は、指定の項目を正しいフィーダーに入れます。

アイテムの削除

郵便物丁合からアイテムを削除するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Jobs (ジョブ)]**、**[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]** を順に選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面が表示されます。
2. 上下の矢印キーを使用して、削除するアイテムを選択します。選択した項目がハイライトされます。
3. **[Delete Highlighted Item (選択されたアイテムの削除)]** を選択します。
4. **[Yes, Delete Item (はい (アイテムを削除する))]** を選択します。
[Edit Job (ジョブの編集)] 画面に戻ります。

注：郵便物アイコンツリーを再確認してください。アイテムを削除すると、フィーダー割り当てが変わります。その場合は、指定の項目を正しいフィーダーに入れます。

3・基本的な操作

このページは意図的に空白になっています。

4・高度な操作

概要	4-2
英数字マトリックスの使用	4-2
ジョブの保存	4-3
ジョブの削除	4-4
ユーザー ID とパスワードの割り当て	4-5
大容量シートフィーダー（HCSF）の有効化と無効化	4-5

4・高度な操作

概要

この章では、英数字マトリックスの使用およびシステムオペレーターレベルのアクセス権より上位レベルのシステム使用について説明します。この章では、次の機能について説明します。

- 英数字マトリックスの使用
- ジョブの保存
- ジョブの削除
- ユーザー ID とパスワードの割り当て（マネージャーレベルのみ）
- 大容量シートフィーダー（HCSF）の有効化と無効化

注：これらの機能を使用するには、スーパーバイザーやマネージャーによるアクセスコードまたはパスワードの入力が必要です。2つのセキュリティーモードを使用したログインの詳細は、第2章「アクセス権」を参照してください。

英数字マトリックスの使用

アイテム名やジョブ名の入力、ジョブコメントの入力、およびシステムへのログインやログアウトには、英数字マトリックスを使用します。



英数字マトリックス

1. 上下および左右の画面ナビゲーションキーを使用して、次のうちのいずれかを選択します。
 - 目的の文字
 - **[Job Name (ジョブ名)]** や **[Job Name (ジョブコメント)]** に空白スペースを追加する
 - 選択されている文字のすぐ左にある文字を Backspace キーで削除する
 - マトリックス内の左右の矢印キーでテキスト内を移動する
2. **[OK]** を押して選択した文字を画面の選択されている領域に表示するか、左右に移動するか、ハイライトされている文字のすぐ左にある文字を削除します。

ジョブの保存

ジョブを保存するには、スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権が必要です。

新規ジョブを保存するには、次の手順に従います。

1. [Create – Save Created Job (作成 – 作成済みジョブの保存)] 画面で **[Yes, Save (はい、今すぐ保存)]** を選択します。(詳細は、本書の第3章「ジョブの作成」を参照してください)。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

2. [Save Job (ジョブの保存)] 画面が表示されます。英数字マトリックスを使用して、ジョブの名前を入力します。ジョブ名には最大 15 文字までを入力できます。
3. 選択したら **[Finished (完了)]** を選択します。

既存のジョブに対する編集や更新を保存するには、次の手順に従います。

1. [Job (ジョブ)] 画面で **[Save Current Job (現在のジョブの保存)]** を選択します。(詳細は、本書の第3章「ジョブの編集」を参照してください)。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

2. [Save Job (ジョブの保存)] 画面が表示されます。**[Finished (完了)]** を選択して、現在のジョブに対する編集および更新を保存します。

現在のジョブを別のジョブ (新規ジョブまたは既存のジョブ) として保存するには、次の手順に従います。

1. [Job (ジョブ)] 画面で **[Save Current Job (現在のジョブの保存)]** を選択します。(詳細は、本書の第3章「ジョブの編集」を参照してください)。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

2. [Save Job (ジョブの保存)] 画面が表示されます。英数字マトリックスを使用して、ジョブ名を編集します。ジョブ名には最大 15 文字までを入力できます。
3. 選択したら **[Finished (完了)]** を選択します。

4・高度な操作

ジョブの削除

保存済みジョブリストに表示されるジョブのみ削除できます。

注：ライブラリジョブは、システムメモリに常駐します。削除機能はライブラリジョブに対しては、無効化されています。

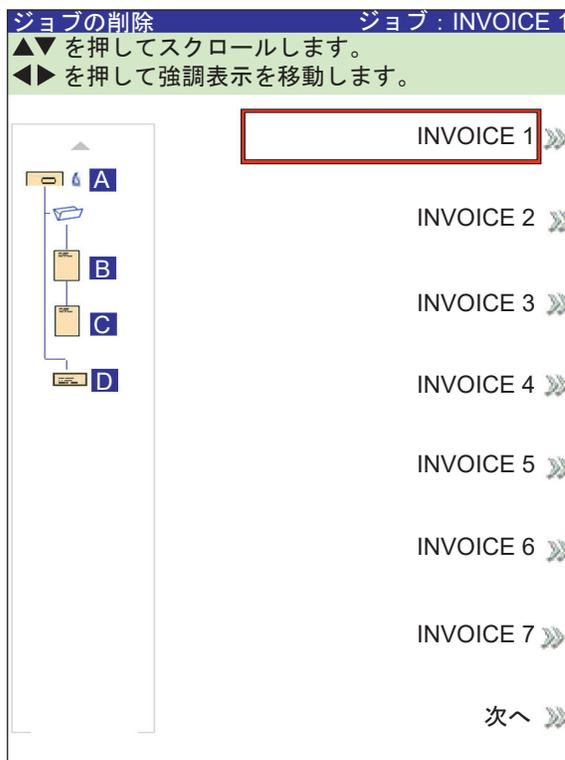
保存済みジョブリストからジョブを削除するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の [Menu (メニュー)] を選択します。
2. [Jobs (ジョブ)] を選択します。
3. [Delete Saved Job (保存済みジョブの削除)] を選択します。保存されたジョブのリストが表示されます。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

4. 削除するジョブの名前を選択します。
5. [Delete Job (ジョブの削除)] を選択して、削除コマンドを確認します。

注：[Delete (削除)] を選択すると、ジョブはシステムメモリから永久に削除されます。ただし、現在のジョブはシステムの「作業用」メモリにあるため、ホーム画面にジョブ名が表示されます。また、最近実行したジョブリストにジョブ名が表示される場合は、削除したジョブのコピーを実行することができます。



[Delete Job (ジョブの削除)] 画面

ユーザー ID と パスワードの 割り当て

ユーザー ID とパスワードを割り当てるには、マネージャーレベルのアクセス権が必要です。

1. ホーム画面から、**[Menu (メニュー)]**、**[Tools (ツール)]** の順に選択します。
2. **[Configure System (システムの設定)]**、**[Security Level (セキュリティレベル)]** の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. **[Security (セキュリティ)]** 画面が表示されます。
[User ID Setup (ユーザー ID の設定)] を選択します。
4. **[Add New User (新規ユーザーの追加)]** を選択します。
5. **[Enter User Name (ユーザー名の入力)]** 画面が表示されます。
 - a. 英数字マトリックスを使用して、ユーザー ID を入力します。
 - b. 選択したら **[Finished (完了)]** を選択します。
6. **[Select User Level (ユーザーレベルの選択)]** 画面が表示されます。
 - a. 上下の矢印キーを使用して、該当するアクセスレベル (オペレーター、スーパーバイザー、またはマネージャー) を選択します。

注：詳細は、本書の第 2 章「アクセス権」を参照してください。

- b. 終了したら、**[Accept User Level (ユーザーレベルの確定)]** を選択します。
7. **[Enter Password (パスワードの入力)]** 画面が表示されます。
 - a. パスワードを入力します。

注：パスワードは 4 桁の数字からなるコードです。1、2、3、4、および 5 の数字が最初の画面に表示されます。[Next (次へ)] を押すと、6、7、8、9、および 0 の数字が表示されます。

- b. 選択したら **[Finished (完了)]** を選択します。

大容量シート フィーダー (HCSF) の 有効化と無効化

以下の手順に従って、HCSF を有効または無効にします。

1. コントロールパネルで、上下のフィーダートレイ、またはそのいずれかを有効にします。
2. ホーム画面から、**[Menu (メニュー)]**、**[Tools (ツール)]**、**[Configure System (システムの設定)]**、**[Tools (ツール)]** の順に選択します。
3. 目的のフィーダーに対して、**[Enable (有効化)]** または **[Disable (無効化)]** を選択します。
4. **[Accept (確定)]** を選択してから、**[HOME (ホーム)]** を押しします。

4・高度な操作

このページは意図的に空白になっています。

5・トラブルシューティングとメンテナンス

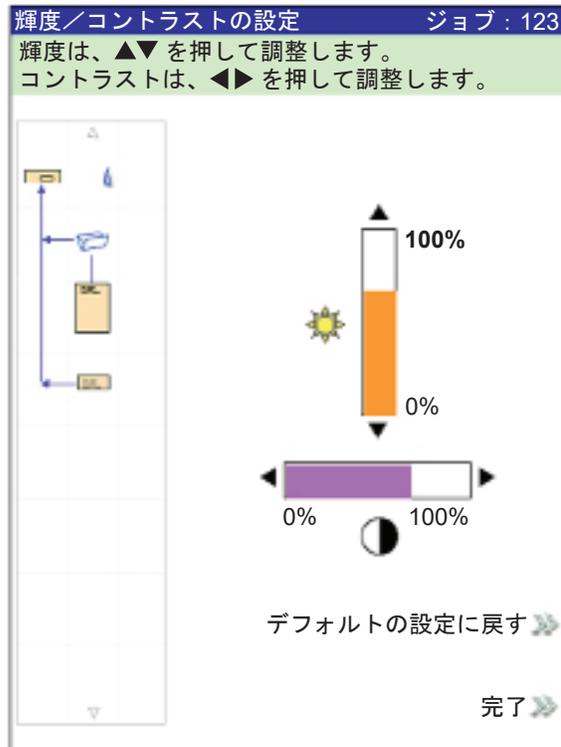
画面の輝度およびコントラストの調整	5-2
時刻や日付の設定	5-3
言語の変更	5-4
封かん液の補充	5-5
マテリアルが停止した場合の対処	5-5
障害物の除去	5-5
ジョブの再開	5-6
アウトソートしたマテリアルの処理	5-6
トラブルシューティング一覧表	5-7
定期的なメンテナンス	5-17
毎日の作業	5-17
モイストナーウィックの交換	5-17
モイストナーのブラシの交換	5-19

5・トラブルシューティングとメンテナンス

画面の輝度 およびコントラストの調整

以下の手順に従って、ディスプレイ画面のコントラストや輝度を調整します。

1. ホーム画面の [Menu (メニュー)] を選択します。
2. [Menu (メニュー)] 画面から [Tools (ツール)] を選択します。
3. [Tools (ツール)] 画面から [Configure System (システムの設定)] を選択します。
4. [Configure System (システムの設定)] 画面から [Set Brightness/Contrast (輝度/コントラストの設定)] を選択します。
5. [Set Brightness/Contrast (輝度/コントラストの設定)] 画面で以下の操作を行います。
 - 上下の矢印キーを押して、画面の輝度を増減します。
 - 左右の矢印キーを押して、画面のコントラストを増減します。
 - デフォルト設定に戻すには、[Restore Defaults (デフォルトの設定に戻す)] を選択します。
6. 終了したら、次のことを行います。
 - [Finished (完了)] を押して、システムの設定画面からホーム画面に戻ります。設定が保存されます。
または
 - [HOME (ホーム)] を押して、調整内容を保存し、直接ホーム画面に戻ります。



画面の輝度およびコントラストの設定

5・トラブルシューティングとメンテナンス

言語の変更

ディスプレイ画面で使用する言語を変更するには、以下の手順に従います。

1. ホーム画面の [Menu (メニュー)] を選択します。
2. [Menu (メニュー)] 画面から [Change Language (言語の変更)] を選択します。
3. [Change Language (言語の変更)] 画面に使用可能な言語のリストが表示されます。必要に応じて、[Next (次へ)] および [Previous (前へ)] を使用してリスト内の他の言語を表示し、適切な言語を選択します。
4. 選択したら [Finished (完了)] を選択します。
5. [HOME (ホーム)] を押すと、ホーム画面に直接戻ります。



[Change Language (言語の変更)] 画面

封かん液の補充

シーラーボトルに封かん液を補充してくださいという警告メッセージがディスプレイ画面に表示されたら、以下の操作を行います。

ボトルに液を補充するには、以下の手順に従います。

1. シーラーボトルのカバーを開け、システムのホルダーから容器を取り外して平らな面に置きます。
2. 感圧性のフタのネジをはずして、ボトルから取り外します。
3. 封かん液を、フィルラインに届くまでボトルに注ぎます。

注：シーラーに入れる液体には水道水を使用してもかまいませんが、おすすめはしません。水道水を使用すると細菌が繁殖して、シーラーの性能が低下する可能性があります。

4. 感圧性のフタのネジを締めて、しっかりとボトルに固定します。
 5. 封かん液がこぼれている場合は拭き取ります。
 6. ボトルをホルダーに戻し、シーラーのカバーを閉じます。
-

注：芯が乾燥した状況と同様、封かんシステムを最初に使用するときも、芯が濡れるまで少し待つ必要があります。

マテリアルが停止した場合の対処

封入物が停止した場合、システムは即座に運転を停止してエラーメッセージを表示します。ディスプレイ画面の指示に従って、システムを再起動してください。

停止の原因となったマテリアルの除去、再起動、アウトソート処理に関する手順については、次で説明します。

障害物の除去

障害物を除去する手順は、停止が発生した場所によって異なります。一般的に、障害物を除去する手順は以下のとおりです。

1. ディスプレイ画面のエラーメッセージ情報から、問題が発生している場所を探します。
2. 必要に応じて、障害物のある場所にアクセスするためのカバーを開きます。メッセージで示された部分のみをクリアします。デッキをクリアしてくださいというメッセージが表示されたら、[CLEAR DECK (デッキクリア)] を押します。

障害物の取り出し、障害物を取り除くためのカバーの取り外し、用紙解除つまみの使用などでお困りの場合は、第2章を参照してください。

3. ディスプレイ画面の指示に従って、障害物を除去します。
4. 障害物が除去されたら、開いているすべてのカバーを閉じます。エラーメッセージが消え、ホーム画面が表示されます。

5・トラブルシューティングとメンテナンス

ジョブの再開

障害物を除去した後にジョブを再開するには、以下の手順に従います。

1. 画面にエラーメッセージが表示されておらず、すべてのシステムカバーが閉じていることを確認します。
2. [START (スタート)] を押します。
 - 画面のエラーメッセージで、新しい丁合を開始するためにトレイ内のマテリアルを取り除くように指示された場合は、[START (スタート)] を押すと新しい丁合を開始します。それ以外の場合は、
 - 最後に作成した郵便物からジョブを再開します。

アウトソートしたマテリアルの処理

紙詰まりやその他の機械の停止から復旧する場合、システムはインサーターが完了できないマテリアルを搬送デッキから自動的に取り除きます。システムは正常に完了したすべての郵便物をカウントしますが（トライアルも含めて）、部分的に組み合わされた郵便物はカウントされず、上部排除エリアに搬送されます。ユーザーには2つの選択肢があります。システムは、次のいずれかの方法でアウトソートを制御します。

- アイテムを破棄する。
- 手作業で郵便物を作成する。

トラブルシューティング一覧表

問題が発生すると、システムでエラーメッセージが生成されます。このメッセージによりエラーを識別します。多くの場合は原因も識別できます。問題を解決するためのアドバイスも表示されます。これらのメッセージのほかに、以下の情報を使用して問題を解決してください。

- 問題および解決法を知るには、本書に記載されている表を参照してください。
- システムの機能および操作手順に関する情報を見るには、[HELP (ヘルプ)] を押して [Control Panel (コントロールパネル)] からアクセスできるヘルプを参照してください。

これらの自助支援ツールを使用しても問題が解決しない場合は、販売元にご連絡ください。

表 5-1 起動時のトラブル

問題	原因	アクション
システムの電源が入らない。	システムの電源コードがコンセントに接続されていません。	電源コードをコンセントに接続します。
	コンセントに電源が来ていません。	コンセントをチェックします。コンセントに電源が来ていることを確認します。
	電源回路、回路基盤の配線または電源スイッチが故障しています。	販売元にご連絡ください。

表 5-2 コントロールパネルのトラブル

問題	原因	アクション
<ul style="list-style-type: none"> • システムの電源はオンになっているのにパネルが表示されない (コントロールパネル右上隅の LED がオレンジまたは緑になっている)。 • ディスプレイで表示がロックされている。 • 画面オプションキーが機能しない。 • 本機の動作キーが機能しない。 	<p>回路基盤や電源回路が故障している、配線がゆるんでいる、または接続が誤っています。</p> <p>ディスプレイがタイムアウトになる。</p>	<p>電源ボタンを押してシステムを再起動します。それでも問題が解決されない場合は、販売元にご連絡ください。</p> <p>OK キーを押してディスプレイの電源を入れます。</p>
画面が明るすぎる、または暗すぎる (コントラストや可読性の問題)。	コントラスト／輝度の調整が誤っています。	コントラストや輝度の設定を調整します。本章の「画面の輝度およびコントラストの調整」を参照してください。

5・トラブルシューティングとメンテナンス

表 5-3 タワーフィーダーのトラブル

問題	原因	アクション
フィードできない。	マテリアルが仕様外。	<p>すべてのマテリアルが公開された仕様に準拠していることを確認します。詳細は、本書の第6章「フィーダータワーのマテリアル仕様」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸まっているマテリアルや反ったマテリアルを取り除きます。 正しく保管されたマテリアルのみを使用します。 <p>注：湿度が高いと、用紙がふやけてカールの原因になることがあります。また、リサイクルされたマテリアルを使用すると問題が発生する可能性もあります。</p>
	マテリアルが正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> セットする前に、かならずマテリアルをパラパラとめくってさばきます。 必ず画面に表示される積載手順に従って操作してください。 サイドガイドを確認します。 <p>注：ガイドをスタックにきっちり合わせると、マテリアルのフィードが狂ったり妨げられたりする場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> マテリアルが正しいフィーダーに正しい方向でセットされていることを確認します。
	トレイやローラー、タワーの搬送経路に紙片やゴミが付いています。	フィードローラーと搬送経路を調べます。紙片を取り除いてから、デッキリアを実行します。
2枚以上の封入物がフィードされる、または用紙が重なってフィードされる。	マテリアルが仕様外。	<p>すべてのマテリアルが公開された仕様に準拠していることを確認します。詳細は、本書の第6章「フィーダータワーのマテリアル仕様」を参照してください。</p> <p>注：光沢のあるマテリアルに汚れが付いていると、フィードローラーが詰まったり、ストリームフィードやダブルフィードの原因になることがあります。</p>
	マテリアルが正しくセットされていません。	<p>特に印刷されたばかりのマテリアルについては、セットする前によくさばいてください。</p> <p>注：湿度が低いと、セットされた用紙間で静電気が発生して密着することがあります。</p>
	フィードローラーが汚れているか、磨耗しています。またはローラーの速度が落ちています。	ローラーを掃除または交換します。販売元にご連絡ください。

表 5-3 タワーフィーダーのトラブル（続き）

問題	原因	アクション
システムが誤ってダブルフィードを検知する。	二重検知機能が、封筒のフラップやシームをダブルフィードとして検知しています。	<ul style="list-style-type: none"> • 封筒のフラップ、シーム、窓なし領域に二重検知のカスタム設定をします。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> • 二重検知機能をオフにします。 <p>詳細は、本書の第 3 章「インサートオプション」を参照してください。</p>
	シートまたはインサートに以下が印刷されています。 <ul style="list-style-type: none"> • 濃い黒のテキスト • 画像 • 濃い両面印刷 	濃い印刷が施されていない領域に二重検知のカスタムウィンドウを設定し、トライアルを再度実行します。 <p>詳細は、第 3 章「シートオプション」、「インサートオプション」、および「トライアルの実行」を参照してください。</p> 問題が解決されない場合は、二重検知をオフにします。
	トレイから異なる厚さのシートがフィードされています（80 gsm（20 ポンド）と 96 gsm（24 ポンド）のシートが混在しているなど）。	<ul style="list-style-type: none"> • マテリアルの重さが一貫している場合（例えば、プリンターが最初に 80 gsm（20 ポンド）の用紙をセットし、その後、間違えて 90 gsm（24 ポンド）の用紙をセットしてしまった場合）、トライアルを再実行します。 <p>詳細は、第 3 章「トライアルの実行」を参照してください。</p> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> • 二重検知機能をオフにします。 <p>詳細は、第 3 章「シートオプション」を参照してください。</p>
トライアル後の最初の 1 枚目が誤って二重検知される。	最初のトライアルでダブルフィードされた可能性があります。	トライアルを再度実行します。 <p>詳細は、第 3 章「トライアルの実行」を参照してください。</p>

5・トラブルシューティングとメンテナンス

表 5-4 タワー部のトラブル

問題	原因	アクション
タワー部で材料が停止する。	材料が仕様に適合していないためにゆがみが生じています。	すべての材料が公開された仕様に準拠していることを確認します。詳細は、本書の第 6 章「フィーダータワーの材料仕様」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 丸まっている材料や反った材料を取り除きます。 正しく保管された材料のみを使用します。 注： 湿度が高いと、用紙がふやけてカールの原因になることがあります。また、リサイクルされた材料を使用すると問題が発生する可能性もあります。
	セットされた材料を確認してください。タワーフィーダーによって材料のゆがみが生じています。	トレイのサイドガイドの調整を確認します。タワー部で発生する問題の一般的な原因は材料のゆがみです。手順については、本書の第 3 章「トレイのサイドガイドの調整」を参照してください。
	搬送中に用紙詰まりやその他の障害が発生していません。	検査します。クリーニングします。
	タワー部の弾性プラスチック材料ガイドが壊れているか、外れています。	タワーのカバーを開けて調べます。交換が必要な場合は、販売元にご連絡ください。

弾性プラスチック材料ガイド

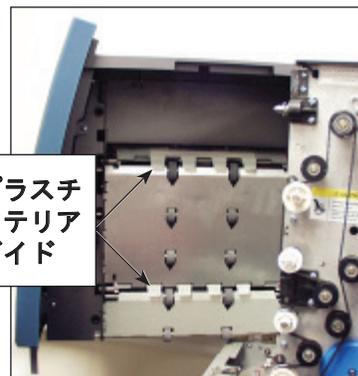
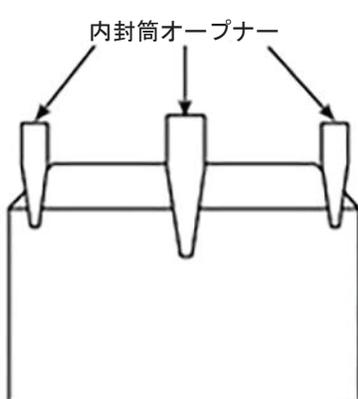
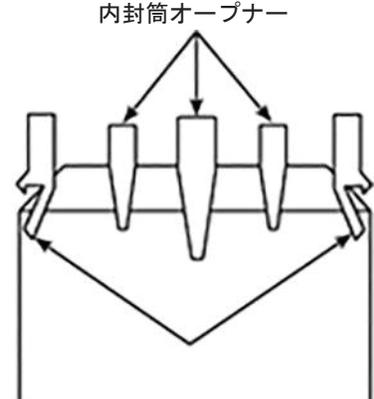


表 5-5 紙折り機またはインバーターのトラブル

問題	原因	アクション
紙折り機で用紙が停止する。	用紙が詰まっています。	<ul style="list-style-type: none"> 紙折り機を開けて障害があるかどうかを調べます。 紙片やゴミを取り除きます。
インバーターが停止する。	材料が仕様外。	材料の素材が仕様に適合していることを確認してください。 注： インバーターを使用するセットは、幅が 225 mm (9 インチ) 以下になるようにします。

表 5-6 封入エリアまたは封筒フラッパーエリアのトラブル

問題	原因	アクション																																							
封入エリアまたはフラッパーエリアが停止したり、インサートに失敗したりする。	封筒がゆがんでいます。	<p>サイドガイドを確認します。調整が誤っていると、ゆがみが発生することがあります。</p> <p>手順については、本書の第3章「トレイのサイドガイドの調整」を参照してください。</p>																																							
	封筒オープナーの調整が誤っています。	<p>セットアップの調整を行います。手順については、本書の第3章「封筒オープナーの調整」を参照してください。</p> <p>標準の封入フィンガーの構成は、5本です（内封筒オープナー3本、外封筒オープナー2本）。代替構成は3本です（内封筒オープナー3本）。</p> <p>代替構成を設定するには、フィンガーを封筒の外側にスライドします。封筒の幅が広すぎてフィンガーを封筒の外側まで完全にスライドできない場合は、外側のフィンガーの下部を取り外します。</p>																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>封筒サイズ</th> <th>フルサイズブックレット</th> <th>シート</th> <th>インサート/小さいブックレット</th> <th>推奨フィンガー設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">定形外</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定形、DL、6インチ x 9インチおよびC5</td> <td>該当なし</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>該当なし</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>5*</td> </tr> </tbody> </table>	封筒サイズ	フルサイズブックレット	シート	インサート/小さいブックレット	推奨フィンガー設定	定形外	×	○	○	3	○	○	×	3	○	○	○	3	○	×	×	3	○	×	○	3	×	○	×	5	定形、DL、6インチ x 9インチおよびC5	該当なし	○	×	5	該当なし	○	○	5*	
封筒サイズ	フルサイズブックレット	シート	インサート/小さいブックレット	推奨フィンガー設定																																					
定形外	×	○	○	3																																					
	○	○	×	3																																					
	○	○	○	3																																					
	○	×	×	3																																					
	○	×	○	3																																					
	×	○	×	5																																					
定形、DL、6インチ x 9インチおよびC5	該当なし	○	×	5																																					
	該当なし	○	○	5*																																					
*丁合いの厚さが4 mmを超える場合は、フィンガー3本																																									
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>内封筒オープナー</p>  <p>推奨 3 フィンガー設定</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内封筒オープナー</p>  <p>推奨 5 フィンガー設定</p> </div> </div>																																									

5・トラブルシューティングとメンテナンス

表 5-6 封入エリアまたは封筒フラッパーエリアのトラブル

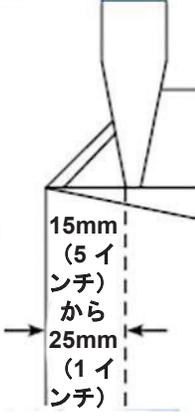
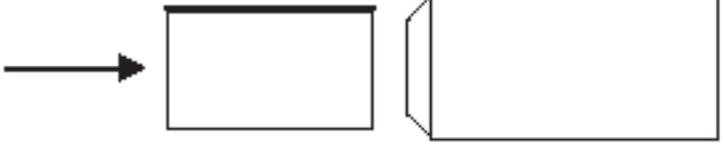
問題	原因	アクション
封入エリアまたはフラッパーエリアが停止したり、インサートに失敗したりする。(続き)	封筒オープナーの調整が誤っています。(続き)	 <p>推奨される距離：外部フィンガーの先端から封筒の端まで 15~25 mm (0.5 インチ~ 1 インチ)</p>
	<p>大きいブックレット：フィード方向に平行に綴じる必要があります。ほとんどの場合、シート全判のサイズに近い定形外封筒にインサートするブックレットが該当します。</p>  <p style="text-align: right;">フィード方向に平行に綴じる</p>	
	<p>小さいブックレット：フィード方向に垂直に綴じる必要があります。ほとんどの場合、C5 封筒または 6 インチ x 9 インチ封筒にインサートするブックレットが該当します。</p>  <p style="text-align: right;">フィード方向に垂直に綴じる</p>	
	<p>セットアップの調整については、第 3 章「封筒オープナーの調整」を参照してください。</p>	
エッジのすき間が不十分です。	<p>すき間を確認します。封筒幅は、インサートの最大幅にインサートの束の厚みを足した寸法よりも 13mm (5 インチ) 以上広くなくてはなりません。</p> <p>注：特例として、標準的な封筒に 1 枚だけシートを入れる場合は、9 mm のすき間があれば十分です。</p>	
封入パックまたは封筒が中央に配置されていません。	<p>サイドガイドが正しく設定されていることを確認します。サイドガイドとマテリアル間のすき間が大きすぎると、機器内でマテリアルがゆがむ可能性があります。</p> <p>手順については、本書の第 3 章「トレイのサイドガイドの調整」を参照してください。</p>	

図 5-6 封入エリアまたは封筒フラッパーエリアのトラブル（続き）

問題	原因	アクション
	<ul style="list-style-type: none"> • 封入パックの中身が、封筒内のサイドシームに当たっています。 • 封入パックが厚すぎて、サイズの小さい封筒に入りません。 	<p>以下の方法で、アライナーのカスタム設定を調整します。</p> <p>注：封入パックが厚すぎて、サイズの小さい封筒に入らない場合は、[Envelope Width（封筒幅）]と[Widest Enclosure Width（封入物の最大幅）]に封入パックの正確な寸法を設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホーム画面から、[Menu（メニュー）]を選択し、次に[Job（ジョブ）]を選択します。 2. [Edit Current Job（現在のジョブを編集）]、[ジョブ設定の編集]、[Advanced（詳細設定）]の順に選択します。 3. [アライナー]を選択し、[On with Custom Settings（カスタム設定でオン）]を選択します。[Customer Aligner Settings（カスタムアライナー設定）]画面が表示されます。 4. [Envelope Width（封筒幅）]を選択します。必要に応じて上下矢印キーを使って、値を増減させます。終了したら[Accept（適用）]を選択します。 5. [Widest Enclosure Width（封入物の最大幅）]を選択します。必要に応じて上下矢印キーを使って、値を増減させます。終了したら[Accept（適用）]を選択します。 6. 必要な調整を行ったら、[Customer Aligner Settings（カスタムアライナー設定）]画面で[Accept（確定）]を選択します。

5・トラブルシューティングとメンテナンス

表 5-7 モイストナーまたは郵便物の排出口のトラブル

問題	原因	アクション
封かんされない、封かんに失敗する、封かんが不完全。	ジョブ設定で封かんがオフになっています。	<ul style="list-style-type: none"> ジョブ定義を確認します。 シーラーがオンになっていることを確認します。
	封かん液が少なくなっています。	封かん液を足します。
	質の悪い封筒を使用しています。	封筒を調べます。糊しろのラインを調べます。
	モイストナーのブラシが磨耗しています。	検査します。必要に応じて交換します。手順については、「モイストナーのブラシの交換」を参照してください。
	モイストナーウィックが磨耗しています。	検査します。必要に応じて交換します。手順については、「モイストナーウィックの交換」を参照してください。
ハイシール：フラップが、折り目の上で折られて封かんされる。	外封筒または内容物がゆがんでいます。	<ul style="list-style-type: none"> サイドガイド調整をチェックしてください。 トレイ内のマテリアルが正しくセットされていることを確認します。
	<ul style="list-style-type: none"> 封入パックの中身が、封筒内のサイドシームに当たっています。 封入パックが厚すぎて、サイズの小さい封筒に入りません。 	<p>以下の方法で、ライナーのカスタム設定を調整します。 注：封入パックが厚すぎて、サイズの小さい封筒に入らない場合は、[Envelope Width (封筒幅)] と [Widest Enclosure Width (封入物の最大幅)] に封入パックの正確な寸法を設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホーム画面から、[Menu (メニュー)] を選択し、次に [Job (ジョブ)] を選択します。 [Edit Current Job (現在のジョブを編集)]、[Edit Job Settings (ジョブ設定の編集)]、[Advanced (詳細設定)] の順に選択します。 [アライナー] を選択し、[On with Custom Settings (カスタム設定でオン)] を選択します。 [Customer Aligner Settings (カスタムアライナー設定)] 画面が表示されます。 [Envelope Width (封筒幅)] を選択します。必要に応じて上下矢印キーを使って、値を増減させます。 [Accept (確定)] を選択します。 [Widest Enclosure Width (封入物の最大幅)] を選択します。必要に応じて上下矢印キーを使って、値を増減させます。終了したら [Accept (適用)] を選択します。 必要な調整を行ったら、[Customer Aligner Settings (カスタムアライナー設定)] 画面で [Accept (確定)] を選択します。
	質の悪い封筒を使用しています。	封筒の内側が過度にべたついていないか確認します。封筒の内側に糊がはみ出していると、封筒が簡単に開ききらない可能性があります。
封筒出口部で封筒が停止する。	搬送経路が糊で汚れているか、ゴミが付いています。	搬送経路を調べて掃除します。
ボックスシール：マテリアルによって封筒の紙折りが妨げられ、折り目の部分が平らになる。	マテリアルが封筒の奥までしっかりと封入されていません。	<p>封筒の折り目を上部に調整して、マテリアルが封筒の奥までしっかりと封入されるようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホーム画面で、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)]、[Configure System (システムの設定)] の順に選択し、最後に [Set Envelope Crease (封筒の折り目設定)] を選択します。 封筒の適切な位置を選択します。 [Finished (完了)] を 3 回押して、ホーム画面に戻ります。 <p>重要：これはシステム設定であり、機器上のすべてのアプリケーションに対して有効になります。</p>

問題	原因	アクション
定形封筒経路から封筒が一定に排出されず、封筒が破損する。	丁合が硬すぎて、定形封筒出口経路を通過できません。	<p>封筒の長さが 152 mm (6 インチ) を超える場合は、定形外封筒出口経路で処理します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホーム画面で、[Menu (メニュー)]、[Job (ジョブ)] の順に選択します。 [Edit Current Job (現在のジョブを編集)]、[Choose the Item to modify (変更するアイテムの選択)]、[Edit Highlighted Item (選択されたアイテムの編集)] の順に選択します。 [Additional Settings (詳細設定)]、[Additional Settings (詳細設定)] の順に選択して、[硬い媒体] を選択します。 [Yes (はい)] を選択します。 <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> [Stiff media (硬い媒体)] オプションを使用できない場合 (淡色表示になっている場合)、システム設定でこのオプションを有効にします。 封筒が定形外封筒でない場合は、機器に HCEF が取り付けられていてもタワーフィーダーに割り当てられます。

表 5-8 大容量封筒フィーダーのトラブル

問題	原因	アクション
フィードできない。	封筒が後尾部支えに沿って下りていません。	封筒のスタックの下部を押すか軽く叩いて、後尾部支えに沿って下りるようにします。
または 封筒がゆがむ。	<ul style="list-style-type: none"> セパレーターギャップが狭すぎます。 サイドガイドが広すぎるか、狭すぎます。 後尾部支えの位置が誤っています。 	[Separator Gap (セパレーターギャップ)]、[Side Guide (サイドガイド)]、および [Tail Prop (後尾部支え)] の設定を確認します。各設定の調整の手順については、本書の第 3 章「HCEF へ封筒をセットする」を参照してください。
	HCEF の下に紙片があります。	紙片を取り除きます。
ダブルフィード (封筒が 1 枚ずつに分かれない) やストリームフィードが発生する。	セパレーターギャップの調整で幅が広すぎます。	セパレーターギャップの調整を行います。本書の第 3 章「HCEF セパレーターギャップの調整」を参照してください。
	後尾部支えの位置が誤っています。	後尾部支えの調整を行います。本書の第 3 章「HCEF 後尾部支えの調整」を参照してください。
	封筒が入れ子になっているか、互にくっついている、または貼り付いています。	不具合のある封筒を取り除きます。
システムが誤ってダブルフィードを検知する。	二重検知機能が、封筒のフラップやシームをダブルフィードとして検知しています。	<ul style="list-style-type: none"> 封筒のフラップ、シーム、窓なし領域に二重検知のカスタム設定をします。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> 二重検知機能をオフにします。 <p>第 3 章「インサートオプション」を参照してください。</p>
トライアル後の最初の 1 枚目が誤って二重検知される。	最初のトライアルでダブルフィードされた可能性があります。	トライアルを再度実行します。 第 3 章「トライアルの実行」を参照してください。
封筒がフラッパーエリア内で停止する。	封筒の積載手順が間違っています。	表示画面の積載手順に従って、封筒が正しい向きにセットされていることを確認します。
または 封筒が搬送中にフラッパーエリアの先で停止し、フラップが開かないか、途中までしか開かない。	封筒が互にくっついているか、または貼り付いています。	封筒フラップが封筒の本体に糊付けされていないことを確認します。不具合のある封筒を取り除きます。
	サイドガイドが広すぎるか、狭すぎます。	サイドガイドの調整を行います。手順については、本書の第 3 章「HCEF サイドガイドの調整」を参照してください。

5・トラブルシューティングとメンテナンス

表 5-9 郵便物のトラブル

問題	原因	アクション
折りタイプが間違っている。	ジョブの設定が正しくありません。	ジョブ定義を確認し、ジョブの仕様に合わせて適切な調整を行います。
紙折りの面の長さが間違っている。	ジョブの設定が正しくありません。	自動計測を選択するか、ジョブの仕様に合わせて手動で調整を行い、その後トライアルを再実行します。
封筒の窓からアドレスが見えない。	<ul style="list-style-type: none"> アイテムが正しくセットされていません。 前端が先頭になっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> アイテムをセットし直します。詳細は、本書の第3章「トレイへの積載」を参照してください。 表示画面で示される積載手順に従って、前端が正しい位置になっていることを確認します。 [Trial Piece Complete (トライアルの完了)] 画面が表示されたら、[Adjust Address (アドレスの調整)] を押し、表示される手順に従って操作します。
	ジョブの設定が正しくありません。	アドレスが印刷されているアイテムが固有情報形式になっていて、アドレスの位置が正しく選択されていることを確認します。また、選択した封筒の種類が「窓付き」で、フラップの向きが正しいことを確認します。必要に応じて、本書の第3章「ジョブの編集」を参照してください。

表 5-10 スキャナーのトラブル

問題	原因	アクション
1枚の封筒に同じ丁合が2組以上封入される。	スキャナーのヘッド位置調整が誤っています。	スキャナーヘッドの位置調整を確認します。手順については第8章を参照してください。
または	選択したスキャン定義がジョブに適合していません。	正しいスキャン定義を選択します。
1組の丁合が2つに分かれて2枚の封筒に封入される。	スキャン定義の設定が間違っています。	[Control Panel (コントロールパネル)] のスキャン設定オプションを使用して、スキャン設定を確認します。
または	マテリアルのセットされた順序が正しくありません。	マテリアルを正しい順序でセットします。
システムが停止してエラーが表示される。	用紙の方向が逆です。これは、用紙の向きが誤っているために読み違いが起きていることを表しています。こういった読み誤りには用紙のゆがみやずれ、搬送経路の一方への片寄りなどがあります。	マテリアルが正しくセットされていることを確認します。特に、フィーダーのサイドガイドに注意して確認します。搬送経路に障害物がないことを確認します。
注：推奨される OMR の厚さは 0.33 mm (0.012 インチ) ~ 12 mm (0.49 インチ) です。スキャンに関する一般的な情報については、第8章を参照してください。	OMR やバーコード印刷の質が悪い。この問題には、コントラスト不足や質の悪い印刷（欠けや不明瞭な印刷）、クリアゾーンの不足などが含まれます。	マークの規格をチェックして、OMR やバーコードが完全に規格に準拠していることを確認します。レーザープリンターやドットプリンターのトナーが少なくなっていたり、ざらざらした用紙を使用していると、問題が発生することがあります。一部の印刷方法（イオンデポジションプリンターなど）でも、印刷の問題が発生する場合があります。
	スキャナーが動作していません。	販売元にご連絡ください。

定期的なメンテナンス

このセクションでは、システムで実行可能なメンテナンス作業について簡単に説明します。販売元とご相談の上、定期的にメンテナンスサービスを受けるようにしてください。

毎日の作業

- 機器の各モジュールの上または周辺にたまった紙のホコリを取り除きます。
- 濡れた布切れでカバーについた汚れをふき取ります。
- 機器の誤動作や部品の著しい磨耗について管理者に報告します。

モイストナーウィックの交換

注：機械が 250,000 回転すると、モイストナーウィックとブラシが消耗して、封かんの品質が低下し始めます。モイストナーウィックとブラシはこのタイミングで交換することをおすすめします。消耗品のご注文については、販売元にお問い合わせください。詳細については、本書の冒頭にある「連絡先情報リスト」を参照してください。

モイストナーウィックが乾燥している場合は交換してください。以下の手順に従います。

1. 封入エリアカバーを開ける
2. 容器の左側にあるシーラーのデッキに、ペーパータオルを何枚か置きます。このタオルで、ウィックカートリッジから垂れる水を吸い取ります。

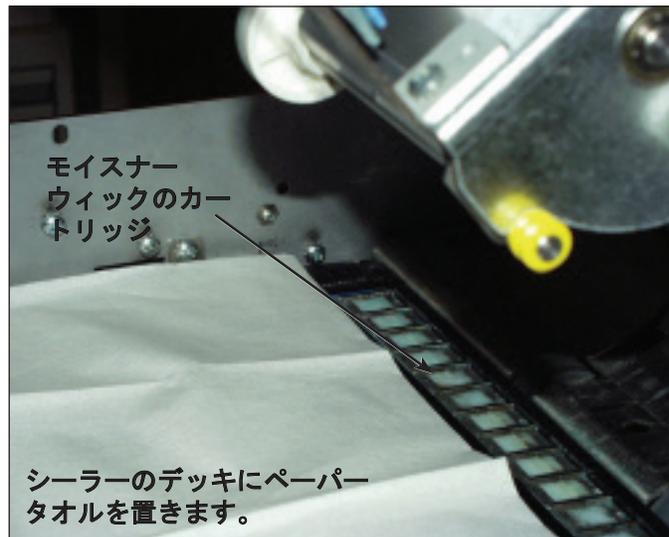


図 5.1 : ウィックカートリッジを取り外す準備

5・トラブルシューティングとメンテナンス

モイストナー ウィックの交換 (続き)

3. プラスチックのラッチ（容器の両側に1つずつある）を外します。
 - a. 機器の背面にあるラッチ（自分からもっとも遠いところにあるラッチ）に片手の親指をかけます。

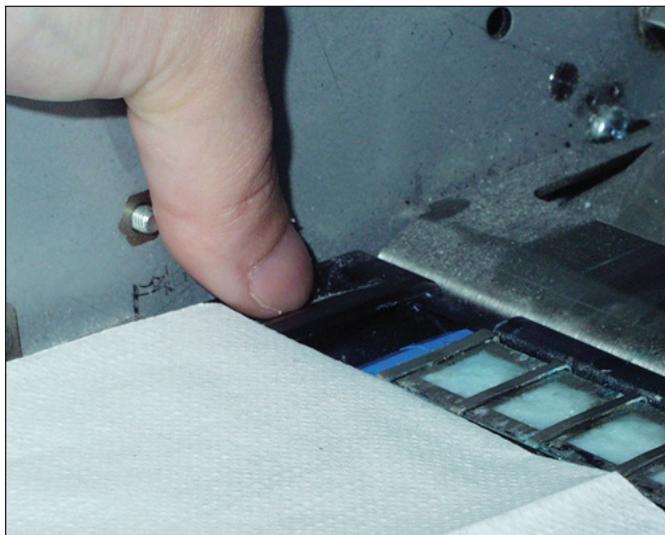


図 5.2 : 背面ラッチの解除

- b. もう片手の人差し指をもう一方のラッチ（自分に近い方のラッチ）にかけます。
 - c. 両方のラッチが下のウィックカートリッジから放れるまで、ラッチを外側にスライドさせます。
4. 古いウィックカートリッジを真上に引き上げて容器から出し、ペーパータオルの上に置きます。



図 5.3 : 古いウィックカートリッジの取り外し

5. ペーパータオルで古いウィックカートリッジを包んで廃棄します。
6. 新しいウィックカートリッジを容器に差し込みます。カートリッジの開いている側を機器の出口側（背面）に向けて挿入します。
7. カートリッジの両端を押し下げて、カートリッジのでこぼこ面が容器の上端よりも下に来るようにします。
8. プラスチックのラッチを新しいウィックカートリッジの上で、両方のラッチがカチッと収まるまで内向きにスライドさせます。
9. 封入エリアのカバーを閉じます。

モイスナーのブラシの交換

モイスナーのブラシに磨耗が見られる場合は交換します。以下の手順に従います。

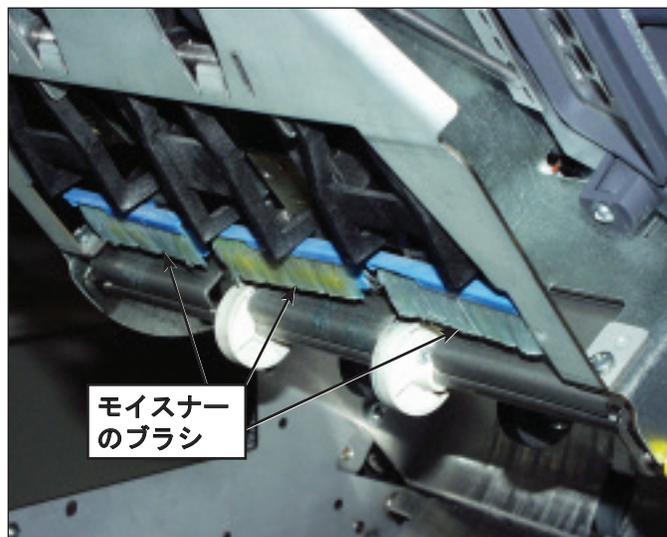


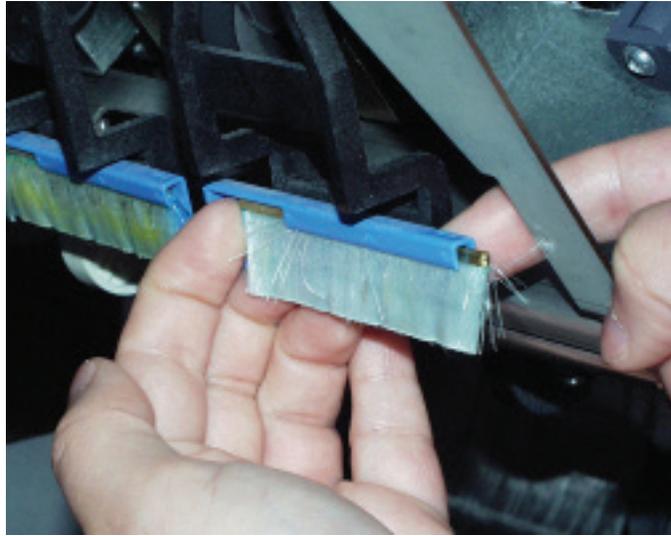
図 5.4 : モイスナーのブラシの位置

5・トラブルシューティングとメンテナンス

モイスナーのブラシの交換（続き）

1. 封入エリアカバーを開ける
2. 古いブラシを取り外します。
 - a. 青いブラシホルダーを片手で動かないように押さえながら、もう片手で古いブラシのはけを押し完全にホルダーから外します。

注： はけを自分の側に押しします。



- b. 同様に 3 本のブラシをすべて外して廃棄します。
3. 以下の手順で新しいブラシを取り付けます。

注： ブラシのはけを曲げたりゆがめたりしないようにしてください。はけがゆがんだままになると、封筒が正しく封かんされなくなります。

- a. 青いブラシホルダーを片手で動かないように押さえます。
- b. 新しいブラシの、金属がついている側の端を、ブラシホルダー前面の開いている溝に挿し込みます。
- c. ブラシホルダーの溝にブラシを軽く押し込むと、ブラシが入っていきます。
- d. 新しいブラシがホルダーの奥に突き当たるまで、はけの部分を押し完全にスライドさせます。

注： ブラシホルダー前面からブラシの金属の端がはみ出して見えなくなれば、ブラシは完全に挿入されています。

- e. 他の 2 本のブラシについてもこの操作を繰り返します。

6・仕様

概要	6-2
システムの仕様	6-2
コンポーネントの仕様.....	6-4
フィーダタワーおよびベースの材料仕様	6-6
一般情報	6-6
外封筒	6-6
インサート.....	6-9
シート.....	6-10
大容量シートフィーダー（HCSF）の素材の仕様	6-11
一般情報	6-11
シート.....	6-11
使用できない材料.....	6-12

6・仕様

概要

このセクションでは、システム、ハードウェアコンポーネント、システムと互換性があるマテリアルの仕様を示します。

システムの仕様

寸法		
すべての寸法はおおよその数字です。		
	全体の長さ、高さ	梱包なし重量
Relay 5000	2261 mm (89 インチ)、 787 mm (31 インチ)	148 kg (327 ポンド)
Relay 8000	2261 mm (89 インチ) 851 mm (33.5 インチ)	158 kg (350 ポンド)
大容量シートフィーダー (HCSF)	1105 mm (43.5 インチ)、 726 mm (28.6 インチ)	68 kg (150 ポンド)
縦型パワースタッカー	432 mm (17 インチ)、 610 mm (24 インチ)	18.6 kg (21 ポンド)
出口搬送	508 mm (20 インチ)、 406 mm (16 インチ)	24 kg (52 ポンド)
フラットシーラー	317mm (12.5 インチ)、 406 mm (16 インチ)	180.4 kg (82 ポンド)

環境の制限					
	気温 華氏 (摂氏)		湿度 (%)		湿球温度華氏 (摂氏)
	最小	最大	最小	最大	最大
通常の操作状況	60 (16)	75 (24)	30	60	該当なし
ピーク時の操作状況	50 (10)	95 (35)	08	85	85 (29)
保管時	15 (-09)	120 (49)	05	95	85 (29)
輸送時	-40 (-40)	140 (60)	05	100	85 (29)

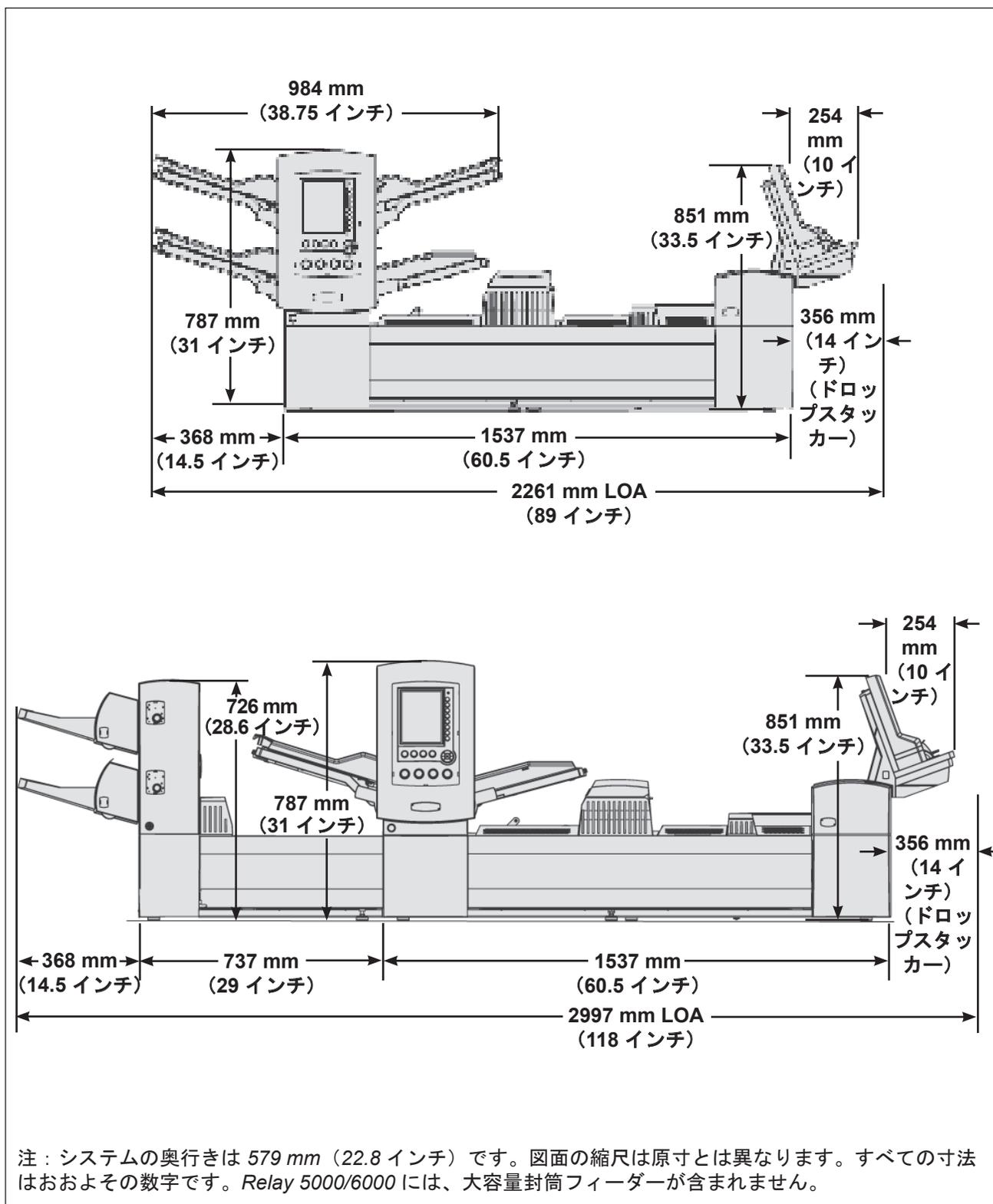


図 5.1 : 立面図

6・仕様

コンポーネント の仕様

容量	
シート/インサート/封筒対応のタワーフィーダー	<ul style="list-style-type: none"> 80 gsm (20 ポンド) で インサートカード 350 枚、封筒 250 枚に対応できます。 フィーダーは多目的仕様になっており、シート、カード、スリップ、封筒を処理できます。 フィーダー（封筒フィーダーを含む）をリンクすることによって、処理時間を短縮できます。 フィーダーは 2 点 1 組で使用します（最大 4 点）。
紙折り機	80 gsm (20 ポンド) の シート 8 枚まで対応。
アキュムレーター	丁合の厚みは最大 6 mm (1/4 インチ)。
大容量シートフィーダー (HCSF)	2 点 1 組で使用。容量は 1 点あたり 2,000 シート。
ドロップスタッカー	定形郵便で 130 通、定形外郵便で 25 通。
縦型パワースタッカー	定形郵便で 250 通（インサートを 1 枚と仮定）。
ハイキャパシティパワースタッカー	完成封筒の高さ約 61 cm。
モイストナー/クローザー/シーラー	8,000 通分。

紙折り機			
折りタイプ	トップアドレスドキュメント	C 折り、Z 折り、1 つ折り、2 つ折り	丁合あたり最大シート数8 (20 ポンド [80 gsm])
	ボトムアドレスドキュメント (下記の注を参照してください)	C 折り、Z 折り、1 つ折り	
	ミドルアドレスドキュメント (下記の注を参照してください)	C 折り	
機器の調整	なし		
紙折りなし (バイパス)	あり		
注	<ul style="list-style-type: none"> ボトムアドレスドキュメントでは、インバーターキットが必要になる場合があります。 シートの中央に住所があるドキュメントには、常にインバーターキットが必要になります。 詳細については、この章の [Available Fold Type/Address Location/Envelope Type Combinations (有効な折りタイプ、住所位置、封筒の種類組み合わせ)] の一覧表を参照してください。 		

コンポーネント
の仕様（続き）

有効な折りタイプ、住所位置、封筒の種類組み合わせ		
折りタイプ	アドレス配置	封筒タイプ
C 折り	上段	標準フラップ
	中段	フォワード
	下段	ボトムフラップ
	中段*	標準フラップ*
Z 折り	上段	標準フラップ
	下段	ボトムフラップ
	下段*	標準フラップ*
1 つ折り	上段	標準フラップ
	上段	ボトムフラップ
	下段	ボトムフラップ
	下段	標準フラップ
2 つ折り	上段	標準フラップ
	トップから 3 番目の面*	標準フラップ*

*この組み合わせを使用するには、インパーターが必要です。

大容量封筒フィーダー（HCEF）	
HCEF は、Relay 7000/8000 プロフェッショナルシリーズで標準搭載になっていますが、Relay 5000/6000 シリーズでは使用できません。	
マテリアル	定形サイズ封筒
マテリアルの寸法	縦：89 mm（3.5 インチ）から 165 mm（6.5 インチ） 幅：216 mm（8.5 インチ）から 266 mm（10.5 インチ）
容量	重量 90 gsm（24 ポンド）の定形サイズ用紙 500枚。

スキャン機能（オプション）	
システムのタワーフィーダーと HCSF には、ラダー OMR およびバーコードマークを読み取るためのオプションのスキャン機能があります。HCSF には、ピケットフォーマットのバーコードまたは 2D データマトリックスバーコードを読み取るオプションのスキャン機能があります。スキャナーキットはフィールドで取り付けを行います。	
対応 OMR コード	5 シリーズ、3 シリーズ、SECAP™ 2600、Pitney Bowes® Console。
対応 OMR 機能	さまざまな用紙を含むドキュメント、選択フィード、フィーダー間のマッチング、シート排除機能、特殊な処理のためのマークなど。
対応バーコードフォーマット	Code 39™（3 of 9）、Interleaved 2 of 5、2D Datamatrix バーコード。
注	スキャナーの水平位置は、手動で調整できます。いずれのフィーダーから送られたドキュメントもスキャンできます。 ドキュメントをスキャンする場合は、レーザープリンターで印刷する必要があります。コピーしたドキュメントやインクジェットプリンターに印刷するドキュメントでは、バーコードを適切にスキャンできるように、バーコードのサイズを大きくしなければならない場合があります。すべての 2D バーコードは、等級 A のバーコードにする必要があります。

6・仕様

フィーダータワー およびベースの マテリアル仕様

信頼性の高い操作を行うため、すべてのマテリアルは公開されている仕様に適合している必要があります。フィードに問題が発生したり、紙詰まりが頻繁に発生する場合、規格を満たしていないマテリアルを使用したことが原因となっている場合があります。

一般情報

定形郵便のマテリアルは、半径 38 mm (1.5 インチ) で 1/4 回転しても変形したままになつたり穴が開いたりせず、その他のいかなる損傷も受けずに搬送可能である必要があります。

色の制限：印刷済みのマテリアルについては、制限はありません。

用紙不透明度の最低値：60 gsm コピー用紙 (16 ポンド) で 95% です。

用紙不透明度の最大値 (二重検知が必要な場合) は、通常のページ全体で 10 ポイント印刷で、90 gsm コピー用紙 (24 ポンド) で 95% です。

注：素材の取扱を向上させるために加える物質 (粉など) が、シートの硬い面の端を指先で叩いても目に見える量で落ちないようにしてください。

外封筒

封筒の仕様

- 封筒は、標準サイドシーム、洋形サイドシーム、センターシーム、または高級である必要があります。これらは打ち抜き、ウェブ切り、窓付き、窓なしに対応しています。

注：窓にフィルムがついていない外封筒は使用できません。

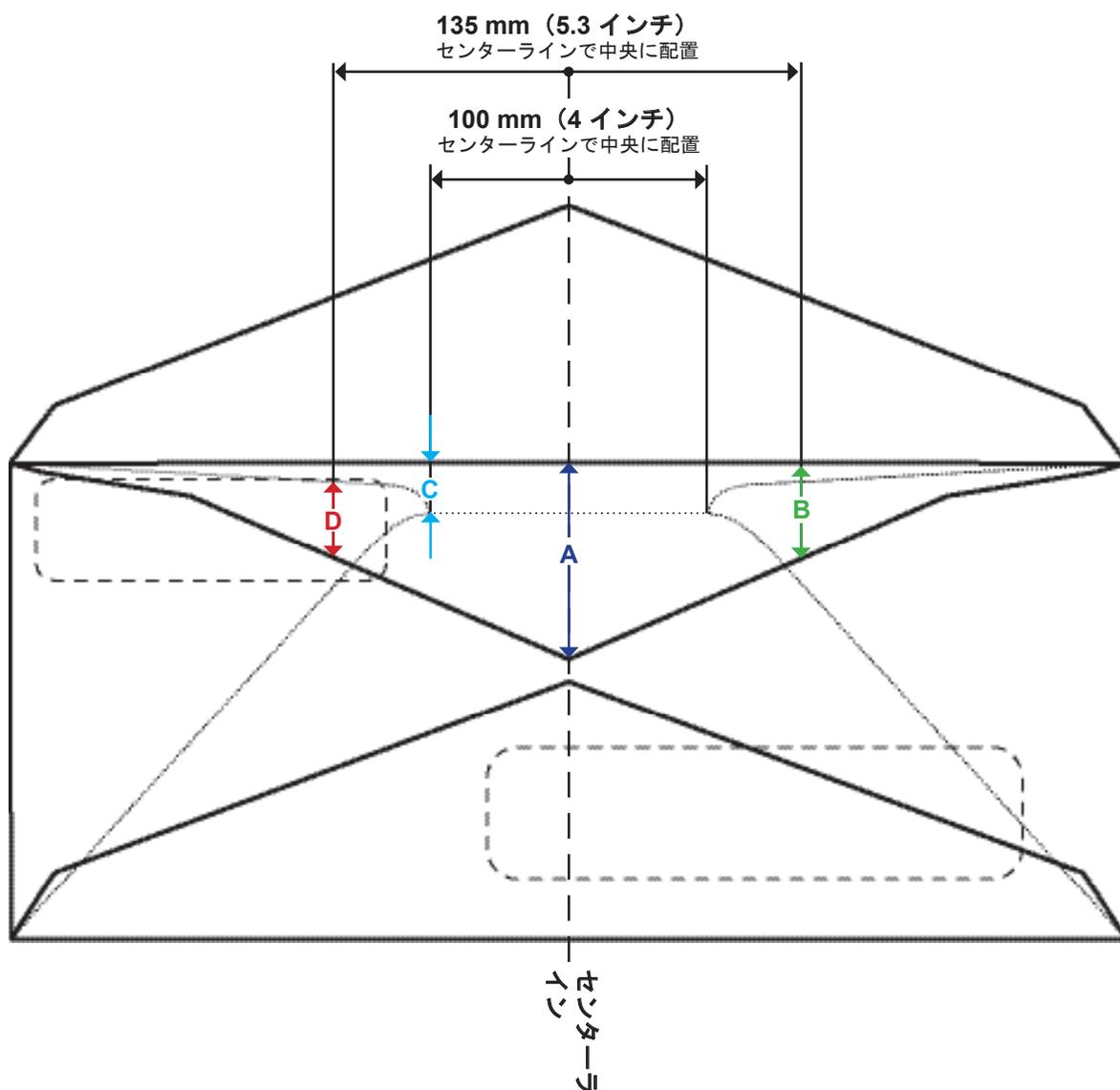
- 窓の貼り付けでは、グラシン紙またはポリスチレンの素材を使用して、波ができないようにフラットにする必要があります。貼り付け部は、貼り付ける素材の上端から窓の切り抜きまで、1.6 mm (0.06 インチ) 以内で糊付けする必要があります。
- 封筒のマテリアルは、新しい用紙またはリサイクルの白い網目漉き紙、マニラ紙および平板紙である必要があります。網目漉きでない用紙を使用した封筒、人工素材 (Tyvek® など) の封筒、または外に留め具がついている封筒は使用できません。
- 封筒フラップには、でんぷん (デキストリン)、樹脂 (熱帯性植物塗料)、またはその 2 つの組み合わせで作られた、再加湿が可能な接着剤を使用できます。
- セルフシール式や両面テープ式、圧着式の外封筒は使用できません。
- 糊しろのラインから封筒ボトムフラップの端までの距離は、2 mm (0.08 インチ) 以下にします。

封入エリアを使用する場合の封筒サイズ

- 封筒幅は、インサートの束の最大幅と厚みの合計より最低 13 mm (0.5 インチ) 広くなくてはなりません。
- また、封筒の深さは封入物の深さより最低 6 mm (0.25 インチ) 長くする必要があります。
- ライナーを使用している場合、9 号 (C5) 封筒に 3 枚を超えて定形サイズのシートをインサートすることはできません。

外封筒（続き） 封筒ノドの定義

注：これは仕様を図式化したものであり、実物大ではありません。



範囲	値	説明
A	41 mm (1.6 インチ)	開口部の最大の深さは、エグゼクティブスタイル封筒のセンターラインで計測します。
B	38 mm (1.4 インチ)	開口部の最大の深さは、センターラインを中心として 135 mm (5.3 インチ) の距離で計測します。
C	6 mm (0.25 インチ)	開口部の最小の深さは、センターラインを中心として 100 mm (4 インチ) の領域内になります。
D	2 mm (0.08 インチ)	窓の上端から封筒ノドまでの最小の距離は、センターラインを中心として 135 mm (5.3 インチ) の距離で計測します。

6・仕様

外封筒（続き）

封筒のカールやゆがみ

- 封筒に何も入れない状態で、フラップのある側を上向きにして平らな面の上に置いたときに、いずれの角も平面から 13 mm（0.5 インチ）以上浮いてはなりません。
- 封筒フラップのカールやゆがみは、平らな面でフラップの折り目を抑えたときに 3 mm を超えてはなりません。

定形サイズ封筒の仕様		
パラメーター	最小値	最大値
幅	フィーダータワー： 162 mm（6.37 インチ） HCEF：225 mm（8.9 インチ）	フィーダータワー： 266 mm（10.5 インチ） HCEF：264 mm（10.4 インチ）
深さ	フィーダータワー： 89 mm（3.5 インチ） HCEF：98 mm（3.9 インチ）	165 mm（6.5 インチ）
開口部の深さ*	6.35 mm（0.25 インチ）	38 mm（1.49 インチ）、高級封筒 41 mm（1.61 インチ）
用紙重量	70 gsm（18 ポンド）	90 gsm（24 ポンド）
フラップの深さ	30 mm（1.2 インチ）	センターの内側 63 mm（2.5 インチ） ± 35 mm（1.4 インチ）、センターの外側 47 mm（1.85 インチ） ± 35 mm（1.4 インチ）

*詳細は、この章の「封筒ノドの定義」を参照してください。

フィーダータワー - 定形外サイズ封筒の仕様		
パラメーター	最小値	最大値
幅	162 mm（6.37 インチ）	266 mm（10.5 インチ）
深さ	165 mm（6.5 インチ）	330 mm（13 インチ）
開口部の深さ	6.35 mm（0.25 インチ）	38 mm（1.49 インチ）
用紙重量	80 gsm（20 ポンド）	90 gsm（24 ポンド）
フラップの深さ	30 mm（1.2 インチ）	63 mm（2.5 インチ）

インサート

「インサート」は、定形サイズ封筒に封入する前に折りたたむ必要のない（あらかじめ折りたたんでおくことは可能）マテリアルと定義されます。また、個々のシート、綴じられていない複数枚のシートセット、C 折りまたは 1 つ折り、製本したブックレット（ローラーを傷つけないよう留め具が露出していない）なども、「インサート」と定義されます。

定形外封筒に封入する返信用封筒も「インサート」と呼ばれます。

マテリアルの特性

使用可能な用紙の種類には、新しい用紙やリサイクル紙の上質紙、テキスト専用紙、レーザー専用紙およびオフセット用紙などがあります。オフセットコーティングには、マット、半光沢および光沢があります。

注：光沢のあるマテリアルを使用すると、システムの性能に影響する場合があります。

紙目

縦目または横目のマテリアルを使用できます。

印刷

片面印刷および両面印刷の両方が可能です。色の制限もありません。

コーティング

シートに上塗りを施してコーティングすることができます。

フィーダータワー - インサートの仕様		
パラメーター	最小値	最大値
幅	127 mm (5 インチ)	250 mm (9.84 インチ)
長さ	72 mm (2.83 インチ)	153 mm (6 インチ)
厚み	0.076 mm (0.003 インチ)	2.54 mm (0.1 インチ)
用紙重量	60 gsm (16 ポンド)	175 gsm (44 ポンド)

6・仕様

シート

シートとは、定形サイズ封筒に封入する前に折りたたむ必要のあるマテリアルを示します。特例として、定形外封筒に封入する場合はシートを折る必要はありません。このシートのセットを、丁合と呼びます。

マテリアルの特性

使用可能な用紙の種類には、新しい用紙やリサイクル紙の上質紙、テキスト専用紙、レーザー専用紙およびオフセット用紙などがあります。オフセット用紙のコーティングには、マット、半光沢および光沢があります。

注：光沢のあるマテリアルを使用すると、システムの性能に影響する場合があります。

紙目

縦目または横目のマテリアルを使用できます。

印刷

片面印刷および両面印刷の両方が可能です。色の制限もありません。

コーティング

シートに上塗りを施してコーティングすることができます。

レーザー印刷されたマテリアル

カールの基準を満たしていれば、レーザー印刷したばかりのマテリアルも処理できます。

フィーダータワー - シートの仕様		
パラメーター	最小値	最大値
幅	127 mm (5 インチ)	250 mm (9.84 インチ)
長さ	135 mm (5.31 インチ)	356 mm (14 インチ)
厚み	0.076 mm (0.003 インチ)	0.305 mm (0.012 インチ)
用紙重量	60 gsm (16 ポンド)	175 gsm (44 ポンド)

大容量シート フィーダー (HCSF)の素材 の仕様

信頼性の高い操作を行うため、すべてのマテリアルは公開されている仕様に適合している必要があります。フィーダーに問題が発生したり、紙詰まりが頻繁に発生する場合、規格を満たしていないマテリアルを使用したことが原因となっている場合があります。

一般情報

定形郵便の郵便物は、半径 38 mm (1.5 インチ) で 1/4 回転しても変形したままになったり穴が開いたりせず、その他のいかなる損傷も受けずに搬送可能である必要があります。

印刷済みのマテリアルに色の制限はありません。

シート

シートとは、定形サイズ封筒に封入する前に折りたたむ必要のあるマテリアルを示します。特例として、定形外封筒に封入する場合はシートを折る必要がない場合もあります。このシートのセットを、丁合と呼びます。

マテリアルの特性

使用可能な用紙の種類には、新しい紙やリサイクル紙の上質紙、テキスト専用紙、レーザー専用紙、オフセット用紙および NCR 紙などがあります。オフセット用紙のコーティングには、マット、半光沢および光沢がありません。

注：光沢のあるマテリアルを使用すると、システムの性能に影響する場合があります。

紙目

縦目または横目のマテリアルを使用できます。

印刷

片面印刷および両面印刷の両方が可能です。色の制限もありません。

コーティング

用紙に上塗りを施してコーティングすることができます。

レーザー印刷されたマテリアル

カールの基準を満たしていれば、レーザー印刷したばかりのマテリアルも処理できます。

6・仕様

HCSF - シートの仕様		
パラメーター	最小値	最大値
幅	203 mm (7.99 インチ)	216 mm (8.5 インチ)
長さ	232mm (9.15 インチ)	297 mm (11.69 インチ)
基本重量	80 gsm (20 ポンド)	90 gsm (24 ポンド)

注：

- 丁合内のシートはすべて、それぞれの長さの相違が 10 mm (0.37 インチ) 以内である必要があります。
- フィーダーに対する材料の厚さの最大値：スキャンの場合、0.18 mm (0.007 インチ)、それ以外の場合、0.25 mm (0.009 インチ)。

使用できないマテリアル

汚れ

マテリアルに粉、インク、上塗りなどが施してあり、台の上にぶら下げて木製のルーラーで激しく叩いたときに、それらが落ちてしまう場合は、そのようなマテリアルは使用しないでください。

特殊マテリアル

- 温度に敏感なマテリアル（感熱紙など）は使用しないでください。
- 負の磁場に敏感なマテリアルは使用しないでください。
- 圧力に弱いマテリアルは使用しないでください。

7・アドオンモジュール

アドオンモジュールについて.....	7-2
大容量シートフィーダー（HCSF）.....	7-2
HCSF へ用紙をセットする.....	7-3
HCSF ガイドの調整.....	7-5
フラットシーラー.....	7-7
封筒端マーカローラーの交換.....	7-8
ファイルベースの処理.....	7-9
排出オプション.....	7-9
Connect+ MMI.....	7-10
縦型パワースタッカー.....	7-13
水平ベルトスタッカー.....	7-13
出口搬送.....	7-13

7・アドオンモジュール

アドオン モジュールに ついて

本システムでは、性能を最大限に活用するためのモジュールをいくつか使用することができます。これらには、以下のようなものがあります。

- 大容量シートフィーダー
- フラットシーラー
- 折り済みインサートフィーダー
- パワースタッカー

大容量シート フィーダー (HCSF)

HCSF アドオンモジュールはシステムのフィードタワー側の端に取り付けて、大容量の給紙を行うことができます。HCSF にはフィーダートレイが 2 つあり、用紙を水平搬送します。各フィーダートレイには、80 gsm (20 ポンド) の用紙が 1000 枚まで入ります。

シートはあらかじめ決まった順序でフィーダーから移動し、垂直になっている用紙経路を通して水平搬送エリアへと送られます。ジョブ設定によっては、シートが 1 枚ずつメインユニットへ直接搬送される場合と、水平搬送エリアに累積してあらかじめ決まった束になってからメインユニットへ搬送される場合があります。フィーダーリンクが有効になっている場合は、実行中のジョブを中断することなく、アクティブでないフィーダートレイ（現在シートをフィードしていないトレイ）に用紙をセットしなおしたり、トレイを空にしたりすることができます。

システムでは、大容量シートフィーダーを 2 台まで装着できます。2 つの HCSF を取り付けることによって、用紙が一方から他方へ送られ、最終的にメインシステムへと続く流れを作ります。

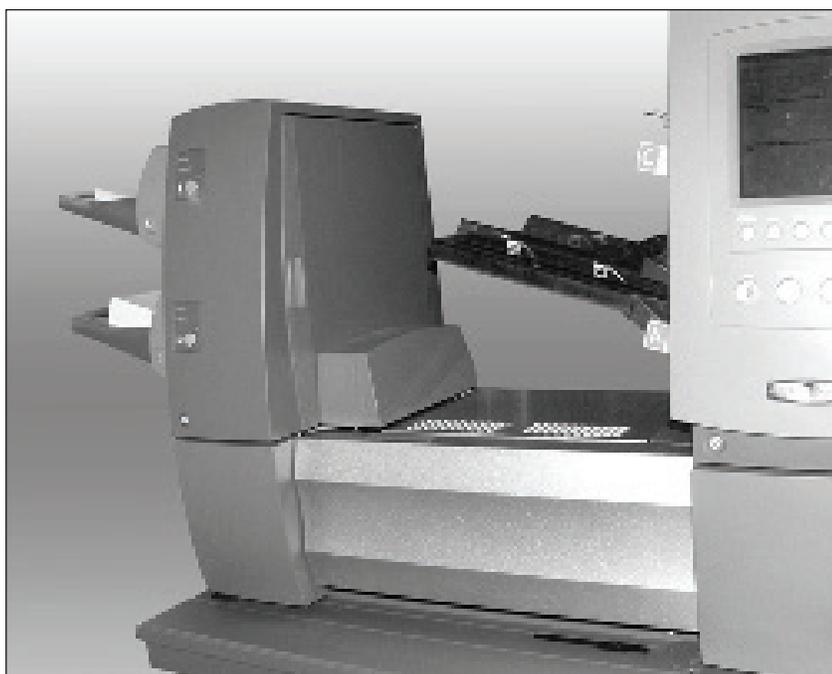


図 7.1 : システムに取り付けられた HCSF

HCSF へ用紙を セットする

HCSF の各フィーダーには、80 gsm (20 ポンド) のシートが 1000 枚まで入ります。マテリアルの他の種類や重量に関する推奨される仕様については、第 6 章を参照してください。

HCSF にシートをセットするには、以下の手順に従います。

1. シートの束をよくさばいてから、HCSF のトレイのサイドガイドアジャスターを左回り (⤵) に回し、シートの束が入る広さにトレイを開きます。

注：サイドガイドアジャスターは、トレイ割り当て文字の下にあります。

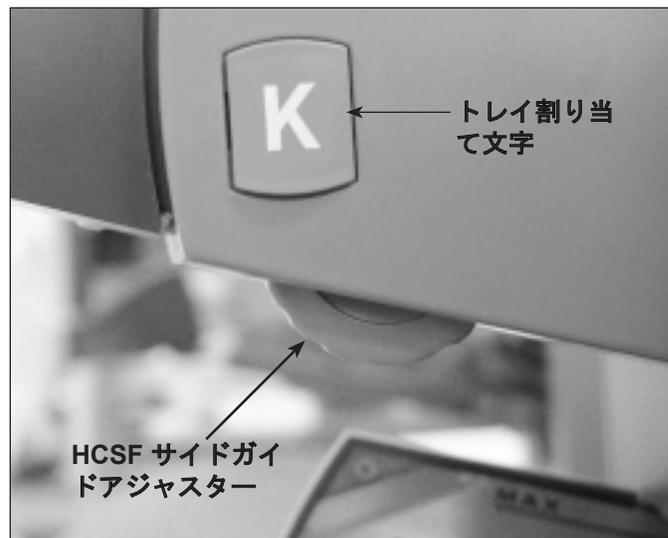


図 7.2 : HCSF サイドガイドアジャスター

2. 2.5 cm (1 インチ) ほどの厚みの用紙を、ホーム画面の積載手順で示されたとおりの方向でトレイにセットします。HCSF 前面パネルの緑色のライトが点灯すれば、用紙がセットされて HCSF が操作可能になっています。
3. フィーダートレイのサイドガイドアジャスターを、サイドガイドが用紙に触れるまで右回り (⤴) に回し、少し戻します。

ヒント：

- 20~25 の郵便物で丁合を行う場合、サイドガイドアジャスターを完全に 1 回転、反転させます (約 2.5 mm / 0.1 インチ)。
- 右に回すと内へ、左に回すと外へ動きます。

7・アドオンモジュール

HCSF へ封筒を セットする（続き）



図 7.3 : マテリアルがセットされた HCSF

4. 残りの用紙を、フィルラインまでセットします。
5. 他の HCSF トレイについては、手順 2～5 を繰り返します。
6. HCSF の前面にあるボタンを、トレイごとに押します。セットされたトレイが、フィードの位置へ移動します。



図 7.4 : HCSF フィード可能

HCSF ガイドの調整

シートの幅が前のジョブで使用したシートの幅と異なる場合は、新しいジョブに合わせて HCSF ガイドを調整してください。

重要：この調整を行う前に、大容量シートフィーダートレイを有効にしたことを確認してください。詳細は、第 4 章「大容量シートフィーダー（HCSF）の有効化と無効化」を参照してください。

1. ホーム画面の [Loading Instructions（用紙の積載手順）] を選択し、次に [Pre-Run Adjustments（実行前の調整）] を選択し、最後に [HCSF Guide Settings（HCSF ガイド設定）] を選択します。
2. 設定を行うフィーダーを選択します。
3. [Trial Piece（トライアル）] を押します。
4. 使用可能な HCSF アキュムレーターエリアの前面および上部カバーを開きます。



図 7.5 : HCSF 前面および上部カバー

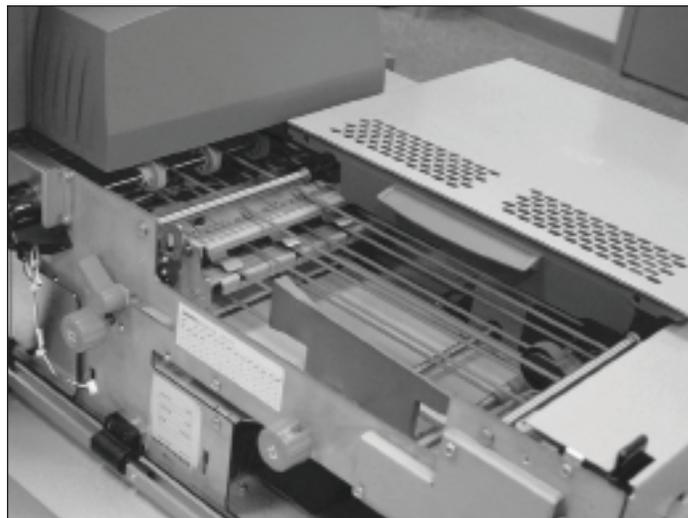


図 7.6 : HCSF の前面および上部カバーを開いた状態

7・アドオンモジュール

HCSF ガイドの調整 (続き)

5. 以下の手順で長さガイドを設定します。
 - a. 長さノブ (ノブ 12) をまっすぐに引き出します。
 - b. ノブを回して、長さガイドバーの黄色のラインをシートの終端に合わせます。

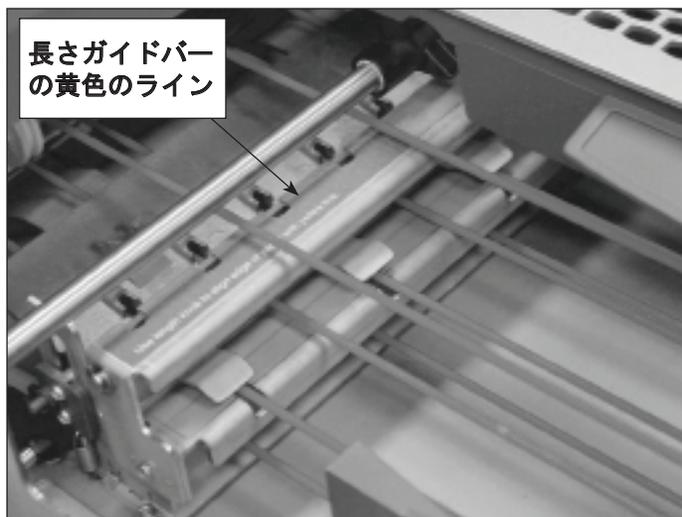


図 7.7 : 長さガイドバー

- c. 長さガイドを適切に配置したら、長さノブを放します。
6. 以下の手順で幅ガイドを設定します。
 - a. シート搬送エリアの右側にあるノブを回して、幅ガイドを動かします。
 - b. シートの端に幅ガイドがちょうど当たるまで動かし、少しだけ (1 / 3 周ほど) 戻します。シートは平らに寝かせ、曲がらないようにしてください。
7. 使用可能な HCSF アキュムレーターエリアの前面および上部カバーを閉じます。
8. [CLEAR DECK (デッキクリア)] を押して、用紙経路にある用紙を取り除きます。
9. シートがきちんと揃うまで、手順 3~8 を繰り返して長さガイドと幅ガイドを調整します。
10. システムに取り付けられている追加の HCSF それぞれについて、この手順を最初から繰り返します。

フラットシーラー

フラットシーラーのアドオンモジュールをベースモジュールの出口側に取り付けて、定形外封筒の封かんができるようにします。フラットシーラーは、最大 6.5 mm (0.25 インチ) の厚さで定形外封筒を封かんできます。

モイストナー、クローザー、シーラーモジュールでは、ブラシが定形外封筒のフラップの上を移動して、糊しろを濡らします。フラットシーラーは、フラップを閉じて封筒を封かんし、次のモジュールダウンストリームに封筒を搬送します。フラットシーラーは、定形外封筒の封かんに特化して設計されていますが、モイストナー、シーラー、クローザーモジュールから排出される封かん済み定形封筒に対応する出口経路も備えています。

フラットシーラーのダウンストリームの取り付け	
定形封筒の出口経路	<ul style="list-style-type: none"> • ドロップスタッカー（定形郵便） • 縦型パワースタッカー • ベルトスタッカー • 出口搬送／メールマシンインターフェイス／メーリングマシン
定形外封筒の出口経路	<ul style="list-style-type: none"> • ドロップスタッカー（定形外郵便） • ベルトスタッカー • 出口搬送



図 7.8 : フラットシーラーモジュール (HCEF を使用する場合)

7・アドオンモジュール

またフラットシーラーには、封筒端マーカ―もあります。封筒端マーカ―は、オペレーターに面している封筒の端に沿って 12.5 mm (0.5 インチ) 以上の長さでマーカ―を適用します。

端マーカ―は、トレイの不具合、郵便番号の不具合、50 枚目の封筒などを示すため、あるいは高い値のチェックのために利用できます。

注：封筒端マーカ―は、定形郵便の出口経路を経由した封筒のみに適用されます。



図 7.9 : フラットシーラーカバーを開いた状態

封筒端マーカ― ローラーの交換

封筒端マーカ―ローラーの取り外しと交換は、以下の手順に従って行います。

注：インクが付着しているため、インクローラーには触れないでください。

1. フラットシーラーのカバーを開きます。
2. 取り外すには、古いインクローラーの一番上にあるつまみをつかんで持ち上げます。
3. 新しいインクローラーの一番上にあるつまみをつかんで、スライドしてスピンドルに差し込みます。
4. インクローラーが所定の位置にしっかりと収まったら、つまみを放します。
5. フラットシーラーのカバーを閉じます。

ファイルベースの 処理

郵便物の搬送処理システムの整合性は、顧客である会社が意図した内容物のみをインサートしてお客様に封筒を確実に発送する能力で評価されます。

ファイルベースの処理ソフトウェアを搭載した Relay システムは、郵便物に関して高度の運用性と整合性を備えた郵便物処理ソリューションです。ファイルベースのソフトウェアは、Relay インサーターと連携して動作し、すべての郵便物に正しい内容物が確実にインサートされるようになっています。

このソフトウェアには、集中的な制御機能が備わっており、ファイルベースのソフトウェア PC でインサーターの稼働領域を制御できます。ソフトウェアは、インサーターの問題を検知できます。マテリアルが詰まった場合、インサーターの問題が発生した場合、ソフトウェアがただちに原因を特定して機械のダウンタイムを最小限にします。

このソリューションでは、バーコードを記載したドキュメントを使用しており、処理中でも専用コンピューターで郵便物を追跡して、各郵便物を特定の形式に仕上げる方法をインサーターに命令できるようになっています。これはファイルベースの処理と呼ばれ、郵便物の処理で整合性を高めることができます。インサーターとファイルベースのソフトウェアで処理するドキュメントを作成するために、このソリューションでは、強力なドキュメント作成機能とワークフロー管理機能を備えたソフトウェアスイート Planet Press を採用しています。

排出オプション

システムの排出部には、以下のようなさまざまなオプションを取り付けることができます。定形郵便と定形外郵便のドロップスタッカーはすべてのシステムの標準オプションです。

Connect+ MMI

メールマシンインターフェイス (MMI) を使用すると、USB 接続を経由して、インサーターと Connect+ メーリングシステムの間で通信できます。インサーターは開始および停止信号をメーリングシステムに送信し、メーリングシステムはエラーメッセージをインサーターに送り返してフィードを停止します。

- インサーターがメーリングシステムを起動するとき、インサーターはシーラーを「オフ」に切り替えて、タイムアウトの制御を取得します。
- 郵便物の過剰な負荷がメーリングシステムにかからないように、インサーターは Connect+ から排出される郵便物の通数を監視します。
- メーリングシステムで郵便物の負荷が大きくなり過ぎた場合、インサーターは処理を停止し、メーリングシステムが郵便物を処理できるようになってから処理を再開します。
- メーリングシステムがメンテナンスモードになっている場合、メンテナンスが完了するまで、インサーターは処理を停止します。
- インサーターを停止しても (インサーター制御なしで) Connect+ を正常に操作することで、インサーターなしでメーリングマシンを操作できます。メーリングマシンが郵便物を処理中で、インサーターに組み込まれた MMI ジョブがある場合、UIM には [Postage Meter Not Available (郵便料金計器が使用できません)] と表示されます。Connect+ が [Run Mail (メール実行)] 画面に戻り、実行されているジョブがない場合、インサーターには [Ready To Run (実行可能)] と表示されます。

注：スタンドアロンモードで郵便物の処理が完了したら、[Stop (停止)] キーを押します。MMI インターフェイスの使用を再開するには、インサーターを起動します。

メールマシンインターフェイスの実行

以下の手順に従って、MMI を使用して郵便物を処理します。

1. インサートシステムの電源を投入します。
2. メーリングシステムの電源を入れます。
3. ジョブのためにインサートシステムが設定されていることを確認します。
 - ジョブをロードする必要があります。

注：MMI が正常に機能するように、ジョブでは [Use Postage Meter (郵便料金計器の使用)] オプションを [On (オン)] に設定する必要があります。詳細は、第 3 章「ジョブの作成」を参照してください。

- マテリアルをロードする必要があります。
 - トライアルを正常に実行する必要があります。
4. 郵便物を処理するようにメーリングシステムを設定したことを確認します。
 - クラスを設定する必要があります。
 - 料金/重量を設定する必要があります。
 - モードを設定する必要があります (該当する場合)。
 - アカウントを選択します (該当する場合)。

注：郵便物の処理については、メーリングシステムの取扱説明書を参照してください。

5. 使用する封筒の幅に合わせてサイドガイドを調整します。Connect+ の要件については、以下の図を参照してください。

注：MMI は定形外をサポートしません。



図 7.15 : Connect+ サイドガイド (MMI を使用しない場合)



図 7.16 : 封筒とサイドガイドの間の距離

6. 以下の状態を確認します。
 - メーリングシステムにジョブのためのリソースが十分にある。
 - MMI が機能している。
 - メーリングシステムで正しいモードになっている。
7. インサートシステムで **[START (スタート)]** ボタンを押します。
インサートシステムが郵便物の組み合わせを開始して、次にメーリングシステムが郵便物を受け取って処理を行います。メーリングシステムは、郵便物を排出するたびにインサートシステムにメッセージを送信します。

紙詰まりの除去

MMI で郵便物を処理しているときに、メーリングシステムで紙詰まりが発生した場合、Connect+ には紙詰まりの場所とともに解決方法が表示されます。

画面の手順に従って、紙詰まりを解決してください。

縦型パワースタッカー

縦型パワースタッカーは、ピツニーボウズの書類封入システム（Relay インサーターなど）の出口に取り付ける強力な小型の下部フィードスタッカーです。インサーターからフィードされた郵便物を整然と積み重ね、積載時と同じ順序に保ちます。フィードされる郵便物はスタッカーのセンサーにより監視されており、郵便物が詰まった場合やスタッカーが満杯になった場合には、インサーターが自動的に停止します。

このスタッカーは、最大の効率を維持するために、流れてくる郵便物をいつでも取り出せるように設計されています。郵便物の流れを止めずに取り出せるため、作業を中断することはありません。

縦型パワースタッカーの詳細は、『*Vertical Power Stacker Operator Guide*（縦型パワースタッカー取扱説明書）』（SV61322）を参照してください。

水平ベルトスタッカー

ベルトスタッカー - 定形または定形外の郵便物

水平ベルトスタッカーは、Relay インサーターに直角に配置しても、直列に配置しても使用できます。

直列に並べて操作する場合は、2とおりの設定があります。ひとつは「定形」（10号/DL/C5など）サイズの封筒用、もうひとつは「定形外」（9号/C4など）サイズの封筒用の設定です。「定形外」封筒を使用する場合は、かならず直列形式にしてください。

タンデムベルトスタッカー - 定形または定形外郵便

Relay インサーターでは、特有のスタッカー構成を使用できます。これにより、定形封筒と定形外封筒を同時に自動でスタックできるようになります。スタッカーは、2つのスタッカーユニットからなり、インサーターから排出される定形封筒と定形外封筒を受けるための調整可能な脚部または適切な高さの台に設置されます。

ベルトスタッカーとタンデムベルトスタッカーの詳細は、『*Horizontal Belt Stacker Operator Guide*（水平ベルトスタッカー取扱説明書）』（SV40231）を参照してください。

出口搬送

出口搬送は、下部の定形外スタックに必要な距離を超えて定形封筒の出口経路を組み立て式に拡張します。出口搬送をインサーターに取り付けると、定形外封筒の機能を維持したままで、他のアウトプット装置に搭載することができます。

また出口搬送は、特定の構成で大容量封筒フィーダー（HCEF）への最適なオペレーターアクセスを提供します。

このページは意図的に空白になっています。

8・スキヤン

スキヤンの概要	8-2
OMR	8-2
BCR	8-2
2D データマトリックスバーコードの物理的な仕様	8-5
サポートされる正方形と長方形の形式	8-5
スキヤン機能	8-8
サポートされる ECC (エラー修正コード) レベル	8-10
新規スキヤン設定	8-11
OMR スキヤン設定のセットアップ	8-11
BCR スキヤン設定のセットアップ	8-14
スキヤン設定の編集	8-18
OMR スキヤン設定の編集	8-18
BCR スキヤン設定の編集	8-19
スキヤン設定のコピー	8-20
スキヤン設定の削除	8-20
スキヤン設定の確認	8-21
ジョブリストの表示	8-21
既存のジョブへのスキヤン設定の割り当て	8-22
スキヤンヘッドの調整	8-24
ラダーまたは 2D 方向マーク用のスキヤンヘッドの調整	8-24
ピケット方向マーク用のスキヤンヘッドの調整	8-27
OMR の仕様	8-29
OMR の印刷と配置の仕様	8-30
フィーダータワー 向け OMR の配置の仕様 (ラダー方向)	8-30
OMR の印刷と配置の仕様	8-31
HCSF 向け OMR の配置の仕様 (新しいスキヤンキット F790250 - ラダー方向)	8-31
バーコードの仕様	8-32
バーコードの印刷と配置の仕様	8-33
フィーダータワー向け 1D バーコードの配置の仕様	8-33
HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様	8-34
HCSF 向け 1D バーコードの印刷と配置の仕様	8-35
HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様	8-36
HCSF 向け 2D バーコードの配置の仕様	8-37
OMR スキヤン領域の設定	8-38
最初のマーク位置およびコードの長さの定義	8-38
クリアゾーンの定義	8-39
詳細情報	8-40
BCR および OMR マークのレベル	8-40
基本レベル	8-41
拡張整合性レベル	8-43
選択的オペレーションレベル	8-45

8・スキャン

- スキャンの概要** システムには以下の2種類のスキャン方式があります。いずれの種類にもオプション機能があります。
- 光学式マーク読み取り (OMR)
 - バーコード認識 (BCR)

OMR OMR スキャンの目的は、郵便物として封入される用紙セットが、用紙経路を通過して封筒に封入されるまで、きちんと1つにまとまっているかを確認することです。OMR 機能を利用する利点として、郵便物の整合性を飛躍的に向上できること、誤った用紙が封筒に封入される可能性を大幅に軽減できることなどが挙げられます。

OMR マークの条件は以下のとおりです。

- 通常、(郵便物を作成するための紙折りおよび封筒へのインサート作業前の)白または明るい色のシートに印刷された濃い色の実線である。
- 用紙が搬送される向きと直角に線が印刷されている。
- システム上の OMR スキャナーを通したときにスキャナーが正しく作動できるだけの十分な太さと濃さの線である。
- OMR マークは、「ラダー」の方向で生成される。

BCR バーコードは垂直のバーと空白が並んだもので、連続した数字または英数字を表します。このシステムで使用可能なバーコードは、Code 3 of 9、Interleaved 2 of 5、および 2D Datamatrix です。バーコードは、「ラダー」または「ピケット」方向で生成されます。



フィード方向： ↑または↓

例：「ラダー」 (OMR および BCR マーク)

BCR (続き)

フィード方向： ↑ または ↓



例：「ピケット」 (BCR マークのみ)

注：「ピケット」方向のバーコードをスキャンするには、HCSFが取り付けられている必要があります。「ピケット」方向バーコードのスキャンでは、ムービングビームスキャナーを使用します。1台のHCSFにつき1台のムービングビームスキャナーを取り付けることができます。2DはHCSFから読み取ることができ、1台のムービングビームスキャナーという制約が解消されています。

Code 3 of 9 バーコード

Code 3 of 9 は、英数字バーコードです。各英数字を5本のバーと4つのスペース（合計で9つの要素）で表しています。この9つの要素のうち、3つは幅が広く、6つは幅が狭くなっています。キャラクタの間の空白を、キャラクタ間ギャップと呼びます。データが開始および終了する位置を示すスタートコードおよびストップコードとして、アスタリスクを使用します。スタートコードおよびストップコードにより、シンボルを前後に読み取ることができるようになります。

PB FIRST™ では、Code 3 of 9 バーコードのみを使用します。

Interleaved 2 of 5 バーコード

Interleaved 2 of 5 (I2of5 または ITF と呼ばれます) は、数字で構成されるバーコードです。開始と停止のキャラクタは必要ありません。インターリーブすることにより、キャラクタが重なった場合にも対処でき、Code 3 of 9 よりも密度の高いバーコードの作成が可能となります。バーが1番目のキャラクタを、その後の空白が2番目のキャラクタを表します。各キャラクタは、幅の広い2つの要素と幅の狭い3つの要素で構成されています。

Interleaved 2 of 5 では、5つのバーまたは空白のうち2つを使用してキャラクタを作成します。バーと空白にエンコードされている奇数または偶数の番号がついたキャラクタは、パズルのように互いに組み合わせられています。バーと空白をインターリーブまたはインターレースすることにより、密度の高いコンパクトなコードに対処できます。UPC は、特殊なタイプの Interleaved 2 of 5 バーコードです。

2D データマトリックスバーコード

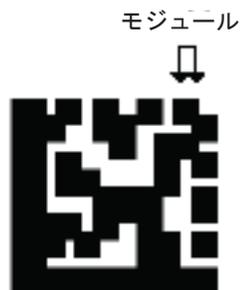
バーコードの物理的なサイズを最小限にして、バーコードがドキュメントに簡単に収まるようにするために、データマトリックス 2D バーコードは、コンパクトなバーコードオプションになっています。

標準的な一次元バーコード (Code 3 または 9 など) と比較した場合のデータマトリックスバーコードの主な利点は、データマトリックスバーコードでは小さいサイズのバーコードに大量のデータを格納できることです。

BCR（続き）

データマトリックスバーコードの容量は、主に以下の2つの要因によって決まります。

- モジュール数で計測されるバーコードの寸法。モジュールは黒または白の正方形です。



- バーコードの生成時に使用するデータエンコーディング方法。最も一般的なデータエンコーディングの種類には次の3つがあります。
 - 数字（数字のみ。最高のデータ濃度）
 - 英数字（数字と文字）
 - バイナリ（数字の0と1のみ）

2D データ マトリックス バーコードの 物理的な仕様

HCSF でサポートされるデータマトリックスバーコードの物理的な寸法を次に示します。

寸法

項目	最小値	最大値
文字数	1	32*
記号の幅	3.3 mm (1/8 インチ)	15.875 mm (5/8 インチ)
記号の長さ	3.3 mm (1/8 インチ)	19.05 mm (3/4 インチ)
モジュールサイズ	0.330 mm (0.013 インチ)	0.635 mm (0.025 インチ)
モジュール数 (正方形)	10x10	24x24
モジュール数 (長方形)	8x18	16x48

*ソフトウェアでは 32 文字目より後ろのデータは無視されます。

2D データマトリックスバーコードの印刷の仕様

- コードは、白い背景に黒いインクで印刷する必要があります (コントラストは 75% 超にする必要があります)。
- コードをテキストまたは画像に重ねて印刷することはできません。
- コードとミシン目が交差しないようにしてください。
- プリンターは 600 DPI 以上で印刷するように設定します。
- コードはバーコード品質等級 A にする必要があります (ISO15415 規格のバーコード評価で)。

サポートされる 正方形と長方形の 形式

次に HCSF でサポートされる正方形のデータマトリックス形式と、それぞれのデータ容量を示します。

サポートされる正方形コードの形式

サイズ	最大数字 容量	最大英数 字容量	最大バイナリ 容量	サポートさ れる最小モ ジュールサ イズ (mm)	サポートさ れる最大モ ジュールサ イズ (mm)
10 x 10	6	3	1	0.33	0.635
12 x 12	10	6	3	0.33	0.635
14 x 14	16	10	6	0.33	0.635
16 x 16	24	16	10	0.33	0.635
18 x 18	36*	25	16	0.33	0.635
20 x 20	44*	31	20	0.33	0.635
22 x 22	60*	43*	28	0.33	0.635
24 x 24	72*	52*	34*	0.33	0.635
26 x 26	88*	64*	42*	0.33	0.584
32 x 32	124*	91*	60*	0.33	0.483

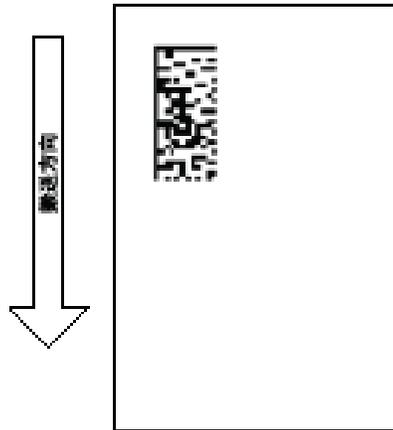
*読み取りはできますが、ソフトウェアでは 32 文字目より後ろのデータは無視されます。

8・スキャン

サポートされる 正方形と長方形 の形式（続き）

長方形のデータマトリックスバーコードは、いくつかの方向でページに配置できます。

- バーコードの長いエッジを搬送方向に揃える場合（短いエッジからフィード）：



搬送方向にバーコードの短いエッジを向けた例

次に HCSF でサポートされる長方形のデータマトリックス形式と、それぞれのデータ容量を示します。

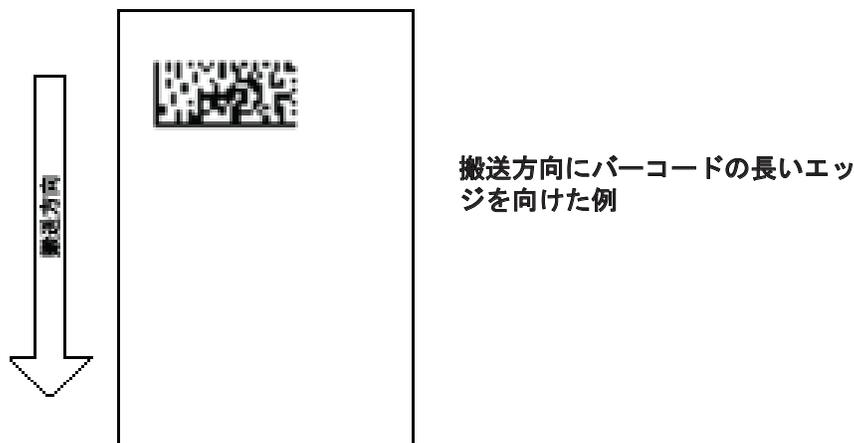
サポートされる長方形コードの形式（短いエッジからフィード）

サイズ	最大数字容量	最大英数字容量	最大バイナリ容量	サポートされる最小モジュールサイズ (mm)	サポートされる最大モジュールサイズ (mm)
8 x 18	10	6	3	0.33	0.635
8 x 32	20	13	8	0.33	0.5842
12 x 26	32	22	14	0.33	0.635
12 x 36	44*	31	20	0.33	0.4826
16 x 36	64*	46*	30	0.33	0.4826
16 x 48	98*	72*	47*	0.33	0.381

*読み取りはできますが、ソフトウェアでは 32 文字目より後ろのデータは無視されます。

サポートされる
正方形と長方形
の形式（続き）

- バーコードの短いエッジを搬送方向に揃える場合（長いエッジからフィード）：



次に HCSF でサポートされる長方形のデータマトリックス形式と、それぞれのデータ容量を示します。

サポートされる長方形コードの形式（長いエッジからフィード）

サイズ	最大数字容量	最大英数字容量	最大バイナリ容量	サポートされる最小モジュールサイズ (mm)	サポートされる最大モジュールサイズ (mm)
8 x 18	10	6	3	0.33	0.635
8 x 32	20	13	8	0.33	0.453
12 x 26	32	22	14	0.33	0.559
12 x 36	44*	31	20	0.33	0.432
16 x 36	64*	46*	30	0.33	0.432
16 x 48	98*	72*	47*	0.33	0.330

*読み取りはできますが、ソフトウェアでは 32 文字目より後ろのデータは無視されます。

注：組み合わせによっては、サポートされない場合もあります。これは、前述の「物理的な仕様」セクションに示した最大長または最大幅の仕様 16 mm (0.6 インチ) をバーコードの長さまたは幅が超えたからです。

スキャン機能

ダイナミック封筒選択

ダイナミック封筒選択では、郵便物の中身をレターサイズ封筒または定形外封筒にインサートする Relay 7000/8000 システム（大容量シートフィーダーオプションあり）でスキャンジョブを作成できます。

レターサイズ封筒大容量封筒フィーダーにセットします。定形外封筒はフィーダータワーにセットし、フィーダー A およびフィーダー C からフィードできるようリンクできます。

注：窓付き定形外封筒は、トップアドレスと外三つ折り（Z 折り）が設定されたジョブでは使用できません。硬い媒体のインサートを選択した場合、ダイナミック封筒選択を実行することはできません。

この機能は、以下の 2 つの方法のいずれかで実行します。

- 封筒選択（ES）スキャンマークを使用する。封筒選択スキャンマークは、BCR スキャンが装備されたシステムまたは OMR スキャンのオペレーションレベルが有効なシステムで使用できます。スキャンレベルの詳細は、この章の「BCR および OMR マークのレベル」を参照してください。
- [Item Overcount Action（アイテムオーバーカウント時の処理）] に [Use Alternate Envelope（代替封筒の使用）] を設定する。詳細は、第 3 章の「ジョブの作成」またはこの章の「既存のジョブへのスキャン設定の割り当て」を参照してください。

ダイナミック封筒選択を使用するジョブでは、2 種類の外封筒を設定する必要があります。ジョブの最初のセットには、封筒選択に必要な情報（ [Envelope Select scan mark（封筒選択スキャンマーク）] または [Item Overcount Action（アイテムオーバーカウント時の処理）] の設定）を含める必要があります。スキャンした材料や（スキャンしない）一般的な材料が含まれた 2 番目のセット、または指定のフィード用紙が含まれたセットは、ダイナミック封筒選択ジョブに含めることができます。また、返信用封筒（BRE）をジョブに含めることもできます。返信用封筒以外のインサートタイプを定形外封筒に追加する場合は、郵便物アイコンツリーでインサートを返信用封筒にする必要があります。

注：厚手のインサート（ブックレットなど）は折り加工前アキュムレーターエリアに名寄せできない可能性があるため、使用しないでください。

返信用封筒やインサートは、封筒に封入される前に折り加工前アキュムレーターの定形外セットに名寄せされます。

現時点では、ダイナミック封筒選択はバッチモードまたは排除機能では使用できません。

スキャン機能 (続き)

シート排除機能

シート排除機能では、用紙セットが指定の枚数を超えた場合、または特定のスキャンマークが含まれている場合に、用紙を下流排除ユニットに送るスキャンジョブを作成できます。

この機能は、以下の2つの方法のいずれかで実行します。

- シート排除 (DVS) スキャンマークを使用する。シート排除スキャンマークは、BCR スキャンが装備されたシステムまたは OMR スキャンのオペレーションレベルが有効なシステムで使用できます。スキャンレベルの詳細は、この章の「BCR および OMR マークのレベル」を参照してください。
- [Item Overcount Action (アイテムオーバーカウント時の処理)] に [Divert (ダイバート)] を設定する。詳細は、第3章の「ジョブの作成」またはこの章の「既存のジョブへのスキャン設定の割り当て」を参照してください。

シート排除機能を使用するジョブは、排除するセットを下流排除ユニットに送ります。残りの郵便物は処理され、外封筒に封入されて、上流排除ユニットに送られます。

注：郵便物にセットが1つだけ含まれ、そのセットが排除されている場合は、空の1枚の封筒が上部排除エリアに送られます。

現在、システムで排除できる用紙枚数は最大で25枚です。セットに26枚以上の用紙が含まれていると、システムは停止するため、手動で折り加工前アキュムレーターから用紙を取り除き、シートトレイからセットの残りの部分を取り除く必要があります。

現段階で、シート排除機能は、ダイナミック封筒選択では使用できません。



サポートされる ECC（エラー修正 コード）レベル

ほとんどのバーコードリーダーでは、バーコードの読み取りのためにバーコード内部データエンコーディングを指定する必要はありません。ただし、データマトリックスバーコードでは、内部でのエラー検知と修正がサポートされます。エラーの検知と修正のレベルは、ECC レベルと呼ばれています。

ECC を使用すると、コードが部分的に欠損している場合でも読み取りを続行できます。データマトリックスバーコードに含まれるエラー修正の量によって、バーコードのデータ容量が制限されることはありません。

HCSF では、すべての ECC レベルでデータマトリックスバーコードがサポートされます。

- 新しいアプリケーション
ECC 200（現在の業界標準）
- 従来型のアプリケーション
ECC 140
ECC 130
ECC 120
ECC 100
ECC 080
ECC 050
ECC 000

新規スキャン設定

スキャンを含むジョブを実行している場合は、以下の操作が必要となります。

- BCR や OMR のスキャン設定ワークシート、または必要なスキャンマークの一覧に類するものがある。
- ジョブの [Scan Configuration (スキャン設定)] にある各アイテムの設定値を設定画面で入力する。
- スキャン対象のアイテムをシステムが識別できるよう、ジョブに [Scan Configuration (スキャン設定)] を追加する。

BCR や OMR のスキャン設定ワークシートは、販売元またはシステムの管理者が準備する書類です。この書類には、実行中のジョブのスキャンマークに関する情報が入っています。適切な設定画面でこの情報を入力してください。

注：これらの機能を使用するには、スーパーバイザーやマネージャーによるアクセスコードまたはパスワードの入力が必要です。2つのセキュリティーモードを使用したログインの詳細は、第2章「アクセス権」を参照してください。

OMR スキャン設定のセットアップ

OMR スキャン設定のセットアップをするには、以下の手順に従います。

1. ホーム画面から、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)] の順に選択します。
2. [Configure System (システムの設定)]、[Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. [OMR] を選択します。
4. [Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] 画面が表示されます。[Create New Item (新規アイテムの作成)] を選択します。
5. 英数字マトリックスを使用して、スキャン設定の名前を入力します。
6. 入力したら [Finished (完了)] を押します。

注：スキャン設定の名前は、9文字以内で入力してください。また、設定名はすべてのスキャンタイプを通じて一意である必要があります。OMR スキャン設定と BCR スキャン設定に同じ名前を設定することはできません。

7. [Create OMR (OMR の作成)] 画面が表示されます。[Add Item (アイテムの追加)] を選択します。

OMR スキャン設定のセットアップ (続き)

8. [Add OMR Functions (OMR 機能の追加)] 画面が表示されます。画面には 2 つのリストが表示されます。[Selected Functions (選択された機能)] と [Available Functions (利用可能な機能)] です。

各マークの機能については、この章の「BCR および OMR マークのレベル」を参照してください。



【Selected (選択済み)】および【Available (使用可能)】リスト

注：追加可能なアイテムは、[Available (使用可能)] リストに表示されます。追加されたアイテムは [Selected (選択済み)] リストに表示されます。

- リスト間でアイテムを移動するには、左右の矢印キーを使用します。
- リスト内のアイテムを選択するには、上下の矢印キーを使用します。

- [Available (使用可能)] リスト内の適切なアイテムを選択して、[Add Highlighted Item (選択されたアイテムの追加)] を選択します。[Available (使用可能)] リストで選択したアイテムは、[Selected (選択済み)] リストの最後に追加されます。
 - 必要なすべてのアイテムが [Selected (選択済み)] リストに追加されるまで、手順 a を繰り返します。
 - 入力したら [Finished (完了)] を押します。
9. [Create OMR (OMR の作成)] 画面が表示されます。上下の矢印キーを使用して、[OMR Marks (OMR マーク)] リスト内のアイテムを選択します。(このリストには手順 7 で追加したアイテムが含まれます)。
10. [Set Options for Highlighted Item (選択されたアイテムのオプション設定)] を選択します。

注：表示されるオプションは、選択した機能によって異なります。

メニューオプション	関連するオプション/アクション
[Increase Count for Highlighted Item (選択されたアイテムのカウントを増やす)] (MC、WAS のみ)	機能に対するマークカウントが昇順になります。カウント数は、略語の後ろに付きます (たとえば MC1、MC2、MC3)。
[Decrease Count for Highlighted Item (選択されたアイテムのカウントを減らす)] (MC、WAS、PC、PN のみ)	機能に対するマークカウントが降順になります。カウント数は、略語の後ろに付きます (たとえば MC3、MC2、MC1)。

OMR スキャン設定のセットアップ
(続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
マーク出現	<p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンス ・ アブセンス <p>[Present (プレゼンス)] を選択した場合、マークが印刷されたときに機能が実行されます。</p> <p>[Absent (アブセンス)] を選択した場合、マーク位置が空白であるときに機能が実行されます。</p>
カウント方法 (マルチビットのみ)	<p>カウントの方法を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アップ (デフォルト) ・ ダウン ・ Random (ランダム) (MC のみ) <p>[Up (アップ)] を選択した場合、システムがページをスキャンするごとに関連するコードのバイナリ値が増加します。</p> <p>[Down (ダウン)] を選択した場合、システムがページをスキャンするごとに関連するコードのバイナリ値が減少します。</p>
制御あり	<p>選択した機能が、丁合の最後の用紙を制御するか、またはエラーチェックを表示するかを決定します。</p> <p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Yes (はい) (デフォルト) ・ No (いいえ) <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制御できる機能は 1 つのみです。[Yes (はい)] を選択すると、他の機能はすべて [No (いいえ)] になります。 ・ このオプションは、HCSF が取り付けられている場合の BOC でのみ表示されます。 ・ MC がコントロールしているときは、[PC Control (PC コントロール)] オプションは [No (いいえ)] に設定され、非アクティブになります。 ・ 閉鎖ループ型のファイルベース処理ジョブでスキャン設定を使用する場合、MC が制御を行う必要があります。このシステムでは、各ドキュメントでの MC の読み取りに基づいて、ファイルベースの処理により、インサーターに制御命令が出されるとインサーターに通知します。これは、閉鎖ループ型のスキャンコード定義として定義されます。
[Wrap At (折り返し点)] (マルチビットのみ)	<p>「折り返し点」を数字で入力する画面が表示されます。この画面で、コードの最大値を 10 進法で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カウント方向で [Up (アップ)] を選択した場合、折り返し点の値の次のコードは、0 または 1 になります。これは、[Includes Zero (ゼロを含める)] オプションの設定によって異なります。 ・ カウント方向で [Down (ダウン)] を選択した場合、0 または 1 の後に折り返し点の値にジャンプします。このフィールドには最大 7 桁までの数字を入力できます。

8・スキャン

OMR スキャン設定のセットアップ (続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
[Includes Zero (ゼロを含める)] (マルチビットのみ)	シーケンスにゼロを含めるかどうかを指定できます。 以下を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) (デフォルト) • No (いいえ) [Yes (はい)] を選択した場合、関連するコードのバイナリ値にゼロが含まれます。ただし、このゼロを示すマークがコード内に表示されることはありません。 [No (いいえ)] を選択した場合、関連するコードのバイナリ値にゼロが含まれません。従って OMR では、常にコード内にマークが印字されます。
LSB	最下位ビットを指定できます。 以下を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Last (最後)] (デフォルトで、ページの一番上から一番遠い位置) • [First (最初)] [First (最初)] を選択した場合、最下位ビットはページの一番上に一番近い位置に配置されます。 [Last (最後)] を選択した場合、最下位ビットはページの一番上から一番遠い位置に配置されます。

11. 機能に必要なオプションをすべて設定したら、[Finished (完了)] を選択します。
12. [OMR Scan Configuration Worksheet (OMR スキャン設定ワークシート)] で、他にも機能があればそのそれぞれについて手順 8~10 を繰り返します。
13. すべての機能の入力および設定が完了したら、[Finished (完了)] を選択します。

BCR スキャン設定のセットアップ

BCR スキャン設定のセットアップをするには、以下の手順に従います。

1. ホーム画面から、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)] の順に選択します。
2. [Configure System (システムの設定)]、[Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 以下のうちから、適切な BCR スキャンタイプを選択します。
 - Code 3 of 9
 - Interleaved 2 of 5
 - 2D
4. 選択したスキャンタイプに応じた [Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] 画面が表示されます。[Create New Item (新規アイテムの作成)] を選択します。
5. 英数字マトリックスを使用して、スキャン設定の名前を入力します。
6. 入力したら [Finished (完了)] を押します。

BCR スキャン設定のセットアップ
(続き)

注：スキャン設定の名前は、9文字以内で入力してください。また、設定名はすべてのスキャンタイプを通じて一意である必要があります。すなわち、BCR スキャン設定と OMR スキャン設定に同じ名前を設定することはできません。

7. [Create Scan Code (スキャンコードの作成)] 画面が表示されます。機能のキャラクタ、ビット、サイズの情報
を BCR スキャン設定ワークシートに入力します。
各マークの機能については、この章の「BCR および OMR マークのレベル」を参照してください。
- 上下および左右の矢印キーを使用して、グリッド内のアイテムを選択します。
 - [Increase (増加)] または [Decrease (減少)] を押して、特定の機能 (F) のキャラクタ (C)、ビット (B) およびサイズ (S) の情報を編集します。

F	C	B	S
MC	3	4	2
WAS	5	4	2
EOC	7	0	1
SF1	8	0	1
DVF	9	0	1

スキャングリッド

注：

- BCR スキャン設定ワークシートでは、[Function (機能)] カラムで機能の略語を探します。「C」カラムに関連するキャラクタの情報、「B」カラムにビット情報を入力し、必要に応じて「S」カラムにサイズ情報を入力します。
- ビット 0 は、各キャラクタの右端のビット (最下位ビット) です。
 - Code 3 of 9 バーコードの場合、ビットは 5、4、3、2、1、0 です。
 - Interleaved 2 of 5 バーコードの場合、ビットは 2、1、0 です。
 - 2D
- ゼロに設定されているキャラクタを含むアイテムは、最終コードには含まれません。
- マルチビットフィールドの場合、「S」列の入力値はコードのタイプによって決まります。Bin の場合、「S」はビット数です。CCD の場合、「S」は文字数です。

8. [Set Options (オプションの設定)] を選択します。下の表を使用して、必要なオプションを設定します。

注：表示されるオプションは、選択した機能によって異なります。

メニューオプション	関連するオプション/アクション
マーク出現	以下を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> プレゼンス アブセンス [Present (プレゼンス)] を選択した場合、ビットが 1 であるときに機能が実行されます。 [Absent (アブセンス)] を選択した場合、ビットが 0 であるときに機能が実行されます。

8・スキャン

BCR スキャン設定のセットアップ (続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
カウント方法	<p>カウントの方法を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> アップ (デフォルト) ダウン Random (ランダム) (MC のみ) <p>[Up (アップ)] を選択した場合、システムがページをスキャンすることに関連するコードのバイナリ値が増加します。</p> <p>[Down (ダウン)] を選択した場合、システムがページをスキャンすることに関連するコードのバイナリ値が減少します。</p>
制御あり	<p>選択した機能が、丁合の最後の用紙を制御するか、またはエラーチェックを表示するかを決定します。</p> <p>以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Yes (はい)] (デフォルトは EOC 制御) No (いいえ) <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御できる機能は 1 つのみです。[Yes (はい)] を選択すると、他の機能はすべて [No (いいえ)] になります。 閉鎖ループ型のファイルベース処理ジョブでスキャン設定を使用する場合、MC が制御を行う必要があります。このシステムでは、各ドキュメントでの MC の読み取りに基づいて、ファイルベースの処理により、インサーターに制御命令が出されるとインサーターに通知します。これは、閉鎖ループ型のスキャンコード定義として定義されます。
コードベース	<p>コードベースの数値を指定できます。最小値は 2 で、最大値は 43 です。初期設定値は 32 です。</p> <p>複数のキャラクタを含むコードの場合、コードベースによって、各キャラクタがゼロにセットされる値や次のキャラクタを判定する値が設定されます。</p>
コードタイプ	<p>以下のうちから、適切なコードタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> BIN (多くのシングルビット機能向け) CCD (多くのマルチビット機能向け) XCD (最小コードサイズでこのタイプを選択すると、マルチビットフィールドに部分キャラクタを含むことができます。) <p>これらのコードタイプは、昇順または降順の連続する数字であることが前提となります。システムは最大値までカウントアップして定義された最大値で折り返すか、1 または 0 までカウントダウンして定義された最大値に移動します。</p> <p>BIN は、連続したバイナリ文字列です。すべてのビットが割り当てられるまで、バーコードのスタートビット位置に置かれます。</p> <p>CCD は、ユーザーの可読性を考慮した文字境界に整列する文字列ベースのフィールドです。最大値は 43 より小さい値でなければなりません。Code 3 of 9 バーコードで推奨される値は、10、32、36 です。Interleaved 2 of 5 バーコードの場合、ベースナンバーは 10 です。</p> <p>XCD は、人が判読できない形式ですが、最小のコードサイズを実現します。マルチビットフィールドでは、複数の部分キャラクタに対応することができます。</p>

BCR スキャン設定のセットアップ
(続き)

メニューオプション	関連するオプション/アクション
折り返し点	<p>「折り返し点」を数字で入力する画面が表示されます。この画面で、コードの最大値を 10 進法で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カウント方向で [Up (アップ)] を選択した場合、折り返し点の値の次のコードは、0 または 1 になります。これは、[Includes Zero (ゼロを含める)] オプションの設定によって異なります。 • カウント方向で [Down (ダウン)] を選択した場合、0 または 1 の後に折り返し点の値にジャンプします。 <p>このフィールドには最大 10 桁までの数字を入力できます。</p>
ゼロを含める	<p>シーケンスにゼロを含めるかどうかを指定できます。以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) (デフォルト) • No (いいえ) <p>[Yes (はい)] を選択した場合、関連するコードのバイナリ値にゼロが含まれます。ただし、このゼロを示すマークがコード内に表示されることはありません。</p> <p>[No (いいえ)] を選択した場合、関連するコードのバイナリ値にゼロが含まれません。</p>
LSB	<p>最下位ビットを指定できます。以下を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Last (最後)] (デフォルトで、コードから一番遠い位置) • [First (最初)] <p>[Last (最後)] を選択した場合、コードは標準のビット順序で構成されます。このとき、最下位ビットは文字列の一番右端に配置されます。</p> <p>[First (最初)] を選択した場合、コードは逆のビット順序で構成されます。これは非常に稀なケースです。</p>

- 機能に必要なオプションをすべて設定したら、[Finished (完了)] を選択します。
- [BCR Scan Configuration Worksheet. (BCR スキャン設定ワークシート)] で、他にも機能があればそのそれぞれについて手順 6~8 を繰り返します。
- [Scan Mark (スキャンマーク)] を選択し、[BCR Scan Configuration Worksheet (BCR スキャン設定ワークシート)] に従って、マークの方向 (ラダーまたはピケット) を切り替えます。

注: 「ピケット」の方向は、このオプションに対応している HCSF が取り付けられている場合のみ有効です。

- [PC Control (PC コントロール)] を選択して、オプション (はい/いいえ) を切り替えます。

注: [PC Control (PC コントロール)] が [Yes (はい)] に設定されている場合、スキヤングリッドは淡色表示になります。また、[Increase (増加)]、[Decrease (減少)]、および [Set Options (オプションの設定)] のメニュー項目も使用不可になります。

- すべての機能の入力および設定が完了したら、[Finished (完了)] を選択します。

スキャン設定の編集

OMR スキャン設定の編集

OMR スキャン設定を編集するには、以下の手順に従います。

1. ホーム画面から、**【Menu（メニュー）】**、**【Tools（ツール）】**の順に選択します。
2. **【Configure System（システムの設定）】**、**【Scan Configuration Setup（スキャンセットアップ）】**の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、編集するスキャン設定を選択します。
5. **【Edit Highlighted Item（選択されたアイテムの編集）】**を選択します。
6. 画面に、選択したスキャン設定のファンクションリストが表示されます。以下の操作を実行できます。

メニューオプション	関連するオプション／アクション
アイテムの追加	<p>選択したスキャン設定にマークを追加できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 【Available（使用可能）】 リスト内の適切なアイテムを選択して、【Add Highlighted Item（選択されたアイテムの追加）】を選択します。【Available（使用可能）】 リストで選択したアイテムは、【Selected（選択済み）】 リストの最後に追加されます。 b. 必要なすべてのアイテムが【Selected（選択済み）】 リストに追加されるまで、手順 a を繰り返します。 c. 終了したら【Accept（確定）】を押します。 <p>マークを追加したら、適切なオプションを設定したことを確認します。詳細については、本章の「OMR スキャン設定のセットアップ」セクションにあるオプション設定の表を参照してください。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 追加可能なアイテムは、【Available（使用可能）】 リストに表示されます。追加されたアイテムは【Selected（選択済み）】 リストに表示されます。 • リスト間でアイテムを移動するには、左右の矢印キーを使用します。リスト内でアイテムを移動するには、上下の矢印キーを使用します。
選択されたアイテムの削除	<p>選択したスキャン設定からマークを削除できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 上下の矢印キーを使用して、機能リスト内の適切なマークを選択します。 b. 【Delete Highlighted Item（選択されたアイテムの削除）】を選択します。 c. 【Yes, Delete Item（はい（アイテムを削除する））】を選択します。
選択されたアイテムを上に移動	機能リスト内の選択されたマークを上に移動できます。
選択されたアイテムを下に移動	機能リスト内の選択されたマークを下に移動できます。
オプションの設定	選択されたマークのオプションを編集できます。詳細については、本章の「OMR スキャン設定のセットアップ」セクションにあるオプション設定の表を参照してください。

7. 入力したら**【Finished（完了）】**を選択します。

BCR スキャン 設定の編集

BCR スキャン設定を編集するには、以下の手順に従います。

1. ホーム画面から、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)] の順に選択します。
2. [Configure System (システムの設定)]、[Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、編集するスキャン設定を選択します。
5. [Edit Highlighted Item (選択されたアイテムの編集)] を選択します。
6. 選択したスキャン設定で使用可能な BCR 機能を含むスキニンググリッドが画面に表示されます。以下の操作を実行できます。

メニューオプション	関連するオプション/アクション
増加	機能の選択したキャラクタ、ビットまたはサイズを増やすことができます。 a. 上下左右の矢印キーを使用して、グリッド内のキャラクタ (C)、ビット (B) またはサイズ (S) を選択します。 b. [Increase (増加)] を押して、選択されたアイテムの情報を編集します。
減少	機能の選択したキャラクタ、ビットまたはサイズを減らすことができます。 a. 上下左右の矢印キーを使用して、グリッド内のキャラクタ (C)、ビット (B) またはサイズ (S) を選択します。 b. [Decrease (減少)] を押して、選択されたアイテムの情報を編集します。
オプションの設定	選択されたマークのオプションを編集できます。詳細は、本章の「BCR スキャン設定のセットアップ」セクションにある「オプション設定」の表を参照してください。
スキャンマーク	次のうちから適切なマークの向きを選んで切り替えることができます。 • ラダー • ピケット
PC コントロール	以下のいずれかを選択して、PC コントロールを使用するかどうかを切り替えます。 • Yes (はい) • No (いいえ)

7. 入力したら [Finished (完了)] を選択します。

スキャン設定のコピー

必要に応じて、選択したスキャン設定のコピーを新しい名前で保存できます。この機能では常に、現在のスキャン設定を、別の名前の新しいスキャン設定として保存します。

注：

- 保存されたスキャン設定が最大数の 24 件に達している場合、**【Copy Highlighted Item (選択されたアイテムのコピー)】** オプションは使用できません。
- 使用されるスキャンタイプはコピー前の設定と同じです。

1. ホーム画面から、**【Menu (メニュー)】**、**【Tools (ツール)】** の順に選択します。
2. **【Configure System (システムの設定)】**、**【Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)】** の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、コピーするスキャン設定を選択します。
5. **【Copy Highlighted Item (選択されたアイテムのコピー)】** を選択します。
6. **【Save Scan Configuration As (スキャン設定を別名で保存)】** 画面が表示されます。新しいスキャン設定の名前を、英数字マトリックスを使用して入力します。
7. 入力したら **【Finished (完了)】** を選択します。

スキャン設定の削除

必要に応じて、システムからスキャン設定を削除することができます。ただし、ライブラリのスキャン設定である場合、ライブラリジョブと関連する場合、または保存済みジョブによって使用されている場合はスキャン設定を削除できません。

注：特定のスキャン設定を使用しているジョブを確認するには、ジョブリストを表示します。詳細は、この章の「ジョブリストの表示」を参照してください。ジョブの編集機能を使用して、保存済みジョブとジョブリストに表示されたジョブとの関連を削除し、そのスキャン設定を削除することができます。詳細は、第3章「ジョブの編集」を参照してください。

1. ホーム画面から、**【Menu (メニュー)】**、**【Tools (ツール)】** の順に選択します。
2. **【Configure System (システムの設定)】**、**【Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)】** の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインする必要があります。アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、削除するスキャン設定を選択します。
5. **【Delete Highlighted Item (選択されたアイテムの削除)】** を選択します。
6. 以下のいずれかの状態になります。
 - スキャン設定が削除の条件に一致すれば、「Confirm Delete (削除の確認)」メッセージが表示されます。**【Yes, Delete Item (はい (アイテムを削除する))】** を選択します。

注：削除されたスキャン設定は、この画面で **【Cancel (キャンセル)】** を押しても元に戻りません。

- スキャン設定が削除の条件に一致しない場合は、**【Cannot Delete Scan Configuration (スキャン設定を削除できません)】** というダイアログが表示されます。ここで **【Close (閉じる)】** を選択します。

スキャン設定の確認

必要に応じて、編集モードに切り替えなくても、スキャン設定に関連するマークのリストを表示することができます。

注：このオプションは、[PC Control (PC コントロール)] が [No (いいえ)] に設定されているときのみ使用可能です。

1. ホーム画面から、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)] の順に選択します。
2. [Configure System (システムの設定)]、[Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、確認するスキャン設定を選択します。
5. [Review Highlighted Item (選択されたアイテムの確認)] を選択します。
6. [Review Scan Code (スキャンコードの確認)] 画面が表示されます。設定に関連するマークが、[Function (機能)] リストに表示されます。上下の矢印キーを使用して、確認する機能を選択します。
7. リストを確認したら [Finished (完了)] を選択します。

ジョブリストの表示

選択されたスキャン設定に関連するジョブを表示できます。

注：選択したスキャン設定に関連するジョブが存在しない場合、このオプションは使用できません。

1. ホーム画面から、[Menu (メニュー)]、[Tools (ツール)] の順に選択します。
2. [Configure System (システムの設定)]、[Scan Configuration Setup (スキャンセットアップ)] の順に選択します。

注：スーパーバイザーまたはマネージャーのアクセス権でログインしていない場合は、アクセスコードの入力を要求するメッセージが表示されます。

3. 適切なスキャンタイプを選択します。
4. 選択したスキャンタイプのスキャン設定が表示されます。上下の矢印キーを使用して、表示するジョブリストのスキャン設定を選択します。
5. [View Job List for Highlighted Item (選択されたアイテムのジョブリストの表示)] を選択します。
6. [View Job List (ジョブリストの表示)] 画面が表示されます。上下の矢印キーを使用して、ジョブリストをスクロールします。
7. [Scan Configuration (スキャン設定)] 画面に戻るには、[Cancel (キャンセル)] を選択します。

既存のジョブへのスキャン設定の割り当て

このセクションの手順に従って、以前作成した既存のジョブ（現在のジョブまたは別のジョブ）にスキャン設定を割り当てます。

1. ホーム画面で **[Menu (メニュー)]**、**[Job (ジョブ)]** を順に選択してから、次のいずれかを選択します。
 - **[Edit Current Job (現在のジョブを編集)]**
 - **[Select Job (ジョブの選択)]** で表示されたリストから適切なジョブを選択
2. スキャン設定でダイナミック封筒選択を使用する場合は、既存のジョブに2番目の外封筒を指定する必要があります。封筒を追加するには、以下の手順に従います。
 - a. **[Add Outer Envelope (外封筒の追加)]** を選択します。
 - b. 次のオプションから該当するものを選択します。
 - c. 終了したら **[Accept (適用)]** を選択します。
3. 上下の矢印キーを使用して、郵便物アイコンツリー内の適切なアイテム（シートまたはインサート）を選択します。
4. **[Edit Highlighted Item (選択されたアイテムの編集)]** を選択します。
5. **[Additional Settings (詳細設定)]** を選択します。
6. **[Scan Item (スキャンアイテム)]** を選択して **[Yes (はい)]** を選択します。
7. **[Scan Configuration (スキャン設定)]** を選択します。
8. **[Select Scan Type (スキャンタイプの選択)]** 画面が表示されます。該当するスキャンタイプ（OMR コード、Code 3 of 9、または Interleaved 2 of 5）を選択します。
9. 表示リストから、適切なスキャン設定の名前を選択します。必要に応じて、**[Next (次へ)]** または **[Previous (前へ)]** を選択してリストを前後に移動します。
10. **[Scan Configuration (スキャン設定)]** 画面が表示されます。

メニュー オプション	関連するオプション/アクション
マークに沿ったコンテンツ	以下のいずれかを選択して、フィード指定を行うスキャンマーク上にコンテンツがあるかどうかを切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) • No (いいえ)
マークあり	以下のいずれかを選択して、ページのどちら側にマークを表示するかを切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 表（アドレスが記されている側） • 裏
最初のページのみマークあり	以下のいずれかを選択して、複数の用紙の最初のページのみにマークを表示するかどうかを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) • No (いいえ)

既存のジョブへのスキャン設定の割り当て
(続き)

メニュー オプション	関連するオプション/アクション
<p>マーク位置設定</p> <p>注：[Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] が [No (いいえ)] に設定されていて、かつスキャン設定に最初と最後のマークが固定された複数のマークが含まれている場合、このオプションは無効です。</p>	<p>OMR マークに関連した各種の計測値を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Top of Page to First Mark (ページの前端から最初のマークまで)] は、ページの一番上から最初のマークまでの距離を表します。 • [Total Length of Marks (マーク全体の長さ)] は、最初のマークの一番上から最後のマークの一番下までの長さを表します。 • [Top of Page to Clear Zone (ページの前端からクリアゾーンまで)] は、ページの一番上からクリアゾーンの先頭までの距離を表します。 • [Length of Clear Zone (クリアゾーンの長さ)] は、クリアゾーンの一番上から最初のマークまでの距離を表します。 <p>マークに関連するさまざまな寸法を入力するには、以下の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> オプションを選択し、上下の矢印キーを使用して該当の計測値をミリメートルで入力します。 計測値の入力が終了したら、[Accept (確定)] を押します。 すべての計測値を入力したら、[Accept (確定)] を選択して [Scan Configuration (スキャン設定)] 画面に戻ります。 <p>注：上記の計測値を決定する方法については、この章の「OMR の仕様」を参照してください。</p>
<p>超過アイテム数</p>	<p>通常は送ることのできないアイテム数量を選択できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 上下の矢印キーを使用して、超過アイテム数の数量を入力します。 終了したら [Accept (適用)] を選択します。 <p>注：この時点では、スキャンしたインサートを 1 つだけ各郵便物に追加できます。スキャンするインサートは返信用封筒にする必要があります。</p>
<p>アイテム数超過時のアクション</p>	<p>超過アイテム数を超えたアイテムに対して実行する処理を指定できます。選択肢は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Divert (ダイバート)] : スキャン設定にシート排除 (DVS) スキャンマークの指定がない場合、超過アイテム数を超えたときにアイテムを排除するには、このオプションを選択します。 • [Stop (停止)] : 超過アイテム数を超えたときにアイテムの処理を停止する場合は、このオプションを選択します。 • [Use Alternate Envelope (代替封筒の使用)] : スキャン設定に封筒選択 (ES) スキャンマークの指定がない場合、超過アイテム数を超えたアイテムに代替封筒を使用するには、このオプションを選択します。 <p>ダイナミック封筒選択およびシート排除機能の詳細は、この章の「スキャン機能」を参照してください。</p>

既存のジョブへのスキャン設定の割り当て (続き)

11. スキャン設定を入力したら、**【Accept (確定)】** を選択してシートまたはインサートの設定画面に戻ります。
12. **【Select Feed Setting (選択フィード設定)】** を選択して、アイテムに適したフィーダー設定 (なし、SF1、SF2、SF3、SF4、SF5、SF6、SF7、SF8 または SF9) を選択します。
13. 終了したら、次のことを行います。
 - **【Accept (確定)】** を押して、システムの設定画面からホーム画面に戻ります。設定が保存されます。
または
 - **【HOME (ホーム)】** を押して、調整内容を保存し、直接ホーム画面に戻ります。

スキャンヘッドの調整

システムの管理者または販売元によるスキャン設定が終了したら、マークを読み取るスキャンヘッドを適切に調整し、配置します。これは、バーコードまたは OMR の性能を最大限に引き出すための鍵となります。

スキャンヘッドは、フィーダータワーまたは HCSF (取り付けられている場合) にあります。いずれの場所にも 2 つのスキャンヘッドがあります。これにより、マークが用紙のどこにあっても、システムでマークを読み取ることが可能です。

また、セット内の複数の用紙にマークを付けることもできます。複数の用紙が同じスキャンヘッドを使用する場合は、各用紙のマークが同じ位置でスキャンヘッドを通過するよう向きを揃える必要があります。

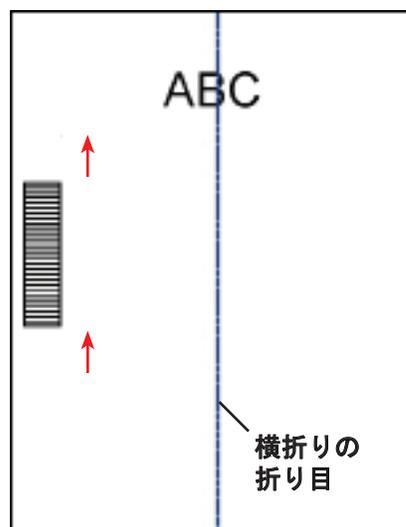
両方のスキャンヘッドを使用する場合は、エラーが発生しないように各スキャンヘッドの間を最低 20 mm (0.787 インチ) は空けておく必要があります。

重要: スキャンヘッドで正しくマークを読み取るためには、サイドガイドを正しく設定してください。また、スキャンヘッドとマークの位置を適切に調整するため、マテリアルは元の位置にスタックとしてセットされなければなりません。詳細は、本書の第 3 章「トレイへマテリアルをセットする」を参照してください。

ラダーまたは 2D 方向マーク用のスキャンヘッドの調整

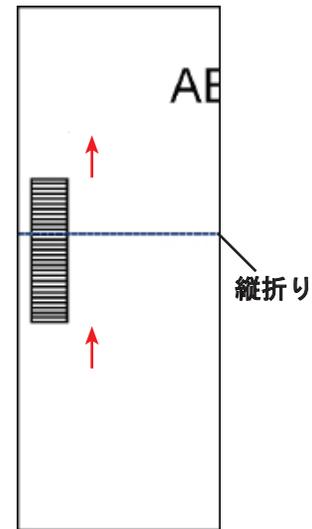
スキャンヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. スキャンするシートを 1 枚 (マークのある側を上にして) 横折りにします。
2. マークの上と下に 1 本ずつ、シートの最上部に向けて矢印を 2 本描きます。



ラダーまたは 2D
方向マーク用のス
キャンヘッドの調
整（続き）

3. シートを縦折りにします。するとバーコードが折り目の両側に見えます。
4. メイン搬送デッキカバーを開けます。ルーラーを使用して、用紙の中心（ルーラーの 0 目盛り）からマークの中心までの距離を計測します。
5. 積載手順を参照して、以下の項目を決定します。
 - このシートでのスキャンヘッド位置（左または右）
 - シートのフィード方向（トップエッジから、またはボトムエッジから）



6. タワーのカバーを開きます。
 - スキャナーがフィーダータワーにある場合（フィーダー A、B、C、D）はフィーダータワーのカバーを開きます
 - スキャナーが HCSF（大容量シートフィーダー J、K、L、M）にある場合、HCSF タワーのカバーを開きます

ヒント：

- フィーダータワーの左側のフィーダートレイを取り外すと、HCSF タワーのカバーが開けやすくなります。
- HCSF が 2 つある場合は、1 つ目の HCSF タワーがあるために、2 つ目の HCSF タワー（奥）のカバーが開けにくくなります。最高の結果を得るために、2 つ目のタワーのスキャンヘッドの調整は十分に明るい場所で行ってください。

7. スキャンヘッドを動かす方向（ルーラーの 0 目盛りから左方向または右方向）を決定します。
 - シートの中心（横折り線）が、機器の中心と一列に並んでいる（ルーラーの 0 目盛り）ことを確認します。
 - シートがトップエッジを最初にフィードするようにセットされている場合は、矢印が下を指していることを確認します。
 - シートがボトムエッジを最初にフィードするようにセットされている場合は、矢印が上を指していることを確認します。

8・スキャン

ラダーまたは 2D 方向マーク用のス キャンヘッドの調 整（続き）

8. 青いサムホイールを使用してスキャンヘッドを動かします。プリンターが手順 7 で計測した距離（用紙の中心からマークの中心までの距離）にくるまでサムホイールを動かします。

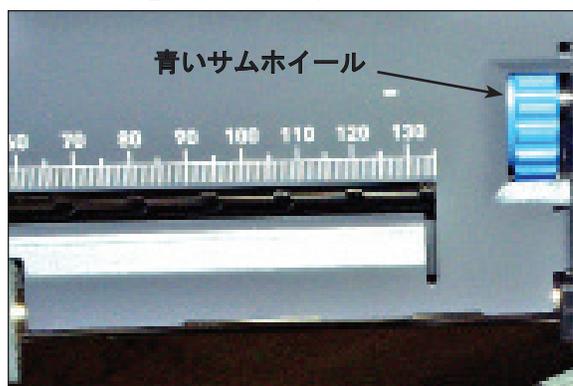


図 8.1：青いサムホイールを使用してスキャンヘッド位置を調整する

注：お使いのシステムのスキャン部分は外観が異なるかもしれませんが、操作の概念は同じです。

ポインター手順 4 で計測した距離にくるまでサムホイールを動かします。

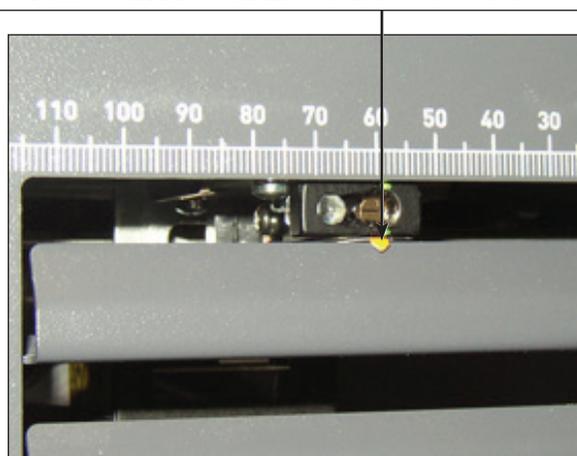


図 8.2：ポインターを使用して正しいスキャンヘッド位置を確認する

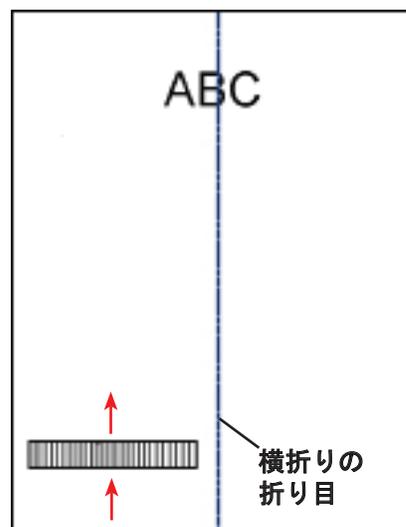
注：お使いのシステムのスキャン部分は外観が異なるかもしれませんが、操作の概念は同じです。

9. 追加のスキャンヘッドを使用する場合は、スキャンヘッドごとに手順 1～8 を繰り返します。
10. 調整が正しいことを確認するには、以下の手順に従います。
 - a. ホーム画面で **[Loading Instructions and Pre-Run Adjustments (用紙の積載手順／実行前の調整)]**、**[Scanner Setup (スキャナーの設定)]** の順に選択します。
 - b. 上下の矢印キーを使用して、実行するフィーダーを選択します。
 - c. **[Trial Piece (トライアル)]** を押して、強調表示されたフィーダーから用紙をフィードします。
 - d. 終了したら、**[Finished (完了)]** を選択します。

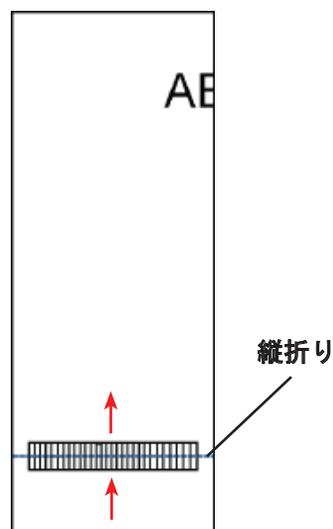
ピケット方向マーク用のスキャンヘッドの調整

スキャンヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. スキャンするシートを1枚（マークのある側を上にして）横折りにします。
2. マークの上と下に1本ずつ、シートの最上部に向けて矢印を2本描きます。



3. シートを縦折りにします。するとバーコードが折り目の両側に見えます。
4. メイン搬送デッキカバーを開けます。ルーラーを使用して、用紙の中心（ルーラーの0目盛り）からマークの中心までの距離を計測します。
5. 積載手順を参照して、以下の項目を決定します。
 - このシートでのスキャンヘッド位置（左または右）
 - シートのフィード方向（トップエッジから、またはボトムエッジから）
6. HCSF タワーのカバーを開きます。



ヒント：

- フィーダータワーの左側のフィーダートレイを取り外すと、HCSF タワーのカバーが開けやすくなります。
- HCSF が2つある場合は、1つ目のHCSFタワーがあるために、2つ目のHCSFタワー（奥）のカバーが開けにくくなります。最高の結果を得るために、2つ目のタワーのスキャンヘッドの調整は十分に明るい場所で行ってください。

8・スキャン

ピケット方向マーク用のスキャンヘッドの調整 (続き)

7. スキャンヘッドを動かす方向（ルーラーの0目盛りから左方向または右方向）を決定します。
 - シートの中心（横折り線）が、機器の中心と一列に並んでいる（ルーラーの0目盛り）ことを確認します。
 - シートがトップエッジを最初にフィードするようにセットされている場合は、矢印が下を指していることを確認します。
 - シートがボトムエッジを最初にフィードするようにセットされている場合は、矢印が上を指していることを確認します。
8. 青いサムホイールを使用してスキャンヘッドを動かします。

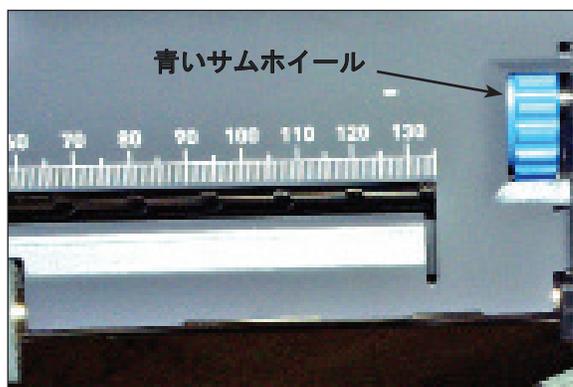


図 8.3 : 青いサムホイールを使用してスキャンヘッド位置を調整する

注：お使いのシステムのスキャン部分は外観が異なるかもしれませんが、操作の概念は同じです。

プリンターが手順7で計測した距離（用紙の中心からマークの中心までの距離）にくるまでサムホイールを動かします。

9. 追加のスキャンヘッドを使用する場合は、スキャンヘッドごとに手順1~8を繰り返します。

ポインター手順4で計測した距離にくるまでサムホイールを動かします。



図 8.4 : ポインターを使用して正しいスキャンヘッド位置を確認する

10. 調整が正しいことを確認するには、以下の手順に従います。
 - a. ホーム画面で **【Loading Instructions and Pre-Run Adjustments (用紙の積載手順／実行前の調整)】**、**【Scanner Setup (スキャナーの設定)】** の順に選択します。
 - b. 上下の矢印キーを使用して、実行するフィーダーを選択します。
 - c. **【Trial Piece (トライアル)】** を押して、強調表示されたフィーダーから用紙をフィードします。
 - d. 終了したら、**【Finished (完了)】** を選択します。

OMR の仕様

- ラインを最適に識別するには、白い領域と黒い領域の比率を 5 対 1 に維持します。これは、ライン間の間隔をライン幅の少なくとも 6 倍にして、最大許容ライン密度を 0.635 mm (0.025 インチ) に制限することを意味しています。
- マークは 4 文字または 5 文字のアンダースコア文字 (____) として行に印刷できます。この場合、印刷行あたり 1 個のマークになります。マークを生成するもう 1 つの方法は、目的の位置で画像コマンドを使用して、最低 10 mm のラインを描画することです。
- 使用するマークの位置はすべて集合体になっている必要があります。ページの先頭に 1 つのマークを配置し、ページの末尾にもう 1 つのマークを配置することはできません。
- OMR マークは、次のページに示されている白い領域内のどこでも表示できます。OMR マークは通常、用紙の端またはアドレスブロックの端に沿った場所にあります。
- OMR マークは、太さが 0.254 mm (0.002 インチまたは 1 pt) ~1.25 mm (0.05 インチまたは 3.54 pt)、幅が最低でも 10.16 mm (0.4 インチ) の黒の実線でなければなりません。
細すぎ : 0.127 mm (0.5 ポイント) _____
最小 : 0.254 mm (1 ポイント) _____
最大 : 1.25 mm (3.54 ポイント) _____ } 使用可能な太さの範囲

注：スキャン方法により、上の例は実物とは異なりますが、OMR マークに使用できる太さと使用できない太さとの違いは確認できます。

- 各マークの位置は、3.175 mm (0.125 インチ) 以上、4.2 mm (0.167 インチ) 以下で等間隔になるようにする必要があります。
- コード内で使用できるマーク位置の最大数は、無視されるマークも含め 19 です。OMR コードの全体の長さは、89 mm (3.5 インチ) 以下である必要があります。
- HCSF の場合：各マークのセンターラインは、シートのセンターラインから 32 mm (1.25 インチ) ~105 mm (4.125 インチ) の範囲内でなければなりません。
- フィーダータワーの場合：各マークのセンターラインは、シートのセンターラインから 20 mm (0.787 インチ) ~125 mm (4.92 インチ) の範囲内でなければなりません。
- 各 OMR マークの最初のバーは、シートの前端から 20 mm (79 インチ) 以上離れている必要があります。各 OMR マークの最後のバーは、用紙の後端から 20 mm (79 インチ) 以上離れている必要があります。

注：現状で、最適な結果を得るには、OMR マークはシートの後端から 45 mm (1.77 インチ) 以上離れている必要があります。

- マーク周辺の領域には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷などが無いようにしてください。このエリアを、クリアゾーンと呼びます。各マークの両側から 3 mm (12 インチ) 以上、最初のマークと最後のマークからそれぞれ 9 mm (38 インチ) 以上の領域をクリアゾーンにしてください。

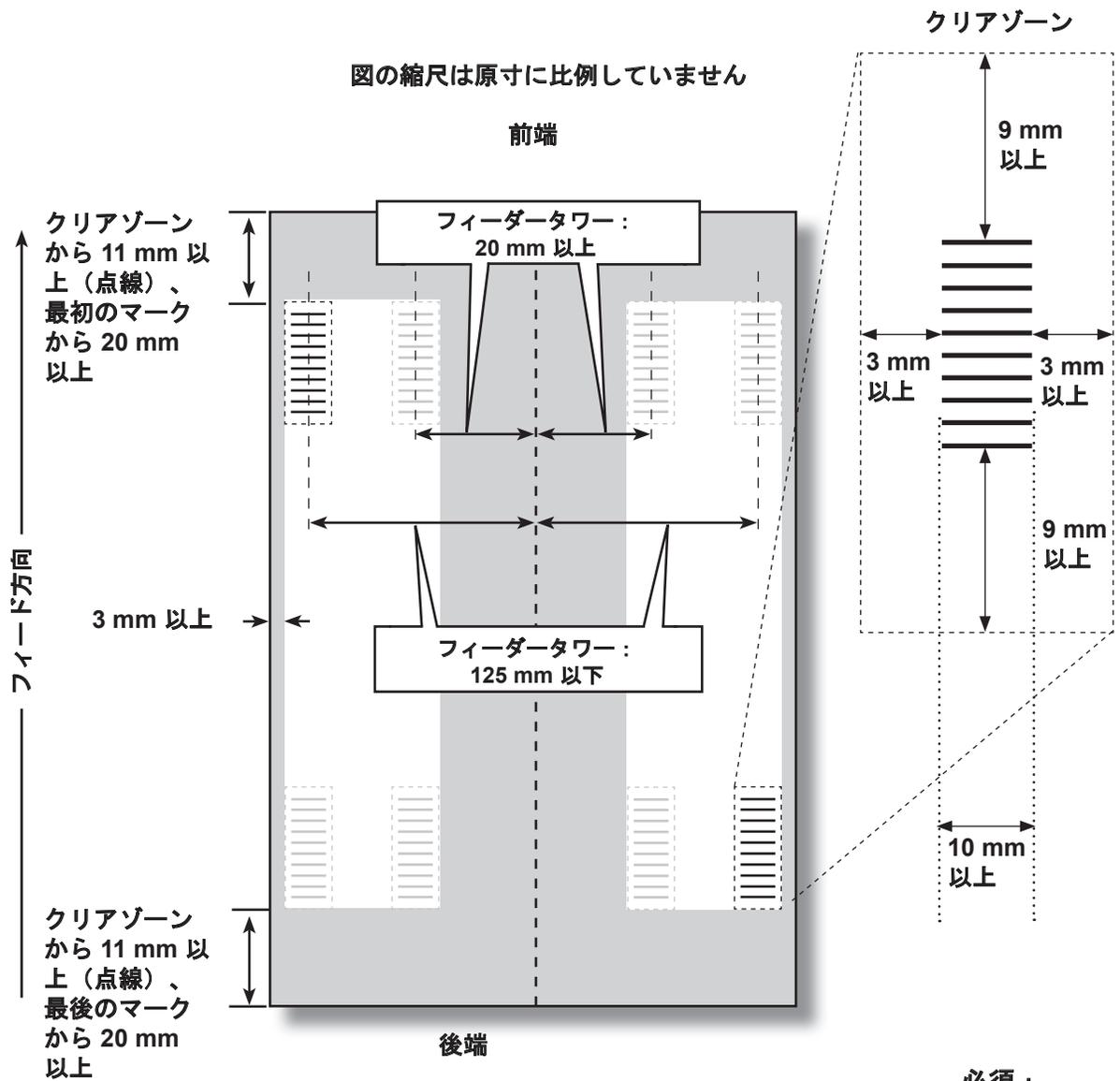
注：システムでは、クリアゾーンの寸法はミリメートル単位でのみ設定できます。

- シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。

8・スキャン

OMR の印刷と 配置の仕様

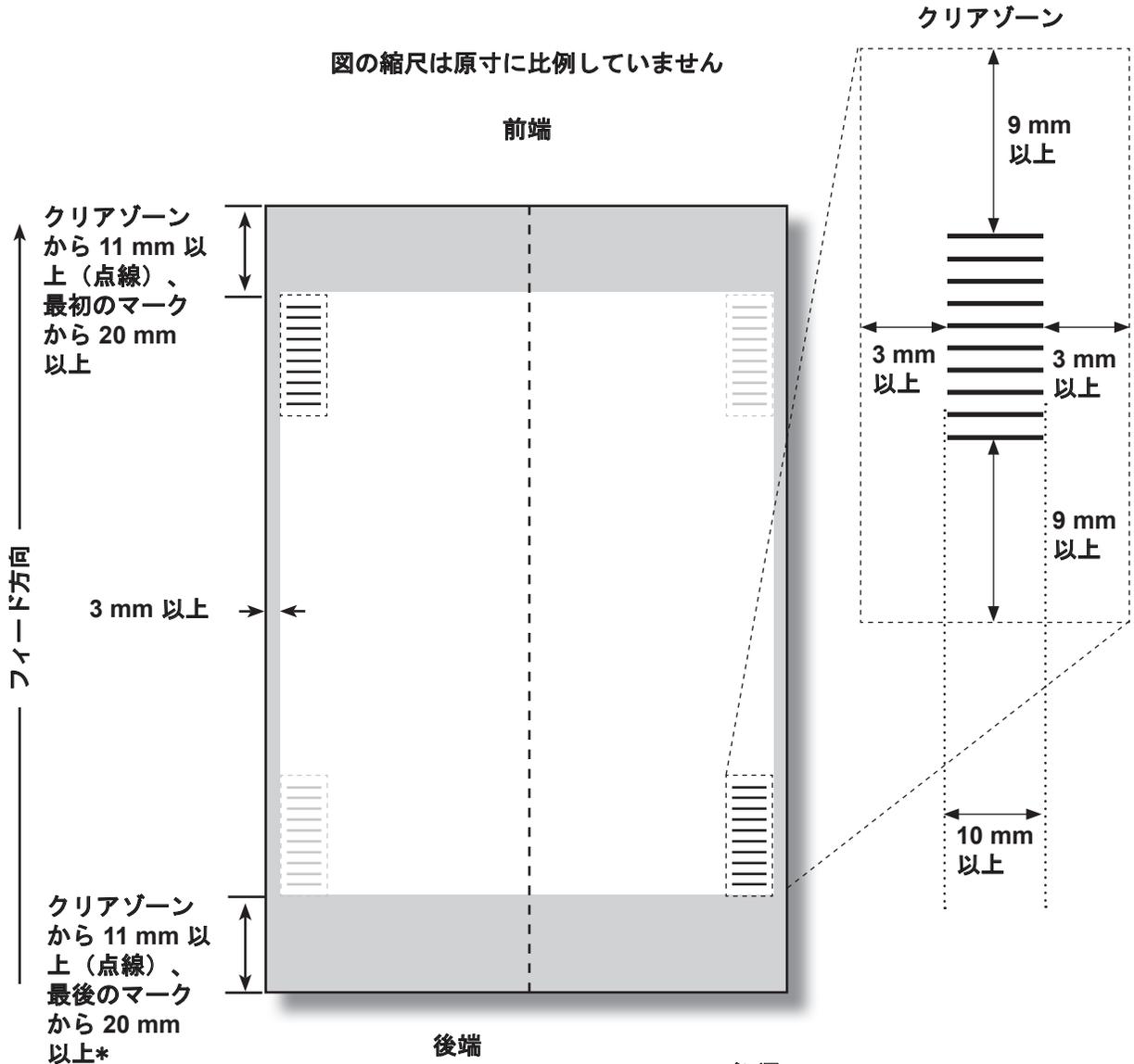
フィーダータワー 向け OMR の配置の仕様 (ラダー方向)



必須：
F7TB タワー
スキャン

OMR の印刷と
配置の仕様

HCSF 向け OMR の配置の仕様
(新しいスキャンキット F790250 - ラダー方向)



必須：
F7HD スキャナー
F790250 スキャナー設置キット

*本書の執筆時点では、スキャンの問題を避けるために、文書の後端から 45 mm 以内にあるスキャンコードを最初に検証することをお勧めします。

制御機能として BOC を含むスキャンコードは、ドキュメントの前端から 1/3 内に配置する必要があります。

バーコードの仕様

- Code 3 of 9 および Interleaved 2 of 5 (12 of 5) がサポートされます。Extended Code 3 of 9 は使用できません。12 of 5 など、開始キャラクタ／停止キャラクタや、内部整合性機能を持たないバーコードのコードでは、チェックサムバイトを使用する必要があります。
- Code 3 of 9 の場合、最大長は 12 文字です（開始と停止を含めて 14 文字）。12 of 5 の場合は、最大長が 18 文字になります。
- バーコードは、次のページに示されている白い領域内のどこでも表示できます。バーコードは通常、シートの端またはアドレスブロックの端に沿った場所にあります。
- バーコードは全ページに印刷する必要があります。ページの表（アドレスが記されている側）と裏のどちらでも印刷できます。
- スキャンする全情報を 1 つのバーコードに含める必要があります。
- マルチビット機能の場合、ビットまたはキャラクタは隣接している（連続している）必要があります。
- バーコードラインは 10 mm (3/8 インチ) 以上の長さにする必要があります。スキャナーの位置の重要性が低くなるため、長いほど精度は高くなります。
- 最大コード長：89 mm (3.5 インチ)
- HCSF の場合：各バーコードのセンターラインは、シートのセンターラインから 32 mm (1.25 インチ) ~105 mm (4.125 インチ) の範囲内であればなりません。
- フィーダータワーの場合：各バーコードのセンターラインは、シートのセンターラインから 20 mm (0.787 インチ) ~125 mm (4.92 インチ) の範囲内であればなりません。
- 2D バーコードは、シートの前端または後端から 20 mm (0.79 インチ) 以上離れている必要があります。

注：現状で、最適な結果を得るには、バーコードはシートの後端から 45 mm (1.77 インチ) 以上離れている必要があります。

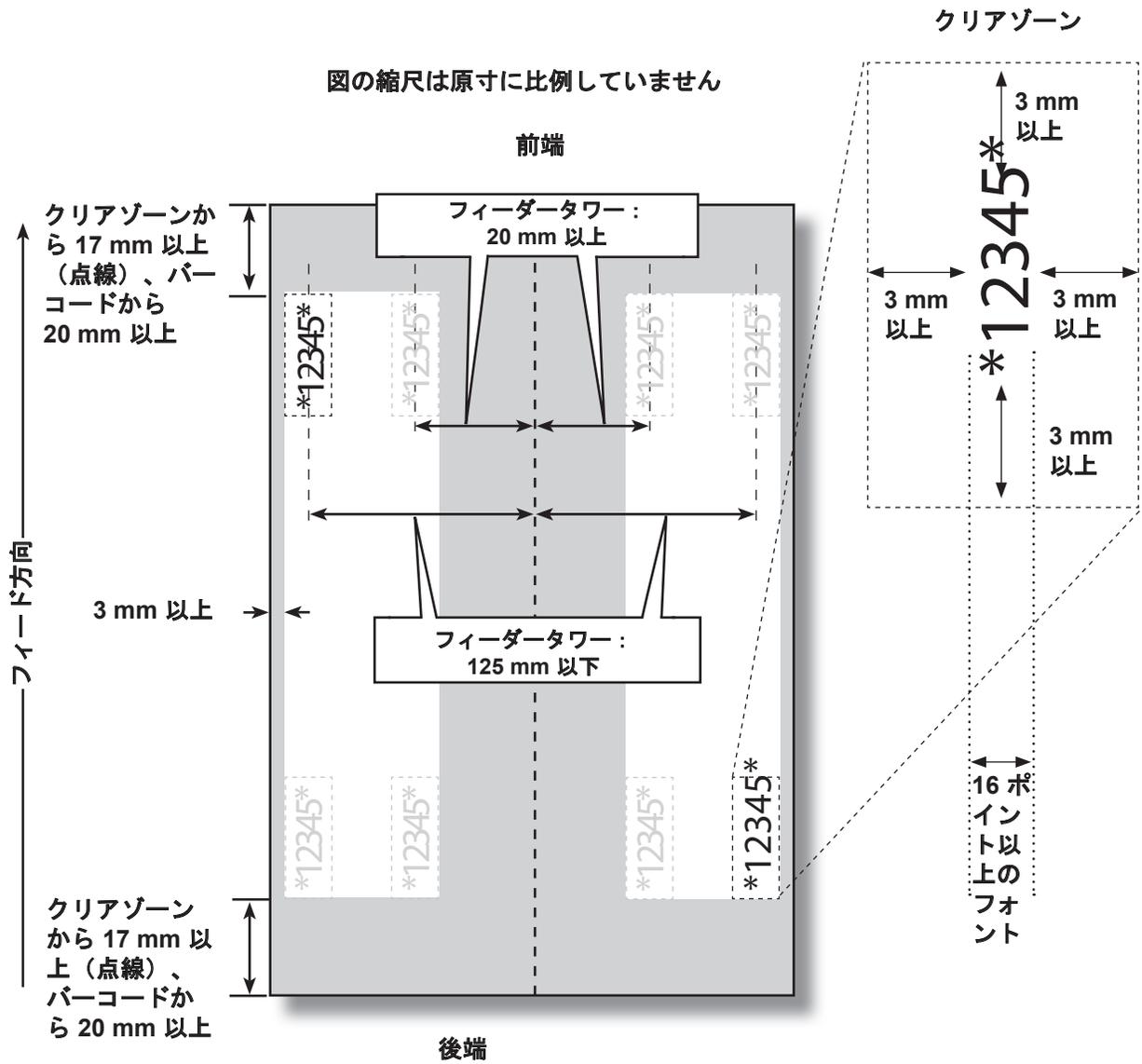
- バーコード周辺の領域には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷などがないようにしてください。このエリアを、クリアゾーンと呼びます。バーコードの各辺には、クリアゾーンを 3 mm (0.12 インチ) 以上割り当てる必要があります。

注：システムでは、クリアゾーンの寸法はミリメートル単位でのみ設定できます。

- シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。
- 細いバーの幅は、厚さ 0.275~0.635 mm (これらの値を含む) にする必要があります。
- 細い空白の幅は細いバーの幅と同じにする必要があります。幅が狭い要素と広い要素の比率は、3 対 1 にする必要があります。
- ピケットバーコードでは、HCSF とムービングビームスキャナーのオプションが必要です。

バーコードの印刷と配置の仕様

フィーダータワー向け 1D バーコードの配置の仕様
(ラダー方向)

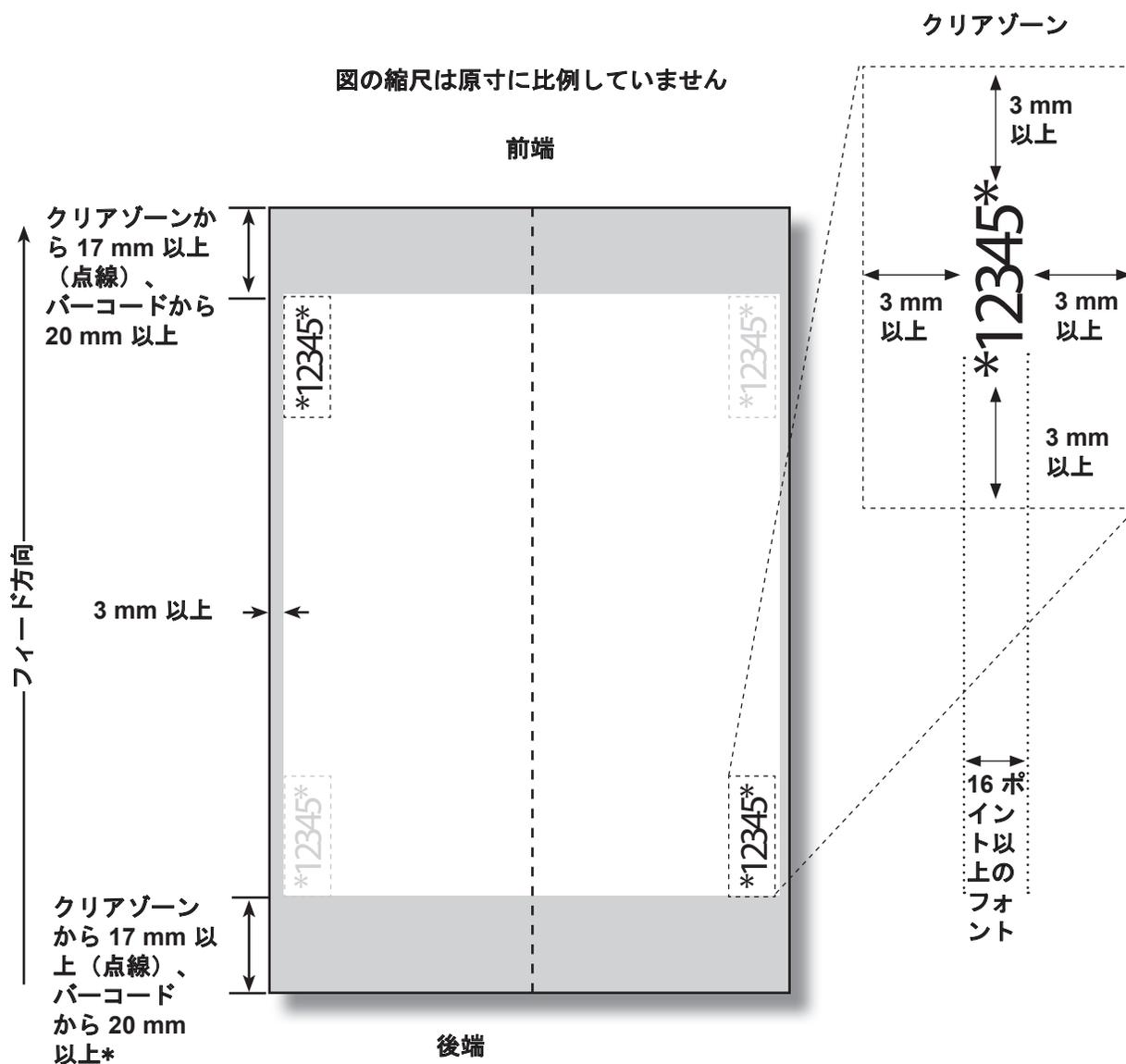


必須:
F7TB タワースキャン

8・スキャン

バーコードの印刷と配置の仕様

HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様 (新しいスキャンキット F790250 - ラダー方向)



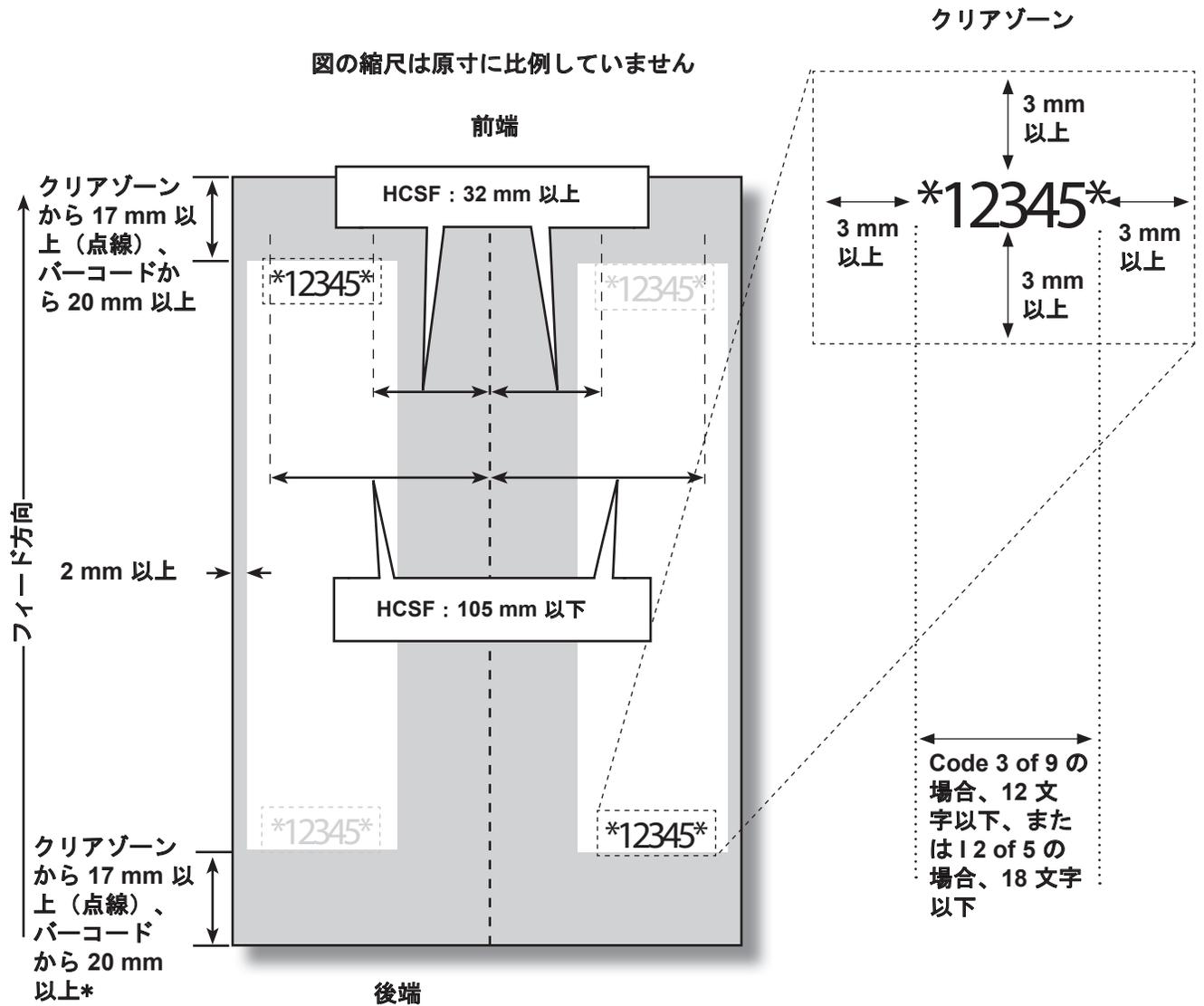
*本書の執筆時点では、スキャンの問題を避けるために、文書の後端から 45 mm 以内にあるバーコードを最初に検証することをお勧めします。狭いバーコードを含むアプリケーションは、この場所ではバーコードを高い信頼性でスキャンできないことがあります。

制御機能として BOC を含むスキャンコードは、ドキュメントの前端から 1/3 内に配置する必要があります。

必須：
F7HD スキャナー
F790250 スキャナー設置キット

バーコードの印刷と配置の仕様

HCSF 向け 1D バーコードの印刷と配置の仕様
(オリジナルスキャンキット F790050 - ピケットフェンス方向)



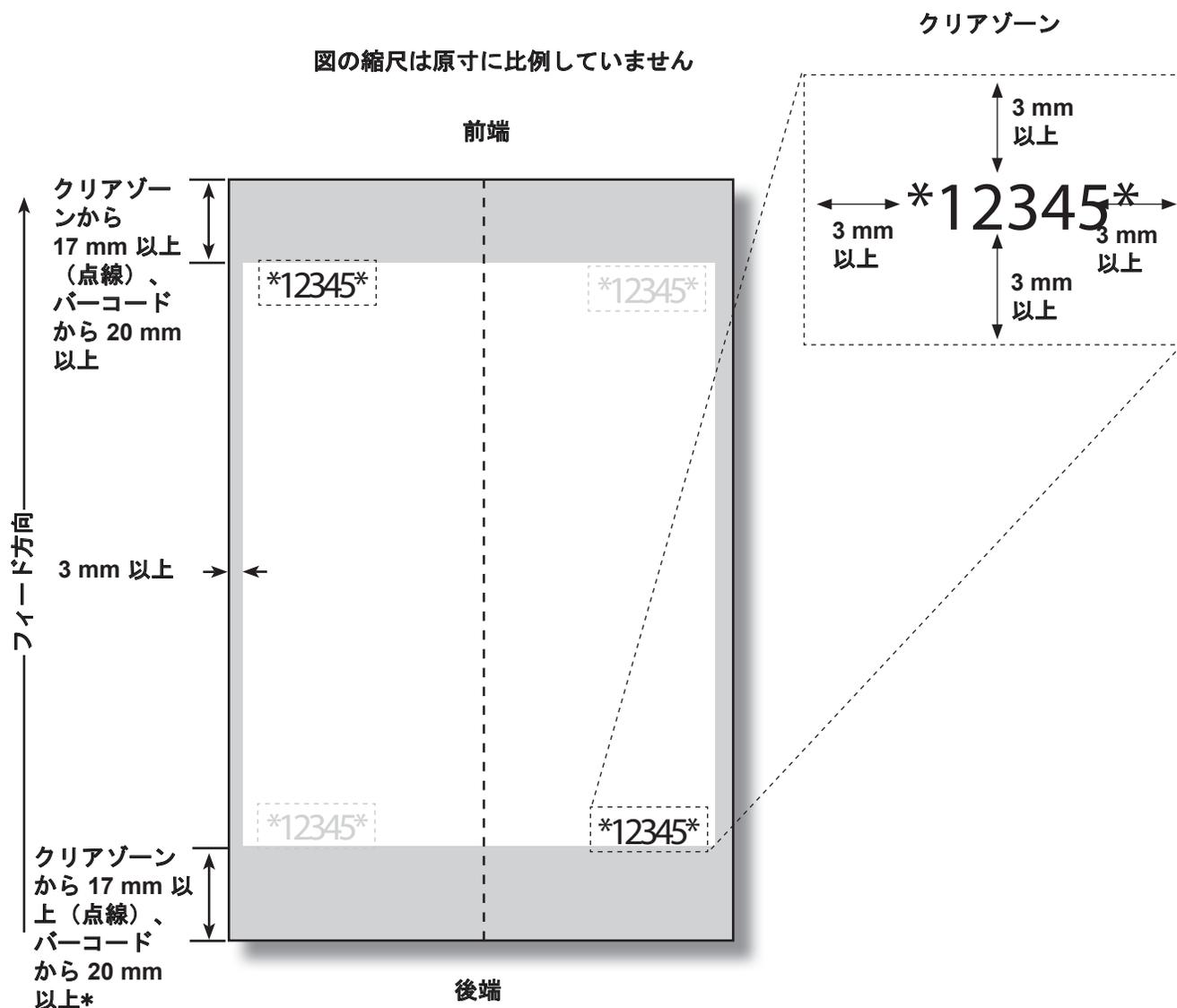
*本書の執筆時点では、後端とバーコードの間を 45 mm 以上にすることをお勧めします。

必須：
F7FB スキャナー
F790050 スキャナー設置キット

8・スキャン

バーコードの印刷と配置の仕様

HCSF 向け 1D バーコードの配置の仕様 (新しいスキャンキット F790250 - ピケットフェンス方向)



必須：
F7MB スキャナー
F790250 スキャナー設置キット

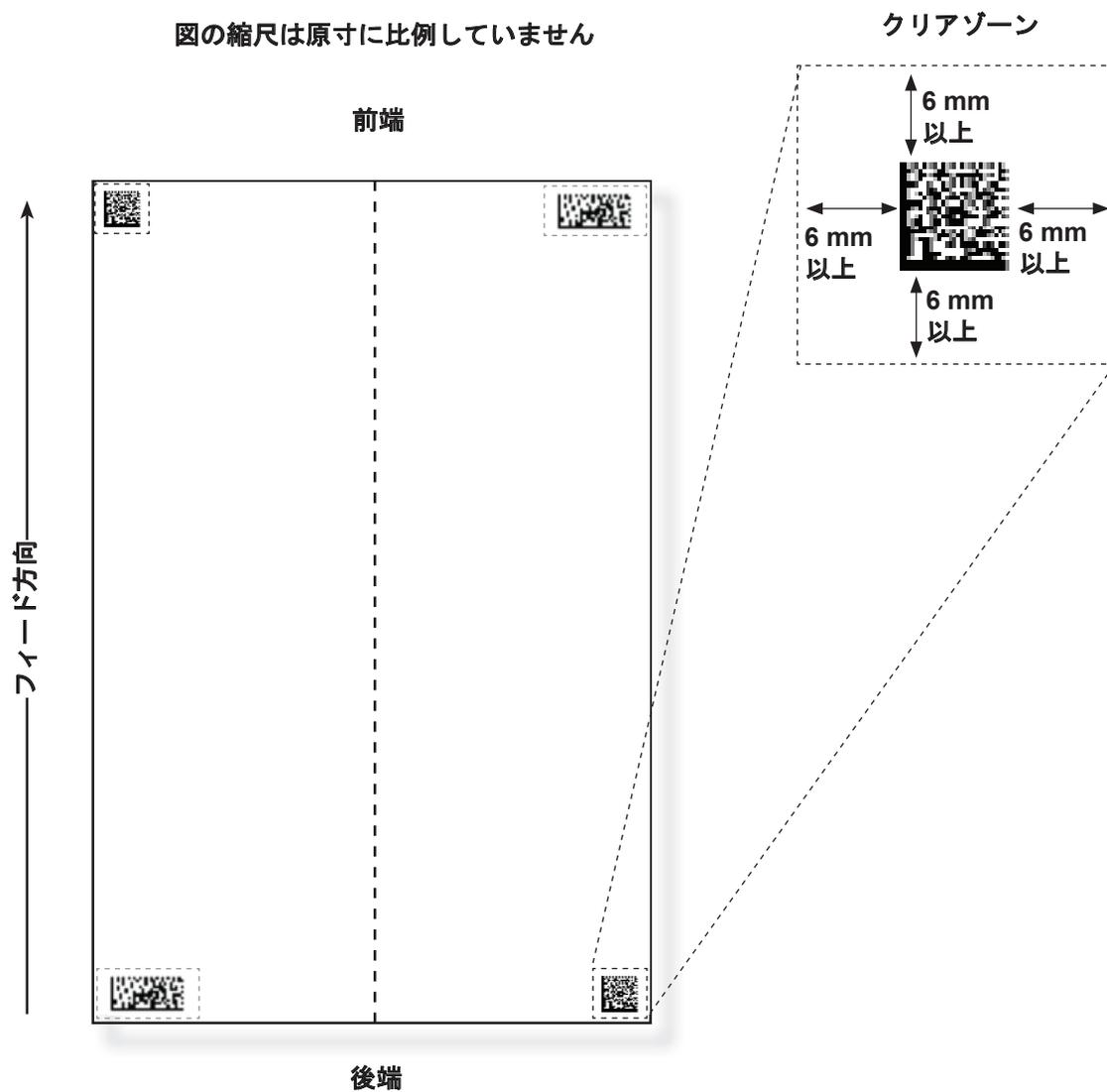
*本書の執筆時点では、スキャンの問題を避けるために、文書の後端から 45 mm 以内にあるバーコードを最初に検証することをお勧めします。狭いバーコードを含むアプリケーションは、この場所ではバーコードを高い信頼性でスキャンできないことがあります。

制御機能として BOC を含むスキャンコードは、ドキュメントの前端から 1/3 内に配置する必要があります。

バーコードの印刷と配置の仕様

HCSF 向け 2D バーコードの配置の仕様
(新しいスキャンキット F790250 – 横／縦方向)

図の縮尺は原寸に比例していません



必須：
F72D スキャナー
F790250 スキャナー設置キット

OMR スキャン領域の設定

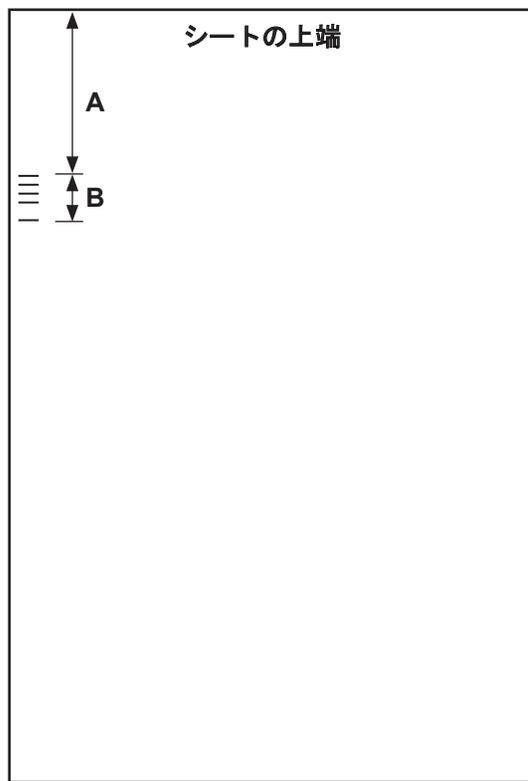
機器内にマテリアルが送られるときに、スキャンされます。これは、仕様で定義されたページ上の縦の帯や余白をスキャナーが読み取ることを意味します。

余白（ページ内のマークをスキャンする帯）の全体に何かが印刷されていたり、穴が空いていたりしないことを確認してください。

- この領域に何もなければ、それ以上の設定をしなくてもマークは通常どおり検知されます。
- 余白全体のどこかに何かが印刷されていたり、機器が自動的に設定できない場合は、マークを探すべき位置や、マーク以外に印刷されているもののうちどれを無視すべきかをたずねるメッセージが表示されます。使用するコードの種類によっては、最初のマーク位置およびコードの長さ、クリアゾーンのどちらを定義するかをたずねるメッセージが表示されます。詳しくは以下のページで説明します。

最初のマーク位置およびコードの長さの定義

1. 少なくとも最初と最後のマークが印刷されているシートを出します。
2. 機器の要求に従って、シートの上端から最初のマークまでの距離（A）をミリメートル単位で計測して入力します。
3. 機器の要求に従って、最初のマークから最後のマークまでの距離（B）をミリメートル単位で計測して入力します。

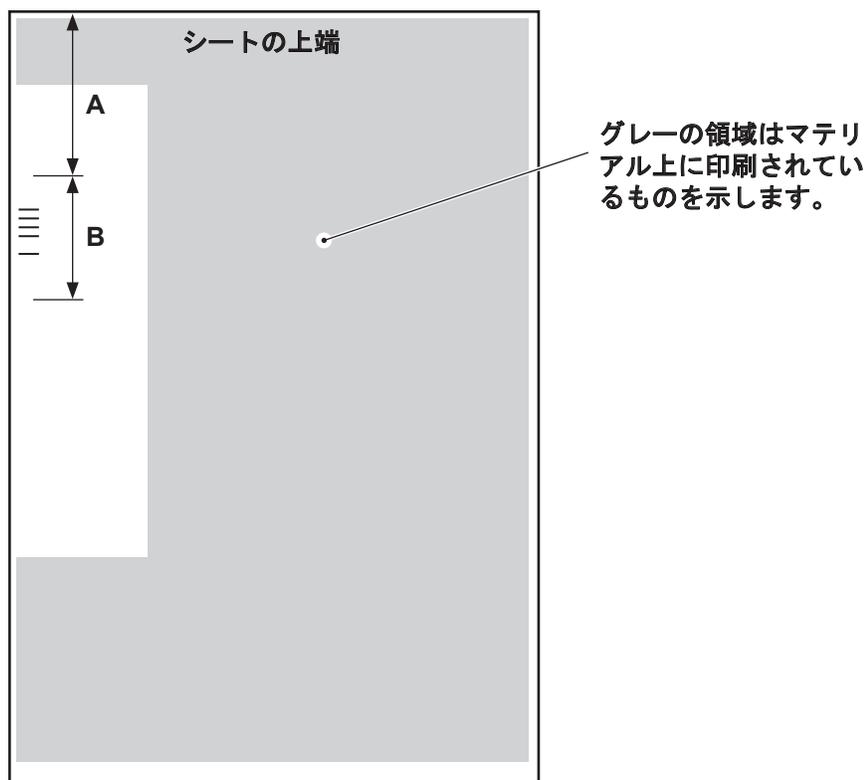


クリアゾーンの定義

1. 機器の要求に従って、シートの上端から、印刷内容の後にある、スキャンを開始したいポイントまでの距離（A）を計測して入力します。
2. 機器の要求に従って、先ほど設定した開始点から、インサーターのスキャンを停止したいポイントまでの距離（B）を計測して入力します。これをクリアゾーンと呼びます。

注：

- OMR マークの最初と最後に近いところへクリアゾーンを設定すると、マテリアルの印刷不備や汚れなどをマークと解釈する可能性を低くすることができます。
- 逆に、設定したクリアゾーンがマークの最初と最後に近すぎると、マテリアルの印刷部の位置（見当合わせ）が違っている場合に問題が発生することがあります。
- 目安として、クリアゾーンの大きさを制限しつつ、マークの前後 9 mm（3/8 インチ）以上の余裕を常に持たせます。



詳細情報

- OMR の場合の用紙重量の範囲は、70 gsm（18 ポンド）から 120 gsm（32 ポンド）です。
- フィーダーリンクは、オペレーターが適切なシートをセットしたときのみ正しく機能、つまり、丁合の区切りを判断して動作します。フィード順および印刷順によって、フィーダーリンクが可能かどうかが決まります。丁合に正しい郵便物が含まれるように、丁合の整合性（WAS または MC）を持たせる必要があります。
- 選択フィードでシートを追加する場合、紙折り機が対応できるシートと数量（80 gsm のシート 8 枚またはそれと同等）、または定形外封筒に 25 枚までであれば可能です。

BCR および OMR マークのレベル

このセクションでは、使用可能な BCR または OMR マークについて簡単に説明します。スキャンには 3 つのレベルがあります。各レベルには特定のマークが含まれます。

基本レベル	拡張整合性レベル	選択的オペレーションレベル
丁合の始め (BOC)	ラップアラウンドシーケンス (WAS)	フィード選択 (SF)
丁合の終わり (EOC)	マッチコード (MC)	封筒選択 (ES)
ベンチマーク (BM)	ページカウント (PC)	次を選択 (SN)
チェックサム (CS)	ページ番号 (PN)	封かん (SL)
パリティ (PAR)	ジョブ ID (JID)	シート排除 (DVS)
安全 (SAF)	郵便物マーク (MK)	
無視 (IGN)	マッチストリング (MS)	
タイミング (TM)	数量選択 (SQ)	
排除終了 (DVF)	ユーザーデータ (USR)	
停止 (ST)		

注：これらのマークが使用可能であるかどうかは、購入した OMR スキャンのレベルによって異なります。ただし、バーコードスキャンが有効になっている場合は、すべてのマークが使用可能となります。

【About My Machine（機器の概要）】画面には、システムで有効なスキャンレベルが表示されます。以下の手順に従って、画面に移動します。

1. ホーム画面から、【Menu（メニュー）】、【Tools（ツール）】の順に選択します。
2. 【About My Machine（機器の概要）】を選択します。

システムには、以下のいずれかのマークが表示され、「Is controlling（制御あり）」のマークが付いている必要があります：EOC、BOC、PC、または MC

- 多くの場合、「Is controlling（制御あり）」のマークが付いているのは EOC です。
- BOC と MC に「Is controlling（制御あり）」のマークが付いている場合は、追加の制限事項が適用されます。

基本レベル

基本レベルでは、丁合のエラーを制御およびチェックするマークをスキャンします。

以下のマークは、丁合の最初と最後の用紙を認識し、丁合の制御方法を示す基本的な制御機能を持ちます。

マーク	目的
BOC - 丁合の始め	<p>郵便物セット内にフィードされる最初のシートを示します。このマークはコード内で1度のみ選択できます。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> HCSFを使用している場合、BOCマークが制御マークとなります。この場合、スキャン設定では機能を有効にするために [Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] に [Yes (はい)] を設定する必要があります。また、HCSFの正面から見て一番左に位置するフィーダーを使用してください。 現在、BOCマークによる制御を行っている場合は、[Content in Line with Marks (マークに沿ったコンテンツ)] に [Yes (はい)] を設定し、マーク位置設定をシステムに入力する必要があります。
EOC - 丁合の終わり	<p>このマークは標準の制御マークで、郵便物セット内にフィードされる最後の用紙を示します。郵便物セットの最後の用紙以外のすべての用紙 ([Absent (アブセンス)]) または郵便物セットの最後の用紙のみ ([Present (プレゼンス)]) に配置されます。</p> <p>注： [Absent (アブセンス)] を選択すると、スキャンエラーによって2種類の郵便物が1つの封筒に封入される可能性を軽減できます。</p>

基本レベル (続き)

以下のマークは、読み取り可能なコードを設定し、基本的な丁合の整合性を提供します。

マーク	目的
BM - ベンチマーク (OMRのみ)	複数のマークが含まれる OMR コードでは必須のマークであり、スキャンの開始点を示します。また、スキャナーが正しく動作しているかを確認し、印刷の問題を検知します。このマークは、コードの最初または最後に配置されるマークで、郵便物セットのすべてのページの同じ場所に表示されます。
CS - チェックサム (BCRのみ)	Code 3 of 9 および Interleaved 2 of 5 バーコードで使用され、スキャナーがコード全体を適切に読み取っているかを確認します。
PAR - パリティー (OMRのみ)	読み取り時の OMR コード内の整合性を確認するために使用します。OMR コードの読み取り中にエラーが発生し、スキャンヘッドがマークを読み取らなかったり余分なマークを認識した場合、パリティーがエラーを検知します。また、パリティーマークを追加すると、用紙の方向エラーも検知できます。 <ul style="list-style-type: none"> マークの数が偶数である場合、パリティーは偶数に設定される必要があります。 マークの数が奇数である場合、パリティーは奇数に設定される必要があります。 コード内で 1 つのパリティーマークしか使用できません。
SAF - 安全 (OMRのみ)	このマークを使用すると、郵便物の整合性が向上します。このマークは、ベンチマークと反対側のコードの終端に配置してください。 安全マークが追加されると、機器が自動的にコードの長さを認識します。これにより、OMR コードを使用したジョブの作成が簡単になります。安全マークを使用しないと、ジョブの作成中にコードの長さをたずねるメッセージが表示されます。 コード内で 1 つの安全マークしか使用できません。 注：現在サポートされていないコードに複数の安全マークが使用されている場合は、安全マークの代わりに「無視」マークを使用します。

以下のマークは、完成された郵便物に対する機能を制御します。

マーク	目的
DVF - 排除終了	封かんされずに除外され、アウトソート位置に送られるべき郵便物を示します。このマークを使用すると、特定の郵便物の正確性をサンプルチェックしたり、郵便番号が明記されていないソート済み郵便物の処理を中止したり、別の処理が必要な郵便物を除外したりできます。このマークは、除外対象としてマーク付けされた郵便物セットのすべてのページに表示されます。次のオプションを使用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 次のように使用： [Present (プレゼンス)] または [Absent (アブセンス)]
ST - 停止	処理機能の 1 つで、処理中の郵便物を終了、停止することができます。

基本レベル
(続き)

以下のマークによって、システムは現在サポートされていない、または別の機器で作成された OMR コードを読み取ることができます。

マーク	目的
IGN - 無視 (OMR のみ)	システムがサポートしていないマークを無視します。
TM - タイミング (OMR のみ)	一部の機器では、OMR マークを正しく読み取るためにタイミングマークが必須となります。本システムではこのマークは必要ありませんが、既存のコードに残っている場合、このマークによって郵便物の整合性が強化されます。タイミングマークは、コード内で何度も使用される場合があります、その場合は常に [Present (プレゼンス)] オプションが選択されている必要があります。

拡張整合性レベル

拡張整合性レベルでは、丁合の整合性を向上させるためのマークをスキャンします。

マーク	目的
MC - マッチコード	<p>丁合の封入物をひとまとめにし、他の丁合の封入物を除外します。このマークを使用すると、アイテムごとではなく、郵便物ごとにカウンターの数字が増減します。</p> <p>ファイルベースの処理を使用している場合、郵便物の識別のためにマッチコードが必要です。</p> <p>OMR マーク : コード内に最大 17 のマッチコードマークを使用できます。</p> <p>BCR マーク : バーコードの最大ビット数は 32 です。</p>
PC - ページカウント	<p>このマークは、次の 2 つの数を表示するために使用します。丁合の封入物の総ページ数、または特定のフィーダーからフィードできるアイテム数ページカウントは、郵便物セットの各シートの同じ場所に表示されます。</p> <p>注 : ページカウントマークとページ番号マークを同時に使用すると、郵便物セット内の丁合の整合性を確認できます。例えば、ページカウントとページ番号が一致しなかった場合、システムがエラーの発生を認識します。</p>
PN - ページ番号	<p>丁合内のページ番号を示します。システムがページ順を確認し、丁合内で足りない、または余分なページを確認します。</p> <p>注 : ページカウントマークとページ番号マークを同時に使用すると、郵便物セット内の丁合の整合性を確認できます。</p>
WAS - ラップアラウンドシーケンス	<p>番号付けシステムで、一連のバイナリコードを使用します。必要なページが含まれていなかったり、郵便物セット内の用紙の順序が乱れている場合、システムは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。このマークは、封入物の正確な順序を保つために使用します。また、丁合間の整合性も確認できます。</p> <p>OMR マーク : コード内に最大 17 のラップアラウンドシーケンスマークを使用できます。</p> <p>BCR マーク : バーコードの最大ビット数は 32 です。</p>

8・スキャン

拡張整合性レベル (続き)

SQ (数量選択) :	<p>ユーザーは、コントロールドキュメント上の専用スキャンマークを使用して、複数のインサートをタワーの特定のトレイからフィードすることができます。この機能は、制御するインサートなしでページカウントスキャンマークとして動作します。シートではなく、インサートのみを SQ アイテムにすることができます (例えば、タワーフィーダーのみを使用できます)。SQ アイテム自体はスキャンされません。フィーダー間のマッチングは行いません。</p>
JID (ジョブ ID)	<p>ジョブ ID 機能が、C39、I25、および 2D データマトリックスバーコードに追加されましたが、OMR 機能としては実装されません。ジョブ ID は数字ベースの機能ではなく、文字列ベースの機能であり、一般的に 6 または 8 桁の数字です。これはジョブ全体で定数のままで維持されます。これは、同じジョブに属す処理済みの内容をすべて確認するために利用できます。ファイルベースの処理を実行していないときでも、ジョブ ID はマッチストリングとして機能します。[Trial Piece (トライアル)] を押すと、ジョブ ID が最初のトライアルから読み取られ、残りの実行のジョブ ID 番号と比較されます。同じジョブ内でジョブ ID 番号が変わった場合、システムではマテリアルの処理が停止され、ジョブ ID の不一致を通知するエラーが表示されます。</p>
USR (ユーザーデータ)	<p>バーコードの最後で顧客データを無視するには、「ユーザー定義」のスキャンコード機能を使用します。例：顧客がバーコードの最後にアカウント番号を配置していると仮定します。現在、このデータを処理することはできませんが、バーコードの最後で USR 機能を使用して、これらの数桁に対応することができます。</p>
MK (郵便物マーク)	<p>郵便物マーク機能は、フラットシーラーで端マーカを有効にします。上部の定形封筒経路でインサーターから排出する封筒に対して、どちら側にマークを付けるかを示すために、この機能を使用します。このインサーターシステムには、下部の経路でシステムから排出される大きなカタログ形式の封筒にマークを付ける機能はありません。</p>
MS (マッチストリング)	<p>複数のドキュメントが 1 つの丁合で混ざらないようにする場合に、このマークを使用します。これはマッチコードに似ていますが、この機能では英数字に対応できる点が異なります。</p>

選択的オペレーションレベル

選択的オペレーションレベルでは、特定フィーダーの使用法を示すマークをスキャンします。

マーク	目的
DVS - シート排除	折り加工前アキュムレーターに集積された用紙を、紙折りしたり郵便物として完成させることなく排除用トレイに送る必要があることを示します。
ES - 封筒選択	このマークがある場合は、ダイナミック封筒選択が行われることを示します。
SL - 封かん	<p>システムが郵便物を封かんする必要があることを示しません。郵便物がシステム内のどこにあっても構いません。</p> <p>封かんマークは [Present (プレゼンス)] または [Absent (アブセンス)] のどちらかに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Present (プレゼンス)] に設定され、封かんマークがアイテム上にある場合、その郵便物は封かんされます。封かんマークがないアイテムは封かんされません。 • [Absent (アブセンス)] に設定されると、封かんマークがアイテム上にある場合でも、郵便物は封かんされません。封かんマークがないアイテムは封かんされます。 <p>ヒント: このマークは、手作業でマテリアルを封筒に入れる必要がある場合に便利です。</p>
SF(n) - フィード選択	<p>このマークは、特定のフィーダーからマテリアルを選択するよう、機器に要求します。コード内で最大 9 つのフィード選択マークを使用できます。</p> <p>1 つのジョブに 1 アイテムのみがフィード選択情報を含むことができます。そのアイテムは、ジョブ内で最初にスキャンされるアイテムでなければなりません。</p> <p>同じ丁合に封入されるすべてのシートまたはインサートは、同じフィード選択パターンでマーク付けされる必要があります。</p> <p>フィード選択マークは [Present (プレゼンス)] または [Absent (アブセンス)] のどちらかに設定できます。</p>
SN(n) - 次を選択	<p>このマークはフィード選択と同様に機能しますが、ジョブの次の郵便物に適用されます。このマークは、古いバージョンの SECAP™ インサーターと互換性があります。</p> <p>次を選択マークは [Present (プレゼンス)] または [Absent (アブセンス)] のどちらかに設定できます。</p>

このページは意図的に空白になっています。

付録 A・用語集

基本的な用語	A-2
マテリアルリファレンス	A-2
機器の機能	A-3
アイコンの用語	A-4
封筒アイコン	A-4
紙折りアイコン	A-5
シートアイコン	A-5
インサートアイコン	A-6
フィーダー割り当てアイコン	A-7
その他のアイコン	A-7

基本的な用語

次の表は、システムの画面およびこの取扱説明書で使用されている標準的な用語とその定義の一覧です。

マテリアルリファレンス

印刷順：次のように処理されます。

- 丁合い順（ページ 1、ページ 2、ページ 3、ページ 1、ページ 2、ページ 3、など）に従って印刷されたシート。
- 定義済みの郵送順に従って印刷された 1 組のシート。

インサート：封筒に入れる前に紙折りを必要としないアイテム。インサートには次の 5 種類があります。

- 返信用封筒：郵便物のその他の内容物と一緒に外封筒に封入する 1 枚の封筒。
- ブックレット：ホチキスで留められ、綴じしろの部分が折り込まれたアイテム。
- スリップ：一重の紙またはカード。このアイテムは、デフォルトで二重検知がオンになっています。
- 返信カード：一重の紙。このアイテムは、デフォルトで二重検知がオフになっています。
- 折り済みインサート：事前に紙折りされているシートで、紙折りの必要はありません。

折りタイプ：紙折りには次のオプションがあります。

- C 折り：「標準」折りとも呼ばれます。
- Z 折り：「蛇腹」折りとも呼ばれます。
- 1 つ折り：紙折りを 1 回行います（通常は半分に折る）。
- 2 つ折り：紙を半分に折ってから、さらに半分に折ります。
- 折りなし：紙折りをしません。

重ね置き：インサートの一部を屋根板のように重ね合わせてフィーダーにセットする方法。

コントロールドキュメント：通常このシートには送り先アドレスが記載されます。この用紙は封筒窓の一番近い場所または窓なし封筒の表側に置かれます。

シート：封筒に封入する前に機器によって紙折りが必要な 1 枚の紙。郵便物アイコンツリーの場合、シートアイコンは 1 束のシートまたは丁合い済みのシートセットを表します。

手動フィード：ホチキスで留められている、または留められていない手動でフィードするシートセット。

スタック：プリンターから排出されるときに 1 束の紙。スタックは多数のシートまたは丁合い済みセットからなる場合があります。

外封筒：機器によって封入するすべてのアイテムを入れる封筒。

基本的な用語 (続き)

追加シート：追加シートは郵便物に追加できません。各追加シートは、コントロールドキュメントの後ろにある封筒に封入されます。

関連項目：

- OMR およびバーコードの使用
- OMR 以外のジョブにおけるアドレス付き郵便物

トレイ：アイテムの取り外し可能なホルダー。例えば、シートトレイやインサートトレイなど。

ファン：セットする前に 1 束のマテリアルをさばき、パラパラとめくる処理。

フィーダー：処理のために紙折り機またはインサーターに送り込むマテリアルをセットする装置。

郵便物：組み合わせられた 1 組の郵便物。通常は 1 枚の封筒と順番に並べられた内容物からなります。

機器の機能

OMR マーク：システム制御コマンドに対応するシートまたはインサート上のマークライン。OMR マークを使用することで、封筒に封入する際に郵便物を構成するシートやインサートをセット組みすることができます。

トライアル：自動運転を開始する前に機械で実行するトライアル。トライアルを行うことで、機器自体を調整し、郵便物をチェックすることができます。スタッカーに送り込まれないため、郵便物はカウントされません。

二重検知：1 枚のシートまたはインサートごとに、フィードの失敗を検知します。1 枚のみフィードされるべきところで 2 枚以上のシートがフィードされたかどうかをシステムが検知します。

バーコード：ドキュメントを光学的にスキャンすることでシステムに情報を伝えるのに使用する印刷されたコード。

パーソナライズ：封筒窓に表示するアドレスが記載された一番上にあるシートまたは固有の情報が記載されたシートやインサート。

ホーム画面：電源を入れると最初に表示される画面。この画面では、機器の起動、プログラム済みジョブの選択、およびメニュー機能の入力ができます。

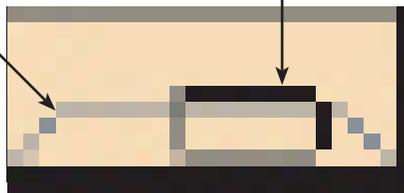
郵便物アイコンツリー：ディスプレイの左側に表示される画像で、現在選択されている郵便物の構成アイテムを表すアイコンや小さな絵が含まれています。また、各アイテムを配置するフィーダーの場所も示しています。

アイコンの用語

このセクションの表では、ディスプレイ画面に表示される各種アイコンについて説明します。

アイコン内の明るいグレーの線は、見えない対象であることを表します（例えば、封筒の反対側のフラップなど）。

アイコン内の黒い線は、はっきり見える対象であることを表します。



アイコンの黒い縁取りはシステムに最初にフィードする部分を示しています。

封筒アイコン

	タワーフィーダー 方向：フラップ面を下にして、フラップ側エッジからフィード	HCEF* 方向：フラップ面を下にして、フラップ反対側エッジからフィード
窓なしレター封筒		
窓付き標準フラップ封筒		
窓付きフォワードフラップレター封筒		
窓付きボトムフラップレター封筒		
窓なしフラット封筒		該当なし
窓付き標準フラップフラット封筒		該当なし
窓付きフォワードフラップフラット封筒		該当なし
窓付きボトムフラップフラット封筒		該当なし

* 大容量封筒フィーダー

アイコンの用語
(続き)

紙折りアイコン

				
折りなし	C 折り	Z 折り	1 つ折り	2 つ折り

シートアイコン

	方向：印刷面を上にして、一番上からフィード	方向：印刷面を上にして、一番下からフィード	方向：印刷面を下にして、一番上からフィード	方向：印刷面を下にして、一番下からフィード
シート、固有情報なし				
シート、トップアドレス				
シート、センターアドレス				
シート、ボトムアドレス				
複数シート、固有情報なし				
複数シート、トップアドレス				
複数シート、センターアドレス				
複数シート、ボトムアドレス				

アイコンの用語
(続き) インサートアイコン

	方向：印刷面を上にして、一番上からフィード	方向：印刷面を上にして、一番下からフィード	方向：印刷面を下にして、一番上からフィード	方向：印刷面を下にして、一番下からフィード
スリップまたは一般インサート				
返信用封筒		該当なし	該当なし	該当なし
返信カード				
複数のスリップまたは一般インサート				
複数の返信用封筒		該当なし	該当なし	該当なし
複数の返信はがき				

	方向：クローズエッジからフィード
折り済みインサート	
複数の折り済みインサート	

	方向：パウンドエッジからフィード
レターブックレット	
複数レターブックレット	

アイコンの用語 (続き)

フィーダー割り当てアイコン

フィーダー割り当ては、郵便物アイコンツリー内のジョブアイテムアイコンの右側にあるグレーの四角で囲まれたアルファベットで示されます。グレーの四角の中に表示される文字は、割り当てられたフィーダーによって異なります。

- 単一フィーダー割り当ては、グレーの四角 1 つで示されます。 A
- リンクフィーダー割り当ては、グレーの四角 2 つで示されます。 A
C

注：下の表はフィーダー割り当ての一覧です。使用可能なフィーダーは、システム構成によって異なります。

フィーダー 割り当て文字	場所	位置
A	フィーダータワー	左下フィーダー
B	フィーダータワー	右下フィーダー
C	フィーダータワー	左上フィーダー
D	フィーダータワー	右上フィーダー
G	大容量封筒フィーダー (HCEF)	該当なし
J	大容量シートフィーダー 1 (HCSF)	下フィーダー
K	大容量シートフィーダー 1 (HCSF)	上フィーダー
L	大容量シートフィーダー 2 (HCSF)	下フィーダー
M	大容量シートフィーダー 2 (HCSF)	上フィーダー
X	カスタムフィーダー	該当なし
Z	接続されたプリンター	該当なし

その他のアイコン

<p>エラーアイコン：ディスプレイ画面のポップアップメッセージに表示されます。エラーメッセージであることを示します。</p>	
<p>警告アイコン：ディスプレイ画面のポップアップメッセージに表示されます。警告メッセージであることを示します。</p>	
<p>封かんアイコン：封かん機能がオンの場合に郵便物アイコンツリーに表示されます。</p> <p>安全封かんアイコン：安全封かん機能がオンの場合に郵便物アイコンツリーに表示されます。</p>	
<p>二重検知アイコン：二重検知機能がオンの場合に郵便物アイコンツリーに表示されます。</p>	

このページは意図的に空白になっています。



3001 Summer Street
Stamford, CT 06926-0700
www.pitneybowes.com

SV63136-JA RevC
© 2025 Pitney Bowes Inc.
All Rights Reserved